

平成 29 年度 老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業

ケアの内容の分類に基づいたデータベースの構築に関する
調査研究事業

報 告 書

平成 30（2018）年 3 月

みずほ情報総研株式会社

目 次

I. 事業の概要	1
1. 背景	1
2. 目的	1
3. 事業概要	2
(1) 有識者委員会の設置・開催	2
(2) 介護記録システムのシステムベンダーに対する調査	2
II. 有識者委員会の設置・開催	3
1. 有識者委員会の設置目的	3
2. 有識者委員会の委員構成	3
3. 有識者委員会の開催状況	3
4. 有識者委員会で検討した内容の整理	4
(1) 自立に資する介護の評価方法について	4
(2) 介護記録からのデータ収集について	6
(3) データベースの設計等に向けて	7
III. 介護記録システムのシステムベンダーに対する調査	9
1. 調査の目的	9
2. 調査の対象	9
3. 調査の実施方法及び時期	9
4. 調査項目	10
5. 調査結果	24
(1) 結果概要	24
①データ項目別の「記録の可否」の状況	24
②分野・分類別の「記録の可否」の状況	33
③データ項目別の「実際の記録状況」	35
(2) データ項目ごとの詳細結果	47
IV. 総括	178
1. ケアの情報等を格納するデータベース構築に向けた論点の整理	178
2. 既存の介護記録システムにおけるデータ記録状況等の整理	179
V. 資料編	180
厚生労働科学研究費およびAMEDにおける研究事業の整理	180

I. 事業の概要

1. 背景

日本経済再生本部の未来投資会議においては、団塊の世代が 75 歳を迎える「2025 年問題」を解決するため、介護分野においては自立支援に軸足を置くパラダイムシフトを通じて、重介護者数を減少させることを目標に掲げており、「科学的に裏付けられた介護」の普及の必要性が挙げられている。

現状の我が国における介護記録データの整備状況を考えると、介護保険総合データベースには、要介護認定データ及び介護レセプトデータが格納されており、提供されたサービス種別（通所介護、訪問介護等）は分かるものの、ケアの内容（入浴の際に移動介助をどのように行ったか等）の詳細までは記録されていない。また、各事業者が提供するサービスにおいて、狙った結果がどの程度得られているか、どのようなリスクが伴っているか等について、科学的な検証に裏付けられた客観的な情報が十分に得られているとはいえない状況にある。

個々のサービス利用者が、そのニーズに応じて、多様なサービスを比較しつつ、最適なサービス選択を行えるよう支援するには、介護分野においても科学的手法に基づく研究を進め、エビデンスを蓄積し活用していくことが必要であり、ケアに関する情報等を格納するためのデータベースの構築が求められている。

2. 目的

本事業では、下記に示す内容を目的として事業を実施した。

- 有識者委員会を組織して、ケアに関する情報等を格納するためのデータベースの構築に向けて収集すべきデータ項目等について検討を行うとともに、厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の議論を深め、具体化していく作業を実施すること。
（有識者委員会においては、平成 29 年度老人保健健康増進等事業「自立に資する介護に関する調査研究事業」とも連携の上、検討を進めることとされた。）
- 既存の介護記録システムを開発するシステムベンダーに対する調査を通じて、要介護者の状態や提供されたケアに関する情報等を格納するためのデータベースに求められる要件等についての調査研究を行うこと。
- 上記の有識者委員会における検討及びシステムベンダーに対する調査研究の成果について、報告書を作成すること。

3. 事業概要

(1) 有識者委員会の設置・開催

本事業では、ケアに関する情報等を格納するためのデータベースの構築に向けて収集すべきデータ項目等について検討を行うとともに、厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の議論を深め、具体化していくことを目的として、有識者委員会を組織し、全2回の委員会を開催した。

図表 1 開催概要

開催回	主な議題	⇒検討結果の活用
第1回 (2017年8月31日開催)	・自立に資する介護に関するエビデンスの調査状況について ・自立に資する介護の評価方法について ・介護保険分野のデータベース構築に向けた論点について	⇒第1回「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」において、自立に資する介護に関するエビデンスの調査状況について報告
第2回 (2017年11月30日開催)	・介護記録からのデータ収集について ・データベースのまとめフォーマット（案）について ・介護の質の向上に係る取り組み等に関する調査について	⇒第4回「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」において、中間とりまとめ（案）への検討内容の反映、及びベンダーヒアリング結果について報告

(2) 介護記録システムのシステムベンダーに対する調査

本事業では、要介護者の状態や提供されたケアに関する情報等を格納するためのデータベースに求められる要件等についての調査研究を行うこと目的として、介護記録システムを開発するシステムベンダーに対する調査を実施した。

調査の実施概要は下表の通りである。

図表 2 調査実施概要

実施回	主な調査内容
第1回 (2017年11月実施)	「栄養」、「リハビリテーション」分野のデータ項目に関する、介護記録システム上の記録状況等の調査
第2回 (2018年1月実施)	「栄養」、「リハビリテーション」、「認知症」分野のデータ項目に関する、介護記録システム上の記録状況等の調査（施設／訪問／通所別に調査）
第3回 (2018年3月実施)	「栄養マネジメントに関する情報」、「口腔移行・維持に関する情報」、「口腔機能向上に関する情報」、「個別機能訓練に関する情報」、「訪問介護におけるサービス内容に関する情報」のデータ項目に関する、介護記録システム上の記録状況等の調査（施設／訪問／通所別に調査）

Ⅱ. 有識者委員会の設置・開催

1. 有識者委員会の設置目的

ケアに関する情報等を格納するためのデータベースの構築に向けて収集すべきデータ項目等について検討を行うとともに、厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の議論を深め、具体化していくことを目的として有識者委員会を設置した。

2. 有識者委員会の委員構成

本委員会は下表に示す7名の委員により構成される。

なお、座長及び各委員は厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の構成員である。

図表 3 有識者委員会の委員構成

氏名（敬称略）	所属・役職
○ 鳥羽 研二	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長
秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院 老年病科 科長 東京大学大学院 医学系研究科 加齢医学 教授
海老原 覚	東邦大学医療センター 大森病院 リハビリテーション科 東邦大学 医学部 リハビリテーション医学研究室 教授
近藤 和泉	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副院長
鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 副センター長
武田 章敬	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 医療安全推進部 部長
松田 晋哉	産業医科大学 公衆衛生学教室 教授

○は座長。座長を除き五十音順。

また、有識者委員会では、厚生労働省老健局老人保健課よりオブザーバーとして出席いただいた。

3. 有識者委員会の開催状況

本委員会の開催にあたっては、その設置趣旨を踏まえ、厚生労働省老健局老人保健課と調整の上、厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の検討状況を踏まえ、開催の可否及び開催時期を決定した。

図表 4 有識者委員会の開催状況

開催回	開催日／開催場所	主な議題
第 1 回	2017 年 8 月 31 日 ／航空会館	・自立に資する介護に関するエビデンスの調査状況について（事務局からの報告） ・自立に資する介護の評価方法について ・介護保険分野のデータベース構築に向けた論点について
第 2 回	2017 年 11 月 30 日 ／航空会館	・介護記録からのデータ収集について ・データベースのまとめフォーマット（案）について ・介護の質の向上に係る取り組み等に関する調査について

4. 有識者委員会で検討した内容の整理

有識者委員会において検討がなされた主な内容について、下記のとおり整理を行った。

（１）自立に資する介護の評価方法について【第 1 回有識者委員会】

●自立に資する介護のあり方について、現時点での国内の研究を網羅するために、システマティックレビューや研究者からのヒアリング等を実施する必要があるのではないか。

- ・平成 21 年までの研究については、既に「介護予防に係る総合的な調査研究事業」においてシステマティックレビューがなされていることから、平成 21 年を含めたそれ以降の文献検索を実施してはどうか。
- ・過去の長寿科学総合研究事業および AMED（長寿科学研究開発事業）に関する事業名と班長のリストを用意し、リストから主だったものを取り上げて、今後、研究者からヒアリングすることを検討してはどうか。

●平成 30 年度の介護報酬改定に向けては、アウトカム評価に拘らずに、プロセス評価や、適切な指標を用いて測定していること自体の評価を行う必要があるのではないか。ただし、プロセス評価は人手を要することが課題である。

- ・平成 30 年度の介護報酬改定に反映させるためには、ある程度のエビデンスが確立されていなければならない。現時点では、サービス担当者会議等の開催や、医療と介護の関わりが挙げられるのではないかと。それ以外では、論文発表が数多くなされているものからコンセンサスを取っていくことになるだろう。
- ・医療と介護の一体的な運営について言えば、医療側の介護への理解が乏しいことが課題である。医療介護連携を行った場合のインセンティブを設けるべきだが、連携はアウトカムとして評価しづらい。例えばサービス担当者会議への医師の参加等、指標だけではなく、プロセス評価についても検討するべきだ。
- ・アウトカム評価は確かに難しい。研究を行った一部の施設でアウトカムが得られたからと

いって、それが全ての施設で通用する訳ではない。まずは、プロセス評価を行った上で、結果の如何にかかわらず何らかの指標を測定していた場合についても評価しておき、その次の段階でアウトカム評価を取り入れる、という方法も考えられる。

- ・プロセス評価としては研修の実施や施設基準等が考えられる。ただし、プロセス評価は人手を要することが課題となる。

●**評価指標については、バーゼルインデックス等の ADL 等の基本的な指標に加え、生物学的な指標の測定に対する加算を設けてはどうか。その際、生物学的な指標は最低限に絞った上で、具体的な要件や、指標の測定を行う人員体制等の仕組みについても議論する必要がある。**

- ・介護分野の評価指標としては、要介護度及びその基礎となる要介護認定調査 7 4 項目がある。リハビリではバーゼルインデックス等の ADL 評価指標が用いられているが、その他ではリハ職がいないこともあり評価されていることはまれ。ケアマネジャーがアセスメントする際において、アセスメント方式が具備すべき 23 項目が定められており、それを満たすアセスメント方式としてメジャーなものは数個あるが、施設独自のアセスメント方式を用いている例も多い。老健施設では一部で R4 システムが使用されているが、シェアは高くない。
- ・ケアプランを立てるにあたっては、ADL と IADL については、必ず最初に測定しなければならない。また、リハビリテーションではバーゼルインデックスを測定しておくことが重要である。FIM は難しく、測定できる人が多くないだろう。
- ・アウトカム評価としては、医療と介護の共通言語である CGA が良いのではないか。
- ・CGA 等の指標は介護では敷居が高い。最低限の指標としてはバーゼルインデックス等の ADL 等が挙げられ、それ以上は難しいだろう。とは言え、科学的なエビデンスの蓄積という観点からすると、生物学的な指標を入れる必要がある。こういった指標が必要かは十分に絞った上で、それらの指標を測定しているかどうかを評価することは検討に値する。提案にあたっては、要件やその要件を施設で実施することを可能とする仕組み等を考える必要がある。

●**施設において、最低限必要な医学的検査がある程度できるようにする仕組みが求められるが、現状では測定が難しく、客観性がありかつ簡便な項目を取り上げることが必要になる。転倒・骨折も重要であり、予防するケアプラン作成や情報共有に対する評価も検討が必要である。**

- ・栄養に関して言えば、指標は当然体重だけでは十分ではない。電解質やアルブミン等、最低限必要な指標の医学的検査が施設においてもある程度できるようにする仕組みもあると良いだろう。また、嚥下機能や食形態についてきちんと評価がされており、かつ病院から施設・家族への食形態の申し送りが適切にできているかが非常に重要である。
- ・海老原先生が実施している嚥下評価や療法についても、介護分野で活用することができるだろう。また、介入の結果肺炎が減るとどの程度の医療費・介護費の削減につながるかを算出してはどうか。
- ・生物学的な指標の測定は中々難しいと考えるが、例えば転倒と関連している握力等、要介護認定時に測定できるような、客観性がありかつ簡便な項目を取り上げると良いだろう。

これまでのエビデンスを考慮した上でどの指標に絞るかを考える必要がある。

- ・転倒・骨折を予防するためのケアプランを作成した結果、転倒・骨折が減るというエビデンスは確かにある。ケアプランがきちんと作成されているか、また、その結果として転倒・骨折が減っているかを評価しても良いだろう。
- ・転倒・骨折においても情報共有が重要である。過去の転倒の既往が共有されているか、という点も評価すべきだ。

(2) 介護記録からのデータ収集について【第2回有識者委員会】

●介護においては用語の標準化が十分になされていない状況であり、共通言語を作ることが必要になる。ベンダー調査で尋ねた調査項目以外にも、介護現場で用いられている言葉でデータ化できる内容もある可能性がある。

- ・介護記録は記載の仕方がばらばらである。医療では用語がしっかりしているのでシソーラスが作られているが、介護は用語の教育が不十分であり、標準化ができていない。自由記述方式のテキストを集めても、分析が難しいと思われる。
- ・プルダウンメニューの項目を全て合わせて横串で刺して、どういう共通言語ができるかということをやらなければいけない。フリーテキストで入っているデータも集めて、テキストマイニングにかけるとよい。
- ・ベンダーヒアリングについては、今回の調査項目以外で、現場で記載しているようなデータについては聞いていないのか。この調査結果では、科学的に介護が行われていない印象を与えるが、実際には介護現場で用いている言葉で構造的には近い内容をデータとして取っている可能性はある。

●記録の方法を考える上では、日常の記録とは別に作業も必要となる場合、介護職がどこまで対応できるかについて、考慮が必要である。また、職種によって現状の記録状況にも差異があるものと考えられる、専門職が必ず関わっている介入項目と関わっていない介入項目は分けて考える必要がある。

- ・教育をしてから記入をして集めようとするのは時間が掛かってしまう。A Iを活用して、A Iに教え込むということも今後は考えられないか。
- ・日常で記録されているものとは別に、定期的にC G Aのような形で今後入力してもらうことになろうかと思うが、介護者の方たちにそれがどこまでできるかということは考慮すべきだろう。
- ・リハ職と看護職が入っているところでは、ある程度しっかりと書かれているだろう。栄養は必ずしも栄養士が関わっているとは限らず、専門職が必ず関わっている介入項目と関わっていない介入項目は分けて考える必要がある。栄養士とホームヘルパーとでは記載の仕方に乖離があると考えられる。
- ・プルダウンメニューの形で項目を選択する形で、しっかりとしたマニュアルがあれば、当てはまるものは書けるのではないかと考えている。システム次第ではないか。
- ・ベンダーのシステムを使っているのは施設だけではないか。通所など小さな事業所では使えないのではないか。

- ・介護レセプトはほとんどが電子化されている状況であり、レセコンに追加して介護記録システムを備えている形が基本となっているようである。訪問系サービスでも介護記録システムを使っているところはある状況である。第1回のベンダーヒアリングでは、施設と通所では区別して調査していない。

●加算を取る際の評価票のデータであれば、ルーチンで作成されているものであり、ベンダーとしてもシステムに取り入れることが容易であると考えられる。主治医意見書や認定調査票も既存の記録として存在している。現状でも記録できていない項目が多い中で、項目を増やすことについては反発も予想される。

- ・個別機能訓練加算を取るときの評価票のデータを集めることはできるのか。
- ・加算を取っている優良な施設・事業所は調べれば出てくるのか。必ず毎月でなくとも、3ヶ月に1度加算を取っているということでもよいだろう。
- ・厚労省の様式でルーチンで作成されているデータをうまく吸収していくのがよいのではないか。加算、管理料を取るものは支払いにつながるので、ベンダーとしてもシステムに乗せやすいであろう。それを吸い上げる仕組みにすれば、後々楽になるであろう。
- ・既存で取っている項目が過剰であるか不十分であるかは会議でまた検討する必要があるが、叩き台としてはよいだろう。そこから時系列のデータが出るということは、状態像の変化を取るのに役立っているのかいないのかという議論もできるかもしれない。毎月同じ言葉がコピーされていけば役立っていないことになる。
- ・認知症では以前、短期集中リハのときに検討を行ったが、最初に7項目くらいあったものを最終的に簡略化して3つか4つにした経緯がある。現状でもベンダー調査では半数未満しか記録できていない項目が多い中で、さらに項目を増やした場合、相当な反発が予想される。現状で入力できるプルダウン項目ともマッチングして、「介護の記録の科学化」を進歩させていかないといけない。
- ・公的な記録として既にあるものをなるべく使うのがよいのではないか。主治医意見書や認定調査票、介護報酬の標準様式などである。厚労省としても標準化をしていくメッセージを出していくことも必要である。

(3) データベースの設計等に向けて【第2回有識者委員会】

●今後データを蓄積して分析していく対象者のターゲットについては、介入の効果が高い群がどのような対象かについて検討が必要であり、通所、入所を含めどこに重点を置くかについて、今後議論していく必要がある。

- ・通所と施設を分けて調査をすれば、施設をターゲットに特定の項目をとるという方法は考えられる。
- ・食介助のケースとしては、主として立つことができずベッドにいる方で、嚥下に問題があって食べさせてあげないと危ない人であったり、中には元気があって食べ過ぎる人もいる。介入の効果が高いのはこれらの群かもしれないため、そうした群を無視すると厳しいかもしれない。
- ・対象者のターゲットについては、通所と入所はどちらも含むが、どちらに重点を置くかに

については今後議論していくものと理解している。

- ・介護では通所、入所、エンドオブライフに近い人との間で、栄養の気の配り方に違いがある。介護の科学化の中で、どのあたりの分野まで標準でカバーできるのかという点は考える必要がある。

●**データを取る仕組みについて、既存の仕組みからデータを取るのか、D P Cのように新たに入力ソフトを配布してデータを収集するかという検討が必要である。システムの設計を進める上では、データ項目の取捨より先にまずはテーブルの整備をすることが求められる。**

- ・実際に仕組みとしてデータを取っていく際に、今のベンダーの仕組みから取ってくるのか、もしくはD P Cのときのように様式1を作るソフトを別途作って配るのか、という方法の検討も必要である。入力ソフトを作ってしまう方法のほうが楽ではある。いずれにしても、システムからデータをはき出してもらう必要がある。
- ・通所の名寄せをしたときに、中の記載が矛盾する可能性も考えられる。その場合、介入の効果をどう捉えるかという問題がある。
- ・テーブルがなければベンダーは設計を進められないため、データ項目を使う・使わないは別として、文字でやるのか数値でやるのかといったことは包括的に全部作ってしまっ、その後データ項目の取捨を整理すればよい。

●**栄養については、通所・在宅系の内容に加えて、施設入所の視点もより考慮が必要である。介護現場に即した必須の項目であって、フィージビリティが高いものを優先する必要がある一方で、本当に重要な項目が何かという本質的な議論をすることが科学的介護である。**

- ・現状の栄養の資料では、通所・在宅系の雰囲気強いが、施設入所の栄養に詳しい方に内容を足してアレンジをしてもらってほしい。
- ・データ項目に血液検査は入らないのか。
- ・栄養に加えてリハビリ、認知症も加わり、ワンセットで入力するとなると、非常に時間がかかるように思えるが、実際に可能な時間や項目数の想定はあるのか。
- ・栄養を重視するということでは、低栄養が問題になっているが、それについては、誤嚥性肺炎が重要であるということをプレゼンしていただいた。データが取りやすいものというのではなく、本当に重要なものが何かという本質的な議論をするのが科学的介護である。
- ・治療食は成分を抜いたものは多いが、不足栄養素を補ったようなものは病院でもほとんど出していないので、介護でどこまで出しているのかは疑問である。
- ・栄養であれば、介護現場に即した必須の栄養項目であって、フィージビリティが9割以上できるような項目をまず選ぶ必要がある。

Ⅲ. 介護記録システムのシステムベンダーに対する調査

1. 調査の目的

要介護者の状態や提供されたケアに関する情報等を格納するためのデータベースに求められる要件等についての調査研究を行うこと目的として、介護記録システムを開発するシステムベンダーに対する調査を実施した。

2. 調査の対象

既存の介護記録システムを開発するシステムベンダーを対象として調査を実施した。なお、今回、調査対象としたシステムベンダーの秘匿等の観点から、調査対象数については非公表とした。（対象とした調査客体の業界シェア等の観点から、一定程度、全国的な介護記録システムの実態を把握できる調査標本であると判断した。）

3. 調査の実施方法及び時期

本調査は、調査対象となるシステムベンダーに対して電子調査票を配布し、入力後のファイルを回収する方法を採った。

調査は、厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の検討内容を踏まえた調査項目を設定する必要があったことから、同検討会における検討の進展に応じて下記の3回に分けて実施した。

図表 5 システムベンダーに対する調査の実施状況

実施回	主な調査内容	備考
第1回 (2017年11月実施)	下記分野のデータ項目に関する、介護記録システム上の記録状況等の調査 ○栄養 ○リハビリテーション	調査項目は「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の第2回及び第3回会議において提示された項目に基づく。
第2回 (2018年1月実施)	下記分野のデータ項目に関する、介護記録システム上の記録状況等の調査（施設／訪問／通所別に調査） ○栄養 ○リハビリテーション ○認知症	調査項目は「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の第2回～第4回会議において提示された項目に基づく。
第3回 (2018年3月実施)	下記分野のデータ項目に関する、介護記録システム上の記録状況等の調査（施設／訪問／通所別に調査） ○栄養マネジメントに関する情報 ○口腔移行・維持に関する情報 ○口腔機能向上に関する情報 ○個別機能訓練に関する情報 ○訪問介護におけるサービス内容に関する情報	調査項目は「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の第5回会議において提示された「介護報酬の加算等の算定において求められる様式」及び「訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について」における身体介護、生活援助のコード分類」の項目に基づく。

4. 調査項目

本調査では、個別のデータ項目について、下記の共通する3つの設問を設け、それぞれの該当状況について回答を求める方式を採った。

設問内容は、自社の介護記録システムにおける各データ項目の記録の可否、データ記録形式、システムを利用する事業所における実際の記録状況についてである。

回答方式は、いずれも下記に示す選択式としており、設問ごとに特記事項を自由記載することが可能な様式とした。

調査項目として下表で示す「データ項目」及び「定義、測定方法」については、「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」において、「介護現場から収集する情報（案）」もしくはCHASE（Care, Health Status & Events）の初期仕様案として示された内容に基づくものである。

図表 6 システムベンダーに対する調査における設問内容

設問	回答方法	選択肢
①記録の可否	選択肢より該当する1つを選択	○：既に電子的に記録が可能である（※画像データを取り込む方式等も含む）
		△：現在は記録できないが、現行のシステムの中で記録対象に追加することが可能と想定される
		×：現在は記録できず、現行のシステムの中で記録対象に追加することが困難と想定される
②記録形式	上記①で○を選択した場合、選択肢より該当する1つを選択 （上記①で△を選択した場合、任意で回答）	1：所定のコードを選択する方式により記録
		2：数値（のみ）を入力する方式により記録
		3：フリーテキストを入力する方式により記録（※音声テキスト変換する方式等も含む）
		4：画像データ（PDFを含む）を取り込む方式により記録
		5：その他の方式により記録【→備考欄で具体的に記載】
③実際の記録状況	上記①で○を選択した場合、選択肢より該当する1つを選択	1：システム導入事業所のうち、概ね90%以上で記録されている
		2：システム導入事業所のうち、概ね50%以上90%未満で記録されている
		3：システム導入事業所のうち、概ね10%以上50%未満で記録されている
		4：システム導入事業所のうち、概ね10%未満で記録されている、もしくは全く記録されていない
		5：記録状況が不明

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
栄養	状態に関するもの	身長	身長計またはメジャーで計測
		体重	—
		BMI(体格指数)	体重(kg)/身長(m) ² で計算
		体重減少率	(前回測定体重-現体重)÷前回測定体重×100 で計算
		上腕周囲長(AC)	肩峰と肘先の中間の周囲長を計測
		上腕三頭筋皮下脂肪厚(TSF)	AC の筋肉層と皮下脂肪層を分離するようにつまみ上げキャリパーで TSF(脂肪厚)を計測
		上腕筋囲長(AMC)	AC (cm) - 3.14 × TSF (mm) / 10 で計算
		下腿周囲長(CC)	左下腿囲の一番太いところをメジャーで計測
		握力	握力計で測定
		栄養素摂取量	提供した食事と摂取割合で栄養素等摂取量を算出
		栄養素等充足率	—
		水分摂取量	—
		栄養補給法	—
		食品の摂取頻度	肉類・魚類・卵・大豆・大豆製品・牛乳・緑黄色野菜類・海藻・いも・果物・油脂類
		食材品目数	—
		食形態	—
		食生活調査(食事時刻と時間、食事入手ルート)	食事時間や自炊、中食、配食等についても確認
		栄養診断(判定)	身体状況や栄養素等摂取量、臨床データなどのアセスメント結果を用いて総合的に判定。 P(problem),E(etiology),S(symptom)に分けて記載
		歯(義歯含む)	食物(硬いもの)の咀嚼について観察する(義歯装着でも可)。
		咀嚼・嚥下機能	嚥下については、日常の飲水や食事時のむせの状態や水飲みテストで判定する。
		認知症評価	(例)長谷川式認知症スケールを用いる。
		認知症高齢者の日常生活自立度(ADL)	調査項目チェックにより、レベル「自立・Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・M」の8段階で判定する。
		障害高齢者の日常生活自立度	調査項目チェックによりレベル「自立・J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2」の9段階で判定する。
		服薬	服薬内容を確認する。
		疾患(腎不全・透析・肝硬変・心不全・脳卒中・がん・パーキンソン病他)	医師の診断に基づく。
		食事の満足感や食事の意義(楽しみ)	食への意欲や満足度、食べることの楽しみや考え方について観察する。
	介入に関するもの	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)	提供する食事内容
			形態
			栄養量
			不足が推定される栄養(素)の内容
			栄養調整
		食事の観察(ミールラウンド)	食事の失認
			傾眠
			興奮・大声・暴言・暴力
			徘徊・多動
			妄想
			早食い・詰め込み・丸のみ
			拒食
			偏食
			失行(手づかみ食べ)
			異食
			盗食

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		配食サービス	配食サービスの利用状況
			体重
			食事の状況
			主観的健康観
		食支援(食介助等)	食介助のレベル
			食介助の内容
			介助することによる食事摂取量の増加
			食に対する意欲
		食事(栄養)相談(訪問栄養指導を含む)	形態調整
			調理法
			配食サービスの活用と工夫等についての説明内容とその効果
	イベント	誤嚥性肺炎	発生の有無
			誤嚥の内容物
			姿勢
			嚥下評価の結果
			発熱状況
			絶食期間中の栄養管理
		窒息	発生の有無
			窒息した内容物
			窒息した時の状況
			身体への影響度
			今後の栄養管理
		うつ	発生の有無
			生活状況
			対話の状態
			表情や意欲
			食事の摂取量の変化や栄養状態
		褥瘡	発生の有無
			発生要因
			褥瘡の状態
			健康・栄養状態
			浮腫等の状況
			栄養管理
リハビリテーション	状態に関するもの【心身機能・身体構造】	筋量	BIT
			DEXA
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		筋力	筋力テスト(MMT)
			ハンドヘルドダイナモメータによる計測
			Biodex などのトルク測定装置
			ロコモ度テストなどのパフォーマンスを使った評価
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		バランス保持能力	TUG
			FRC
			SIDE
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		歩行能力	10m 歩行速度
			6 分間歩行テスト
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		手指の巧緻性	STEF
			Tardieu Peg-board test
			指タップ計測(UB1, 2)
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		嚥下能力/摂取できる食事のレベル	DST
			水飲みテスト
			RSST
			VF
			VE
			FOIS
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		認知機能	HDS-R
			MMSE
			MOCA-j
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		認知症の周辺症状、有無/程度	有無
			NPI
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		コミュニケーション能力	SLTA
			WAB
			非言語的なコミュニケーション能力
			社会性
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		うつなどの精神状態	GDI
			STAI
			SDS
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		睡眠時間	臥床時間と起床時間の差
	状態に関するもの【活動】	ADL	Barthel index
			FIM
			Katz index
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		介護度	要介護認定の結果
		IADL	Lawton index
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		活動量/範囲	活動量→(歩数計、加速度センサ、スマートフォンなど)
			活動範囲→Frenchay Activities index

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
	状態に関するもの【参加】	イベント参加への積極性	回数
			Lawton(IADL とは別)
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
	状態に関するもの【その他】	QOL	SF-7
			WHOQOL
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		主観的幸福感	Skinner の図式 その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		介護負担	Zarit Burden Inventory その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		服薬量・数	医療記録から直接ピックアップすることができる
	介入に関するもの【訓練（運動）・活動】	筋力増強訓練	実施方法
			回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		バランス訓練	実施方法
			回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		起居動作訓練	回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		歩行訓練	回数
			時間
			介助方法
			補助具の種類
			補助具使用の有無
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		嚥下訓練	種類
			回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		ADL 訓練	種類
			回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		IADL 訓練	種類
			回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		体操療法	内容
			回数
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		回想法	方法
			頻度
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		リアリティオリエンテーション	方法
			頻度
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		アニマルセラピー	方法
			頻度
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		音楽療法	方法
			頻度
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		スポーツ	種別
			頻度
			時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
	介入に関するもの【環境調整】	食べやすい食具の使用	使用期間
			使用したデバイス
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		客観的な評価に基づいた嚥下能力に見合った食事の提供	提供した食事のレベル
			提供の時期
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		転倒予防に資する歩行補助具の提供・移動のための環境整備	提供した補助具
			建築物の改造の種類
			建築物の改造の時期
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		膀胱容量・尿意のモニターをした上での排尿介助	使用した機器
			排尿回数
			睡眠時間
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		長柄ブラシなど洗体のための器具の提供	使用した機器
			時期
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		お薬カレンダーなど服薬支援環境の整備	使用した道具
			時期
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		介護者のコミュニケーションスキルの向上	介護者が獲得したスキルおよび能力
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
	イベント	介護中の会話機会の提供	会話の有無
			会話の内容
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		趣味の場の提供	種類
			時間
			頻度
			その他（※具体的な内容を「①記録の可否」の備考欄に記載）
		趣味活動、提供できる食事などのオプションの多さ	オプションの数
認知症	デイサービス、介護予防レベル	居室からの移動回数	1日に何回居室から出て行動するか？
		居室以外の場所での滞在時間	1日に何時間程度、居室から出て行動するか？
		転倒回数	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り
		外傷受傷回数	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り
		行事への参加回数・時間	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り
		外出回数・時間	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り
		失禁、有無/頻度	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り
	入所レベル	意欲	Vitality Index
		交流、活動	
		サービス適応	
		コミュニケーション	
		介護負担	ZBI
		本人の思い	焦り、不安
		BPSD	DBD13
		転倒	転倒スコア FRI
		誤嚥性肺炎	WDT
		体重減少	BW
		難聴	聴力検査
		視力低下	視力検査
栄養マネジメントに関する情報		膝関節痛	XP
		失禁	下着、オムツ濡れ
		高度障害	家族の顔、笑顔消失、座位不可
		実施日	0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401
		プロセス	1 スクリーニング 2 アセスメント 3 モニタリング
		低栄養のリスクレベル	0 低 1 中 2 高

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		本人の意欲	1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない
		3%以上の体重減少_有無	0 無し 1 あり
		3%以上の体重減少_減少した体重	キログラム単位入力(小数点第一位まで) 例 2.5 3.0
		3%以上の体重減少_期間	月数(整数)で入力 例 2
		血清アルブミン値	小数点第一位まで入力(g/dl)
		褥瘡	0 無し 1 あり
		栄養補給法	10 の位:0 経腸栄養法なし 1 経腸栄養法あり 1 の位:0 静脈栄養法なし 1 静脈栄養法あり 例)経腸栄養法なし かつ 静脈栄養法あり 01
		食事の留意事項の有無	0 無し 1 あり
		食事時の摂食・嚥下状況	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した10桁の数値を入力 ・安定した正しい姿勢が自分でとれない ・食事に集中することができない ・食事中に傾眠や意識混濁がある ・歯(義歯)のない状態で食事をしている ・食べ物を口腔内に溜め込む ・固形の食べ物を咀嚼中にむせる ・食後、頬の内側や口腔内に残渣がある ・水分でむせる ・食事中、食後に咳をすることがある ・その他 例 「固形の食べ物を咀嚼中にむせる」及び「食事中、食後に咳をすることがある」に該当する場合 0000010010 摂食・嚥下状況が不明の場合は 9999999999 を入力する
		食欲・食事の満足感	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない
		食事に対する意識	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない
		他サービスの使用の有無	0 なし 1 あり
		他職種による栄養ケアの課題	以下の順に、問題がない場合は0、問題がある場合は1とし、連続した15桁の数値を入力 ・褥瘡 ・口腔及び摂食・嚥下 ・嘔気・嘔吐 ・下痢 ・便秘 ・浮腫 ・脱水 ・感染・発熱 ・経腸・静脈栄養 ・生活機能低下 ・閉じこもり ・うつ ・認知機能 ・医薬品 ・その他 例 「生活機能低下」及び「閉じこもり」に該当する場合 000000000110000 不明の場合は 9999999999999999 を入力する
		評価・判定	以下の順に、問題点がない場合は 0、問題点がある場合は 1 とし、連続した4桁の数値を入力 ・食事摂取・栄養補給の状況 ・身体機能・臨床症状 ・習慣・周辺環境 ・その他 例 「身体機能・臨床症状」がある場合 0100 不明の場合は 9999 を入力する
		総合評価	1 改善 2 改善傾向 3 維持 4 改善が認められない

図表7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

[illegible]

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		課題等	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した10桁の数値を入力 ・かみにくさ ・むせ ・口のかわき ・口臭 ・歯みがき ・飲み込み ・会話 ・食べこぼし ・義歯(痛み・動揺・清掃状態・管理状態) ・その他 例「むせ」及び「会話」が該当する場合 0100001000 不明の場合は9999999999を入力する
		アセスメント・モニタリング実施日	アセスメント・モニタリングを実施した日を入力する。 0～9からなる8桁の数字 YYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401
		記入者	1 言語聴覚士 2 歯科衛生士 3 看護師
		観察・評価等	以下の順に、括弧内の値を選択し、連続した7桁の数値として入力 ・固いもののかみにくさ(1 ない 2 ある) ・お茶や汁物等によるむせ(1 ない 2 ある) ・口のかわき(1 ない 2 ある) ・咬筋の触診(咬合力)(1 強い 2 弱い 3 なし) ・歯や義歯のよごれ(1 ない 2 ある 3 多い) ・舌のよごれ(1 ない 2 ある 3 多い) ・ブクブクうがい(空ブクブクでも可)(1 できる 2 やや不十分 3 不十分)
		RSST	30秒間の回数を整数で入力 例 20
		オーラルディアドコキネシス_パ	30秒間の回数を整数で入力 例 20
		オーラルディアドコキネシス_タ	30秒間の回数を整数で入力 例 20
		オーラルディアドコキネシス_カ	30秒間の回数を整数で入力 例 20
		問題点	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した9桁の数値を入力 ・かむ ・飲み込み ・口のかわき ・口臭 ・歯みがき ・食べこぼし ・むせ ・会話 ・その他 例「かむ」及び「飲み込み」が該当する場合 110000000 不明の場合は999999999を入力する
		サービスを継続しないことによる口腔機能の低下の恐れ	0 なし 1 あり
		サービス継続の必要性	0 なし 1 あり
		計画変更の必要性	0 なし 1 あり
		口腔機能改善管理指導計画作成日	口腔機能改善管理指導計画を作成した日を入力する 0～9からなる8桁の数字 YYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401
		指導等	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した4桁の数値を入力 ・口腔機能向上に関する情報提供 ・口腔体操・嚥下体操 ・歯みがき支援 ・食事姿勢や食環境の指導 例 口腔体操・嚥下体操及び歯みがき支援が必要な場合 0110

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		機能訓練	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した5桁の数値を入力 ・歯みがき実地指導 ・かむ ・飲み込み ・発音・発声 ・呼吸 例 かむ及び呼吸が必要な場合 01001
		本人実施項目	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した3桁の数値を入力 ・口腔体操・嚥下体操 ・歯みがきの実施 ・その他 例 歯みがきの実施が必要な場合 010
		介護者実施項目	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した3桁の数値を入力 ・歯みがき支援（確認・声かけ・介助） ・口腔体操等支援 ・その他 例 口腔体操等支援が必要な場合 010
個別機能訓練に関する情報		作成日	チェックシートの作成日を記載する
		自分でトイレへ行く	興味・関心チェックシートの内容を記載する
		一人でお風呂に入る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		自分で服を着る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		自分で食べる	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		歯磨きをする	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		身だしなみを整える	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		好きなときに眠る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		掃除・整理整頓	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		料理を作る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		買い物	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		家や庭の手入れ・世話	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		洗濯・洗濯物たたみ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		自転車・車の運転	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		電車・バスでの外出	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		孫・子供の世話	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		動物の世話	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		友達とおしゃべり・遊ぶ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		家族・親戚との団らん	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		デート・異性との交流	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		居酒屋に行く	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		ボランティア	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		地域活動(町内会・老人クラブ)	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		お参り・宗教活動	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		生涯学習・歴史	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		読書	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		俳句	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		書道・習字	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		絵を描く・絵手紙	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		パソコン・ワープロ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		写真	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		映画・観劇・演奏会	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		お茶・お花	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		歌を歌う・カラオケ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		音楽を聴く・楽器演奏	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		体操・運動	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		散歩	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		ダンス・踊り	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		野球・相撲等観戦	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		競馬・競輪・競艇・パチンコ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		編み物	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		針仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		畑仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		賞金を伴う仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		旅行・温泉	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する
		訪問日	居宅訪問を行った日を記載する
		食事	居宅訪問チェックシートの内容を記載する
		排泄	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		入浴	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		更衣	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		整容	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		移乗	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		屋内移動	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		屋外移動	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		階段昇降	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		調理	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		洗濯	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		掃除	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		起き上がり	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		座位	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		立ち上がり	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
		立位	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報		1010 健康チェック	実施の有無を記載する
		1020 環境整備	実施の有無を記載する
		1030 相談援助、情報収集・提供	実施の有無を記載する
		1040 サービス提供後の記録等	実施の有無を記載する
		1111 トイレ利用	実施の有無を記載する
		1112 ポータブルトイレ利用	実施の有無を記載する
		1113 おむつ交換	実施の有無を記載する
		1120 食事介助	実施の有無を記載する
		1130 特段の専門的配慮をもって行 う調理	実施の有無を記載する
		1210 清拭(全身清拭)	実施の有無を記載する
		1221 手浴及び足浴	実施の有無を記載する
		1222 洗髪	実施の有無を記載する
		1230 全身浴	実施の有無を記載する

図表 7 システムベンダーに対する調査における調査項目（つづき）

分野	分類	データ項目	定義、測定方法
		1240 洗面等	実施の有無を記載する
		1250 身体整容	実施の有無を記載する
		1260 更衣介助	実施の有無を記載する
		1310 体位変換	実施の有無を記載する
		1321 移乗	実施の有無を記載する
		1322 移動	実施の有無を記載する
		1330 通院・外出介助	実施の有無を記載する
		1411 起床介助	実施の有無を記載する
		1412 就寝介助	実施の有無を記載する
		1500 服薬介助	実施の有無を記載する
		1600 自立支援のための見守りの援助(自立支援、ADL 向上の観点から安全を確保しつつ常時介助で きる状態で行う見守り等)	実施の有無を記載する
		2010 健康チェック	実施の有無を記載する
		2020 環境整備	実施の有無を記載する
		2030 相談援助、情報収集・提供	実施の有無を記載する
		2040 サービス提供後の記録等	実施の有無を記載する
		2100 掃除	実施の有無を記載する
		2200 洗濯	実施の有無を記載する
		2300 ベッドメイク	実施の有無を記載する
		2400 衣類の整理・被服の補修	実施の有無を記載する
		2500 一般的な調理、配下膳	実施の有無を記載する
		2600 買い物・薬の受け取り	実施の有無を記載する

5. 調査結果

(1) 結果概要

①データ項目別の「記録の可否」の状況

システムベンダーに対する調査結果に基づき、既存の介護記録システムにおけるデータ項目ごとの「記録の可否」の状況について集計を行い、概ね50%以上のシステムベンダーが「既に記録可能」とであると回答のあったデータ項目を下記に整理した。

施設サービス、訪問サービス、通所サービスの少なくともいずれか1つ以上において、「既に記録可能」とであると回答のあったベンダー割合が100%であったデータ項目としては、「身長」、「体重」、「水分摂取量」、「認知症高齢者の日常生活自立度（ADL）」、「障害高齢者の日常生活自立度」の5項目であった。

図表8 概ね50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
栄養	状態に関するもの	身長	身長計またはメジャーで計測	100%	100%	100%
栄養	状態に関するもの	体重	—	100%	100%	100%
栄養	状態に関するもの	BMI(体格指数)	体重(kg)/身長(m) ² で計算	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	体重減少率	(前回測定体重－現体重)÷前回測定体重×100で計算	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	水分摂取量	—	100%	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	栄養補給法	—	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	歯(義歯含む)	食物(硬いもの)の咀嚼について観察する(義歯装着でも可)。	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	咀嚼・嚥下機能	嚥下については、日常の飲水や食事時のむせの状態や水飲みテストで判定する。	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	認知症評価	(例)長谷川式認知症スケールを用いる。	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	認知症高齢者の日常生活自立度(ADL)	調査項目チェックにより、レベル「自立・Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・M」の8段階で判定する。	100%	100%	100%
栄養	状態に関するもの	障害高齢者の日常生活自立度	調査項目チェックによりレベル「自立・J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2」の9段階で判定する。	100%	100%	100%
栄養	状態に関するもの	服薬	服薬内容を確認する。	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	疾患(腎不全・透析・肝硬変・心不全・脳卒中・がん・パーキンソン病他)	医師の診断に基づく。	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	状態に関するもの	食事の満足感や食事の意義(楽しみ)	食への意欲や満足度、食べることの楽しみや考え方について観察する。	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	介入に関するもの	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)	提供する食事内容	50%以上	50%以上	50%以上
栄養	介入に関するもの	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)	形態	50%以上	50%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
リハビリテーション	状態に関するもの【心身機能・身体構造】	バランス保持能力	TUG	50%以上	50%以上	50%以上
リハビリテーション	状態に関するもの【活動】	ADL	Barthel index	50%以上	50%以上	50%以上
リハビリテーション	状態に関するもの【活動】	ADL	FIM	50%以上	50%以上	50%以上
リハビリテーション	状態に関するもの【活動】	介護度	要介護認定の結果	100%	100%	100%
認知症	デイサービス、介護予防レベル	コミュニケーション	-	50%以上	50%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	実施日	0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	プロセス	1 スクリーニング 2 アセスメント 3 モニタリング	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	低栄養のリスクレベル	0 低 1 中 2 高	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	本人の意欲	1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	3%以上の体重減少_有無	0 無し 1 あり	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	3%以上の体重減少_減少した体重	キログラム単位入力(小数点第一位まで) 例 2.5 3.0	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	3%以上の体重減少_期間	月数(整数)で入力 例 2	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	血清アルブミン値	小数点第一位まで入力(g/dl)	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	褥瘡	0 無し 1 あり	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	栄養補給法	10 の位:0 経腸栄養法なし 1 経腸栄養法あり 1 の位:0 静脈栄養法なし 1 静脈栄養法あり例)経腸栄養法なし かつ 静脈栄養法あり 01	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食事の留意事項の有無	0 無し 1 あり	50%以上	10%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
栄養マネジメントに関する情報	-	食事時の摂食・嚥下状況	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続した 10 桁の数値を入力 ・安定した正しい姿勢が自分でとれない ・食事に集中することができない ・食事中に傾眠や意識混濁がある ・歯(義歯)のない状態で食事をしている ・食べ物を口腔内に溜め込む ・固形の食べ物を咀嚼中にむせる ・食後、頬の内側や口腔内に残渣がある ・水分でむせる ・食事中、食後に咳をすることがある ・その他 例「固形の食べ物を咀嚼中にむせる」及び「食事中、食後に咳をすることがある」に該当する場合 0000010010 摂食・嚥下状況が不明の場合は 9999999999 を入力する	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食欲・食事の満足感	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食事に対する意識	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	他サービスの使用の有無	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	他職種による栄養ケアの課題	以下の順に、問題がない場合は 0、問題がある場合は 1 とし、連続した 15 桁の数値を入力 ・褥瘡 ・口腔及び摂食・嚥下 ・嘔気・嘔吐 ・下痢 ・便秘 ・浮腫 ・脱水 ・感染・発熱 ・経腸・静脈栄養 ・生活機能低下 ・閉じこもり ・うつ ・認知機能 ・医薬品 ・その他 例「生活機能低下」及び「閉じこもり」に該当する場合 000000000110000 不明の場合は 9999999999999999 を入力する	50%以上	10%以上	50%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	評価・判定	以下の順に、問題点がない場合は 0、問題点がある場合は 1 とし、連続した 4 桁の数値を入力 ・食事摂取・栄養補給の状況 ・身体機能・臨床症状 ・習慣・周辺環境 ・その他 例「身体機能・臨床症状」がある場合 0100 不明の場合は 9999 を入力する	50%以上	10%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」と回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○：既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
栄養マネジメントに関する情報	-	総合評価	1 改善 2 改善傾向 3 維持 4 改善が認められない	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	検査実施日	摂食・嚥下機能検査を実施した日を入力する 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	経口摂取の状態	10 の位:0 歯又は使用中の義歯がある 非該当 1 歯又は使用中の義歯がある 該当 1 の位:0 食事の介助が必要である 非該当 1 食事の介助が必要である 該当 例) 歯又は使用中の義歯がある 該当 かつ 食事の介助が必要である 該当 11	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	算定加算	1 経口移行加算 2 経口維持加算(Ⅰ) 3 経口維持加算(Ⅱ)及び(Ⅲ)	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	気づいた点	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続した 23 桁の数値を入力・上半身が左右や前後に動く傾向があり、座位の保持が困難である・頸部が後屈しがちである・食事を楽しみにしていない・食事をしながら、寝てしまう・食べ始められない、食べても頻繁に食事を中断してしまう、食事に集中できない・食事又はその介助を拒否する・食事に時間がかかり、疲労する・次から次へと食べ物を口に運ぶ・口腔内が乾燥している・口腔内の衛生状態が悪い・噛むことが困難である（歯・義歯の状態又は咀嚼能力等に問題がある）・固いものを避け、軟らかいものばかり食べる・上下の奥歯と義歯が咬み合っていない・口から食物や唾液がこぼれる・口腔内に植物残渣が目立つ・食物をなかなか飲み込まず、嚥下に時間がかかる・食事中や食後に濁った声になる・一口あたり何度も嚥下する・頻繁にむせたり、せきこんだりする・食事中や食後に濁った声に変わる・食事の後半は疲れてしまい、特に良くむせたり、呼吸音が濁ったりする・観察時から直近一ヶ月以内に、食後又は食事中に嘔吐したことがある・食事の摂取量に問題がある（拒食、過食、偏食など）例 「頸部が後屈しがちである」及び「一口あたり何度も嚥下する」が該当する場合 01000000000000000100000 不明の場合は 999999999999999999999999 を入力する	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	会議実施日	多職種会議を行った日を入力する。 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	会議参加者	(食事の観察者と同一)	50%以上	10%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
口腔移行・維持に関する情報	-	支援の観点_食事の形態・とろみ、補助食の活用	0 現状維持 1 変更	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	食事の周囲環境	0 現状維持 1 変更	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	食事の介助の方法	0 現状維持 1 変更	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	口腔のケアの方法	0 現状維持 1 変更	50%以上	10%以上	50%以上
口腔移行・維持に関する情報	-	医療又は歯科医療受療の必要性	0 なし 1 あり	50%以上	10%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	作成日	チェックシートの作成日を記載する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	自分でトイレへ行く	興味・関心チェックシートの内容を記載する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	一人でお風呂に入る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	自分で服を着る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	自分で食べる	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	歯磨きをする	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	身だしなみを整える	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	好きなときに眠る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	掃除・整理整頓	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	料理を作る	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	買い物	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	家や庭の手入れ・世話	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	洗濯・洗濯物たたみ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
個別機能訓練に関する情報	-	自転車・車の運転	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	電車・バスでの外出	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	孫・子供の世話	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	動物の世話	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	友達とおしゃべり・遊ぶ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	家族・親戚との団らん	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	デート・異性との交流	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	居酒屋に行く	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	ボランティア	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	地域活動(町内会・老人クラブ)	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	お参り・宗教活動	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	生涯学習・歴史	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	読書	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	俳句	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	書道・習字	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	絵を描く・絵手紙	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	パソコン・ワープロ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	写真	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
個別機能訓練に関する情報	-	映画・観劇・演奏会	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	お茶・お花	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	歌を歌う・カラオケ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	音楽を聴く・楽器演奏	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	体操・運動	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	散歩	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	ダンス・踊り	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	野球・相撲等観戦	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	競馬・競輪・競艇・パチンコ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	編み物	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	針仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	畑仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	賞金を伴う仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	旅行・温泉	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	訪問日	居宅訪問を行った日を記載する	50%以上	10%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	食事	居宅訪問チェックシートの内容を記載する	50%以上	10%以上	50%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」とであると回答された調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
個別機能訓練に関する情報	-	排泄	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	入浴	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	更衣	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	整容	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	移乗	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	屋内移動	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	屋外移動	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	階段昇降	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	調理	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	洗濯	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	掃除	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	起き上がり	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	座位	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	立ち上がり	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
個別機能訓練に関する情報	-	立位	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	50%以上	50%以上	50%以上
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	-	1310 体位変換	実施の有無を記載する	10%以上	50%以上	10%以上

図表 8 概ね 50%以上のベンダーで「既に記録可能」と回答された調査項目

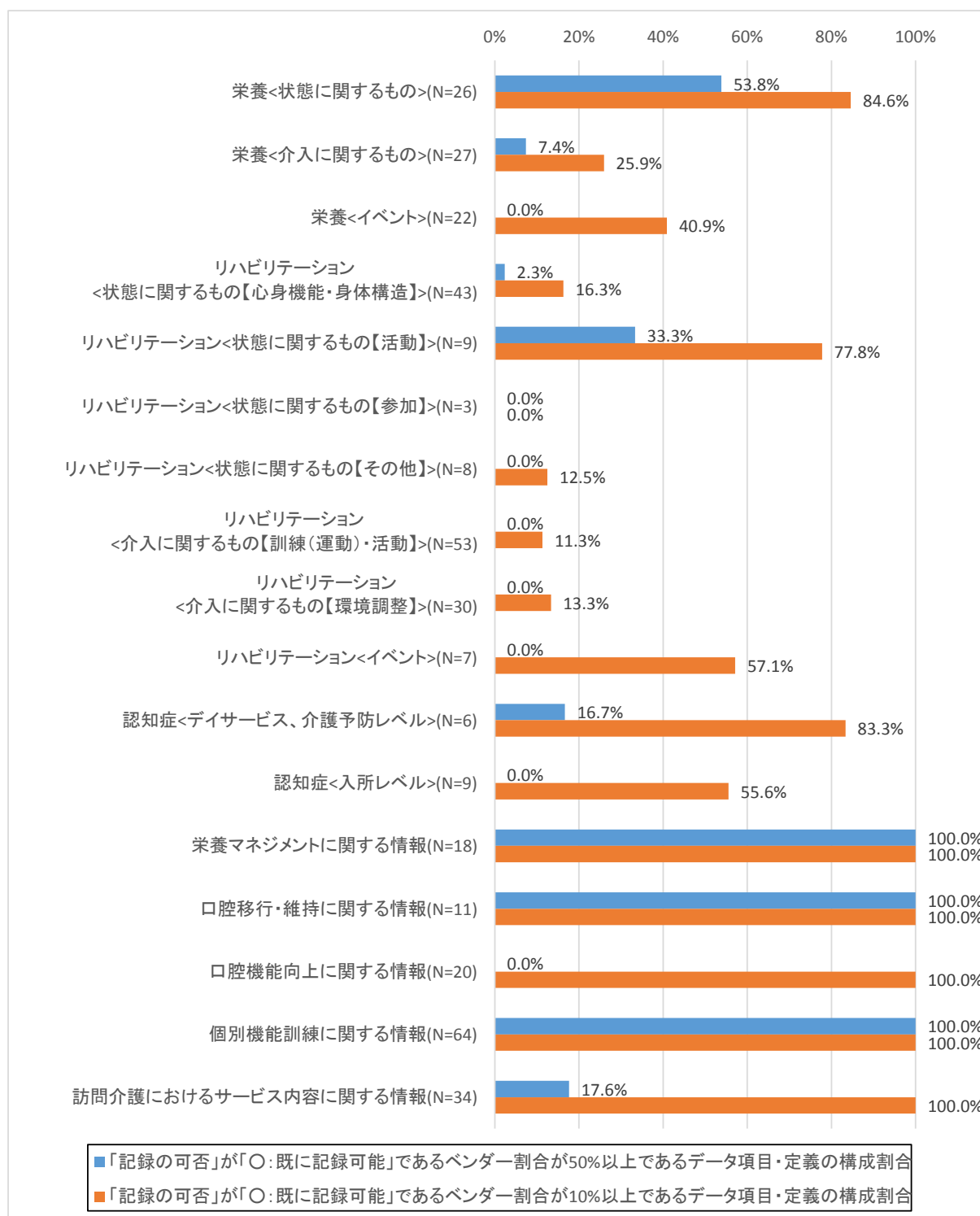
分野	分類	データ項目	定義、測定方法	記録の可否		
				「○:既に記録可能」と回答したベンダー割合		
				施設	訪問	通所
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	－	1321 移乗	実施の有無を記載する	10%以上	50%以上	10%以上
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	－	1322 移動	実施の有無を記載する	10%以上	50%以上	10%以上
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	－	1330 通院・外出介助	実施の有無を記載する	10%以上	50%以上	10%以上
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	－	1411 起床介助	実施の有無を記載する	10%以上	50%以上	10%以上
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	－	1600 自立支援のための見守りの援助(自立支援、ADL 向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	実施の有無を記載する	10%以上	50%以上	10%以上

②分野・分類別の「記録の可否」の状況

システムベンダーに対する調査結果に基づき、既存の介護記録システムにおけるデータ項目ごとの「記録の可否」について、「○：既に記録可能」と回答したベンダー割合が高かったデータ項目・定義に関して、各分野・分類ごとの構成割合を集計したものが下表である。

「○：既に記録可能」と回答したベンダー割合が 50%以上であったデータ項目・定義の構成割合が高かった分野・分類をみると、「栄養マネジメントに関する情報」、「口腔移行・維持に関する情報」、「個別機能訓練に関する情報」ではいずれもその構成割合が 100%となっており、これら分野ではいずれのデータ項目・定義についても、既存の介護記録システム上で既に記録する仕組みが整っている可能性が高いことが確認された。

図表 9 分野・分類別に見た「記録の可否」が「○：既に記録可能」である
ベンダー割合別のデータ項目・定義の構成割合



③データ項目別の「実際の記録状況」

システムベンダーに対する調査結果に基づき、既存の介護記録システムにおけるデータ項目ごとの「実際の記録状況」について集計を行い、施設サービス、訪問サービス、通所サービスの少なくともいずれか1つ以上において、システムを利用する事業所のうち実際に記録している事業所の割合が概ね50%以上である（「100%」も含む）と回答したシステムベンダーが10%以上存在していたデータ項目を下記に整理した。

実際の記録状況の回答については、システムベンダーにおいて事業所の記録状況を把握していないケースも多かったことから、回答結果の取り扱いには留意を要する。

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね50%以上で記録されていると回答したベンダーが10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1: 概ね90%以上で記録	2: 概ね50%以上90%未満で記録	1: 概ね90%以上で記録	2: 概ね50%以上90%未満で記録	1: 概ね90%以上で記録	2: 概ね50%以上90%未満で記録
栄養	状態に関するもの	体重	—		10%以上				
栄養	状態に関するもの	水分摂取量	—		10%以上				
栄養	状態に関するもの	認知症評価	〈例〉長谷川式認知症スケールを用いる。		10%以上		10%以上		10%以上
栄養	状態に関するもの	認知症高齢者の日常生活自立度(ADL)	調査項目チェックにより、レベル「自立・Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ」の8段階で判定する。		10%以上		10%以上		10%以上
栄養	状態に関するもの	障害高齢者の日常生活自立度	調査項目チェックによりレベル「自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ・Ⅺ・Ⅻ・Ⅼ・Ⅽ・Ⅾ・Ⅿ・ⅰ・ⅱ・ⅲ・ⅴ・ⅵ・ⅶ・ⅷ・ⅸ・ⅹ・ⅺ・ⅻ・ⅼ・ⅽ・ⅾ・ⅿ・ⅿⅰ・ⅿⅱ・ⅿⅲ・ⅿⅴ・ⅿⅵ・ⅿⅶ・ⅿⅷ・ⅿⅸ・ⅿⅹ・ⅿⅺ・ⅿⅻ・ⅿⅼ・ⅿⅽ・ⅿⅾ・ⅿⅿ」の9段階で判定する。		10%以上		10%以上		10%以上
栄養	状態に関するもの	服薬	服薬内容を確認する。		10%以上				
栄養	状態に関するもの	疾患(腎不全・透析・肝硬変・心不全・脳卒中・がん・パーキンソン病他)	医師の診断に基づく。		10%以上		10%以上		10%以上
リハビリテーション	状態に関するもの【活動】	介護度	要介護認定の結果	50%以上		50%以上		50%以上	
リハビリテーション	状態に関するもの【活動】	IADL	Lawton index		10%以上		10%以上		10%以上
栄養マネジメントに関する情報	—	実施日	0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	—	プロセス	1 スクリーニング 2 アセスメント 3 モニタリング	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	—	低栄養のリスクレベル	0 低 1 中 2 高	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	—	本人の意欲	1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	—	3%以上の体重減少_有無	0 無し 1 あり	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	—	3%以上の体重減少_減少した体重	キログラム単位入力(小数点第一位まで) 例 2.5 3.0	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
栄養マネジメントに関する情報	-	3%以上の体重減少_期間	月数(整数)で入力 例 2	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	血清アルブミン値	小数点第一位まで入力(g/dl)	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	褥瘡	0 無し 1 あり	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	栄養補給法	10 の位:0 経腸栄養法なし 1 経腸栄養法あり 1 の位:0 静脈栄養法なし 1 静脈栄養法あり 例)経腸栄養法なし かつ 静脈栄養法あり 01	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食事の留意事項の有無	0 無し 1 あり	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食事時の摂食・嚥下状況	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続した 10 桁の数値を入力 ・安定した正しい姿勢が自分でとれない ・食事に集中することができない ・食事中に傾眠や意識混濁がある ・歯(義歯)のない状態で食事をしている ・食べ物を口腔内に溜め込む ・固形の食べ物を咀嚼やく中にむせる ・食後、頬の内側や口腔内に残渣がある ・水分でむせる ・食事中、食後に咳をすることがある ・その他 例「固形の食べ物を咀嚼やく中にむせる」及び「食事中、食後に咳をすることがある」に該当する場合 0000010010 摂食・嚥下状況が不明の場合は 9999999999 を入力する	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食欲・食事の満足感	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	食事に対する意識	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	他サービスの使用の有無	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジメントに関する情報	-	他職種による栄養ケアの課題	以下の順に、問題がない場合は 0、問題がある場合は 1 とし、連続した 15 桁の数値を入力 ・褥瘡 ・口腔及び摂食・嚥下 ・嘔気・嘔吐 ・下痢 ・便秘 ・浮腫 ・脱水 ・感染・発熱 ・経腸・静脈栄養 ・生活機能低下 ・閉じこもり ・うつ ・認知機能 ・医薬品 ・その他 例「生活機能低下」及び「閉じこもり」に該当する場合 000000000110000 不明の場合は 9999999999999999 を入力する	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
栄養マネジ メントに関する 情報	-	評価・判定	以下の順に、問題点がない場合は 0、問題点がある場合は 1 とし、 連続した 4 桁の数値を入力 ・食事摂取・栄養補給の状況 ・身体機能・臨床症状 ・習慣・周辺環境 ・その他 例「身体機能・臨床症状」がある 場合 0100 不明の場合は 9999 を入力する	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
栄養マネジ メントに関する 情報	-	総合評価	1 改善 2 改善傾向 3 維持 4 改善が認められない	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	検査実施日	摂食・嚥下機能検査を実施した日 を入力する 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	経口摂取の状態	10 の位:0 歯又は使用中の義歯 がある 非該当 1 歯又は使用 中の義歯がある 該当 1 の位:0 食事の介助が必要で ある 非該当 1 食事の介助が必要 である 該当 例) 歯又は使用中の義歯がある 該当 かつ 食事の介助が必要で ある 該当 11	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	算定加算	1 経口移行加算 2 経口維持加 算(Ⅰ) 3 経口維持加算(Ⅰ)及 び(Ⅱ)	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	気づいた点	以下の順に、該当しない場合は 0、該 当する場合は 1 とし、連続した 23 桁の 数値を入力 ・上半身が左右や前後に動く傾向があ り、座位の保持が困難である ・頸部が後屈しがちである ・食事を楽しみにしていない ・食事をしながら、寝てしまう ・食べ始められない、食べても頻繁に 食事を中断してしまう、食事に集中で きない ・食事又はその介助を拒否する ・食事に時間がかかり、疲労する ・次から次へと食べ物を口に運ぶ ・口腔内が乾燥している ・口腔内の衛生状態が悪い ・嘔むことが困難である(歯・義歯の状 態又は咀嚼能力等に問題がある) ・固いものを避け、軟らかいものばかり 食べる ・上下の奥歯や義歯が咬み合ってい ない ・口から食物や唾液がこぼれる ・口腔内に植物残渣が目立つ ・食物をなかなか飲み込まず、嚥下に 時間がかかる ・食事中や食後に濁った声になる ・一口あたり何度も嚥下する ・頻繁にむせたり、せきこんだりする ・食事中や食後に濁った声になる ・食事の後半は疲れてしまい、特に良 くむせたり、呼吸音が濁ったりする ・観察時から直近一ヶ月以内に、食後 又は食事中に嘔吐したことがある ・食事の摂取量に問題がある(拒食、 過食、偏食など) 例「頸部が後屈しがちである」及び 「一口あたり何度も嚥下する」が該当 する場合 0100000000000000000000 不 明 の 場 合 は 999999999999999999999999 を入力す る	10%以上	10%以上			10%以上	10%以上

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	会議実施日	多職種会議を行った日を入力する。 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401		10%以上				10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	会議参加者	(食事の観察者と同一)		10%以上				10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	支援の観点、食事の形態・とろみ、補助食の活用	0 現状維持 1 変更		10%以上				10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	食事の周囲環境	0 現状維持 1 変更		10%以上				10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	食事の介助の方法	0 現状維持 1 変更		10%以上				10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	口腔のケアの方法	0 現状維持 1 変更		10%以上				10%以上
口腔移行・ 維持に関する 情報	-	医療又は歯科医療受療の必要性	0 なし 1 あり		10%以上				10%以上
口腔機能向 上に関する 情報	-	記入日	関連職種等により把握された課題 等を記入した日を入力 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向 上に関する 情報	-	かかりつけ歯科医	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向 上に関する 情報	-	入れ歯の使用	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向 上に関する 情報	-	課題等	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続し た 10 桁の数値を入力 ・かみにくさ ・むせ ・口のかわき ・口臭 ・歯みがき ・飲み込み ・会話 ・食べこぼし ・義歯(痛み・動揺・清掃状態・管 理状態) ・その他 例 「むせ」及び「会話」が該当す る場合 0100001000 不明の場合は 9999999999 を入力 する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向 上に関する 情報	-	アセスメント・モニタリ ング実施日	アセスメント・モニタリングを実施 した日を入力する。 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向 上に関する 情報	-	記入者	1 言語聴覚士 2 歯科衛生士 3 看護師	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
口腔機能向上に関する 情報	-	観察・評価等	以下の順に、括弧内の値を選択し、連続した7桁の数値として入力 ・固いもののかみにくさ(1 ない 2 ある) ・お茶や汁物等によるむせ(1 ない 2 ある) ・口のかわき(1 ない 2 ある) ・咬筋の触診(咬合力)(1 強い 2 弱い 3 なし) ・歯や義歯のよごれ(1 ない 2 ある 3 多い) ・舌のよごれ(1 ない 2 ある 3 多い) ・ブクブクうがい(空ブクブクでも可)(1 できる 2 やや不十分 3 不十分)	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	RSST	30 秒間の回数を整数で入力 例 20		10%以上		10%以上		10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	オーラルディアドコキネシス_パ	30 秒間の回数を整数で入力 例 20		10%以上		10%以上		10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	オーラルディアドコキネシス_タ	30 秒間の回数を整数で入力 例 20		10%以上		10%以上		10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	オーラルディアドコキネシス_カ	30 秒間の回数を整数で入力 例 20		10%以上		10%以上		10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	問題点	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続した9桁の数値を入力 ・かむ ・飲み込み ・口のかわき ・口臭 ・歯みがき ・食べこぼし ・むせ ・会話 ・その他 例 「かむ」及び「飲み込み」が該当する場合 110000000 不明の場合は 999999999 を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	サービスを継続しないことによる口腔機能の低下の恐れ	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	サービス継続の必要性	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	計画変更の必要性	0 なし 1 あり	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	口腔機能改善管理指導計画作成日	口腔機能改善管理指導計画を作成した日を入力する 0～9 からなる 8 桁の数字 YYYYMMDD 例 2018 年 4 月 1 日→20180401	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	指導等	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続した4桁の数値を入力 ・口腔機能向上に関する情報提供 ・口腔体操・嚥下体操 ・歯みがき支援 ・食事姿勢や食環境の指導 例 口腔体操・嚥下体操及び歯みがき支援が必要な場合 0110	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
口腔機能向上に関する 情報	-	機能訓練	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続し た5桁の数値を入力 ・歯みがき実地指導 ・かむ ・飲み込み ・発音・発声 ・呼吸 例 かむ及び呼吸が必要な場合 01001	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	本人実施項目	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続し た3桁の数値を入力 ・口腔体操・嚥下体操 ・歯みがきの実施 ・その他 例 歯みがきの実施が必要な場 合 010	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
口腔機能向上に関する 情報	-	介護者実施項目	以下の順に、該当しない場合は 0、該当する場合は 1 とし、連続し た3桁の数値を入力 ・歯みがき支援(確認・声かけ・介 助) ・口腔体操等支援 ・その他 例 口腔体操等支援が必要な場 合 010	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	作成日	チェックシートの作成日を記載す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	自分でトイレへ行く	興味・関心チェックシートの内容を 記載する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	一人でお風呂に入る	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	自分で服を着る	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	自分で食べる	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	歯磨きをする	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	身だしなみを整える	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	好きなときに眠る	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	掃除・整理整頓	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	料理を作る	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓 練に関する 情報	-	買い物	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力す る	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上

**図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目**

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
個別機能訓練に関する情報	-	家や庭の手入れ・世話	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	洗濯・洗濯物たたみ	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	自転車・車の運転	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	電車・バスでの外出	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	孫・子供の世話	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	動物の世話	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	友達とおしゃべり・遊ぶ	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	家族・親戚との団らん	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	デート・異性との交流	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	居酒屋に行く	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	ボランティア	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	地域活動(町内会・老人クラブ)	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	お参り・宗教活動	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	生涯学習・歴史	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	読書	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	俳句	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	書道・習字	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	絵を描く・絵手紙	興味がある・してみたい・している それぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上

**図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目**

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
個別機能訓練に関する情報	-	パソコン・ワープロ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	写真	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	映画・観劇・演奏会	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	お茶・お花	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	歌を歌う・カラオケ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	音楽を聴く・楽器演奏	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	体操・運動	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	散歩	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	ダンス・踊り	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	野球・相撲等観戦	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	競馬・競輪・競艇・パチンコ	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	編み物	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	針仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	畑仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	賞金を伴う仕事	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	旅行・温泉	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	訪問日	居宅訪問を行った日を記載する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録	1:概ね 90%以上 で記録	2:概ね 50%以上 90%未満 で記録
個別機能訓練に関する情報	-	食事	居宅訪問チェックシートの内容を記載する	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	排泄	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	入浴	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	更衣	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	整容	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	移乗	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	屋内移動	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	屋外移動	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	階段昇降	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	調理	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	洗濯	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	掃除	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	起き上がり	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	座位	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	立ち上がり	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
個別機能訓練に関する情報	-	立位	10 の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10	10%以上	10%以上	10%以上		10%以上	10%以上
訪問介護におけるサービス内容に関する情報	-	1010 健康チェック	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録	1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録	1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1020 環境整備	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1030 相談援助、情報収 集・提供	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1040 サービス提供後の 記録等	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1111 トイレ利用	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1112 ポータブルトイレ 利用	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1113 おむつ交換	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1120 食事介助	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1130 特段の専門的配 慮をもって行う調理	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1210 清拭(全身清拭)	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1221 手浴及び足浴	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1222 洗髪	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1230 全身浴	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1240 洗面等	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1250 身体整容	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録	1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録	1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1260 更衣介助	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1310 体位変換	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1321 移乗	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1322 移動	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1330 通院・外出介助	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1411 起床介助	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1412 就寝介助	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1500 服薬介助	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	1600 自立支援のための 見守りの援助(自立 支援、ADL 向上の観点 から安全を確保しつつ 常時介助できる状態で 行う見守り等)	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2010 健康チェック	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2020 環境整備	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2030 相談援助、情報収 集・提供	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2040 サービス提供後の 記録等	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-

図表 10 システムを利用する事業所のうち概ね 50%以上で記録されていると回答した
ベンダーが 10%以上存在した調査項目

分野	分類	データ項目	定義、測定方法	実際の記録状況					
				施設		訪問		通所	
				1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録	1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録	1: 概ね 90%以上 で記録	2: 概ね 50%以上 90%未満 で記録
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2100 掃除	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2200 洗濯	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2300 ベッドメイク	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2400 衣類の整理・被服 の補修	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2500 一般的な調理、配 下膳	実施の有無を記載する	-	-	10%以上	10%以上	-	-
訪問介護に おけるサー ビス内容に 関する情報	-	2600 買い物・薬の受け 取り	実施の有無を記載する	-	-		10%以上	-	-

（２）データ項目ごとの詳細結果

以下では、調査対象としたすべてのデータ項目及び定義、測定方法について、３つの設問（記録の可否、記録形式、実際の記録状況）に係る調査対象ベンダーの該当割合を施設サービス、訪問サービス、通所サービス別に整理した（「記録形式」の設問については、各サービス共通の扱いとしている）。

No.	1	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	身長		
		定義、測定方法	身長計またはメジャーで計測		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	100%	100%	100%
△: 現在は記録不可だが追加可能			
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	100%
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	50%以上	10%以上	50%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	50%以上	50%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	2	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	体重		
		定義、測定方法	—		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	100%	100%	100%
△: 現在は記録不可だが追加可能			
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	100%
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		
概ね10%以上50%未満で記録	50%以上	10%以上	50%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	50%以上	50%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	3	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	BMI(体格指数)		
		定義、測定方法	体重(kg)/身長(m) ² で計算		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	100%
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	4	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	体重減少率		
		定義、測定方法	(前回測定体重-現体重)÷前回測定体重×100で計算		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	5	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	上腕周囲長(AC)		
		定義、測定方法	肩峰と肘先の中間の周囲長を計測		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	6	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	上腕三頭筋皮下脂肪厚(TSF)		
		定義、測定方法	ACの筋肉層と皮下脂肪層を分離するようにつまみ上げキャリパーでTSF(脂肪厚)を計測		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	7	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	上腕筋囲長(AMC)		
		定義、測定方法	AC(cm)－3.14×TSF(mm)/10で計算		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	8	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	下腿周囲長(CC)		
		定義、測定方法	左下腿囲の一番太いところをメジャーで計測		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	9	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	握力		
		定義、測定方法	握力計で測定		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	10	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	栄養素摂取量		
		定義、測定方法	提供した食事と摂取割合で栄養素等摂取量を算出		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	11	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	栄養素等充足率		
		定義、測定方法	—		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	12	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	水分摂取量		
		定義、測定方法	—		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	100%	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	100%
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	13	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	栄養補給法		
		定義、測定方法	ー		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	14	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	食品の摂取頻度		
		定義、測定方法	肉類・魚類・卵・大豆・大豆製品・牛乳・緑黄色野菜類・海藻・いも・果物・油脂類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	ー	ー	ー
概ね50%以上90%未満で記録	ー	ー	ー
概ね10%以上50%未満で記録	ー	ー	ー
概ね10%未満で記録(0を含む)	ー	ー	ー
不明	ー	ー	ー

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	15	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	食材品目数		
		定義、測定方法	ー		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	ー	ー	ー
概ね50%以上90%未満で記録	ー	ー	ー
概ね10%以上50%未満で記録	ー	ー	ー
概ね10%未満で記録(0を含む)	ー	ー	ー
不明	ー	ー	ー

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	16	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	食形態		
		定義、測定方法	ー		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	17	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	食生活調査(食事時刻と時間、食事入手ルート)		
		定義、測定方法	食事時間や自炊、中食、配食等についても確認		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	18	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	栄養診断(判定)		
		定義、測定方法	身体状況や栄養素等摂取量、臨床データなどのアセスメント結果を用いて総合的に判定。 P(problem).E(etiology).S(symptom)に分けて記載		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	19	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	歯(義歯含む)		
		定義、測定方法	食物(硬いもの)の咀嚼について観察する(義歯装着でも可)。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	20	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	咀嚼・嚥下機能		
		定義、測定方法	嚥下については、日常の飲水や食事時のむせの状態や水飲みテストで判定する。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	21	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	認知症評価		
		定義、測定方法	(例)長谷川式認知症スケールを用いる。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	22	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	認知症高齢者の日常生活自立度(ADL)		
		定義、測定方法	調査項目チェックにより、レベル「自立・Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ」の8段階で判定する。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	100%	100%	100%
△:現在は記録不可だが追加可能			
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	23	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	障害高齢者の日常生活自立度		
		定義、測定方法	調査項目チェックによりレベル「自立・J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2」の9段階で判定する。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	100%	100%	100%
△:現在は記録不可だが追加可能			
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	24	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	服薬		
		定義、測定方法	服薬内容を確認する。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	25	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	疾患(腎不全・透析・肝硬変・心不全・脳卒中・がん・パーキンソン病他)		
		定義、測定方法	医師の診断に基づく。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	26	分野	栄養	分類	状態に関するもの
		データ項目名	食事の満足感や食事の意義(楽しみ)		
		定義、測定方法	食への意欲や満足度、食べることの楽しみや考え方について観察する。		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	50%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	27	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)		
		定義、測定方法	提供する食事内容		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	28	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)		
		定義、測定方法	形態		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	50%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	29	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)		
		定義、測定方法	栄養量		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	30	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)		
		定義、測定方法	不足が推定される栄養(素)の内容		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	31	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の提供(経口栄養補助製品による栄養調整の提供を含む)		
		定義、測定方法	栄養調整		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	32	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	食事の失認		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	33	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	傾眠		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	34	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	興奮・大声・暴言・暴力		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	35	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	徘徊・多動		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	36	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	妄想		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	37	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	早食い・詰め込み・丸のみ		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	38	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	拒食		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	39	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	偏食		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	40	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	失行(手づかみ食べ)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	41	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	異食		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	42	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事の観察(ミールラウンド)		
		定義、測定方法	盗食		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	43	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	配食サービス		
		定義、測定方法	配食サービスの利用状況		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	44	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	配食サービス		
		定義、測定方法	体重		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	45	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	配食サービス		
		定義、測定方法	食事の状況		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	46	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	配食サービス		
		定義、測定方法	主観的健康観		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	47	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食支援(食介助等)		
		定義、測定方法	食介助のレベル		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	48	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食支援(食介助等)		
		定義、測定方法	食介助の内容		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	49	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食支援（食介助等）		
		定義、測定方法	介助することによる食事摂取量の増加		

■記録の可否

（調査対象ベンダーの該当割合）

	施設	訪問	通所
○：既に記録可能			
△：現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×：現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

（調査対象ベンダーの該当割合）

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

（調査対象ベンダーの該当割合）

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	－	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	－	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	－	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－	－	－
不明	－	－	－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	50	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食支援（食介助等）		
		定義、測定方法	食に対する意欲		

■記録の可否

（調査対象ベンダーの該当割合）

	施設	訪問	通所
○：既に記録可能	10%以上		10%以上
△：現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×：現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

（調査対象ベンダーの該当割合）

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

（調査対象ベンダーの該当割合）

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録		－	
概ね50%以上90%未満で記録		－	
概ね10%以上50%未満で記録		－	
概ね10%未満で記録(0を含む)		－	
不明	10%以上	－	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	51	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事（栄養）相談（訪問栄養指導を含む）		
		定義、測定方法	形態調整		

■記録の可否

（調査対象ベンダーの該当割合）

	施設	訪問	通所
○：既に記録可能			
△：現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×：現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

（調査対象ベンダーの該当割合）

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

（調査対象ベンダーの該当割合）

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	－	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	－	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	－	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－	－	－
不明	－	－	－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	52	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事(栄養)相談(訪問栄養指導を含む)		
		定義、測定方法	調理法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	53	分野	栄養	分類	介入に関するもの
		データ項目名	食事(栄養)相談(訪問栄養指導を含む)		
		定義、測定方法	配食サービスの活用と工夫等についての説明内容とその効果		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	54	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	発生の有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上		10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	100%	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録		-	
概ね50%以上90%未満で記録		-	
概ね10%以上50%未満で記録		-	
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	-	10%以上
不明		-	

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	55	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	誤嚥の内容物		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上		10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	100%	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録		-	
概ね50%以上90%未満で記録		-	
概ね10%以上50%未満で記録		-	
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	-	10%以上
不明		-	

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	56	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	姿勢		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	57	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	嚥下評価の結果		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上		10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	100%	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録		-	
概ね50%以上90%未満で記録		-	
概ね10%以上50%未満で記録		-	
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	-	10%以上
不明		-	

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	58	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	発熱状況		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	59	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	絶食期間中の栄養管理		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	60	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	窒息		
		定義、測定方法	発生の有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	61	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	窒息		
		定義、測定方法	窒息した内容物		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	62	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	窒息		
		定義、測定方法	窒息した時の状況		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	63	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	窒息		
		定義、測定方法	身体への影響度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	64	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	窒息		
		定義、測定方法	今後の栄養管理		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	65	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	うつ		
		定義、測定方法	発生の有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	66	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	うつ		
		定義、測定方法	生活状況		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	67	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	うつ		
		定義、測定方法	対話の状態		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	68	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	うつ		
		定義、測定方法	表情や意欲		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	69	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	うつ		
		定義、測定方法	食事の摂取量の変化や栄養状態		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	70	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	発生の有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	71	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	発生要因		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	72	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	褥瘡の状態		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	73	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	健康・栄養状態		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	74	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	浮腫等の状況		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	75	分野	栄養	分類	イベント
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	栄養管理		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	76	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋量		
		定義、測定方法	BIT		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	77	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋量		
		定義、測定方法	DEXA		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	78	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋量		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	79	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋力		
		定義、測定方法	筋力テスト(MMT)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	80	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋力		
		定義、測定方法	ハンドヘルドダイナモメータによる計測		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	81	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋力		
		定義、測定方法	Biodexなどのトルク測定装置		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	82	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋力		
		定義、測定方法	ロコモ度テストなどのパフォーマンスを使った評価		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	83	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	筋力		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	84	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	バランス保持能力		
		定義、測定方法	TUG		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	85	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	バランス保持能力		
		定義、測定方法	FRC		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	86	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	バランス保持能力		
		定義、測定方法	SIDE		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	87	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	バランス保持能力		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	88	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	歩行能力		
		定義、測定方法	10m歩行速度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	89	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	歩行能力		
		定義、測定方法	6分間歩行テスト		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	90	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	歩行能力		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	91	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	手指の巧緻性		
		定義、測定方法	STEF		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	92	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	手指の巧緻性		
		定義、測定方法	Tardieu Peg-board test		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	93	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	手指の巧緻性		
		定義、測定方法	指タップ計測(UB1, 2)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	94	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	手指の巧緻性		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	95	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	DST		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	96	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	水飲みテスト		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	97	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	RSST		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	98	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	VF		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	99	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	VE		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	100	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	FOIS		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	101	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	嚥下能力/摂取できる食事のレベル		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	102	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知機能		
		定義、測定方法	HDS-R		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	103	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知機能		
		定義、測定方法	MMSE		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	104	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知機能		
		定義、測定方法	MOCA-J		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	105	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知機能		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	106	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知症の周辺症状、有無/程度		
		定義、測定方法	有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	107	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知症の周辺症状、有無/程度		
		定義、測定方法	NPI		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	108	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	認知症の周辺症状、有無/程度		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	109	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	コミュニケーション能力		
		定義、測定方法	SLTA		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	110	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	コミュニケーション能力		
		定義、測定方法	WAB		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	111	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	コミュニケーション能力		
		定義、測定方法	非言語的なコミュニケーション能力		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	112	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	コミュニケーション能力		
		定義、測定方法	社会性		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	113	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	コミュニケーション能力		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	114	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	うつなどの精神状態		
		定義、測定方法	GDI		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	115	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	うつなどの精神状態		
		定義、測定方法	STAI		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	116	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	うつなどの精神状態		
		定義、測定方法	SDS		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	117	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	うつなどの精神状態		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	118	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【心身機能・身体構造】
		データ項目名	睡眠時間		
		定義、測定方法	臥床時間と起床時間の差		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	119	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	ADL		
		定義、測定方法	Barthel index		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	120	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	ADL		
		定義、測定方法	FIM		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	121	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	ADL		
		定義、測定方法	Katz index		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	122	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	ADL		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	123	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	介護度		
		定義、測定方法	要介護認定の結果		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	100%	100%	100%
△: 現在は記録不可だが追加可能			
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	50%以上	50%以上	50%以上
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	124	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	IADL		
		定義、測定方法	Lawton index		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	125	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	IADL		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	126	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	活動量/範囲		
		定義、測定方法	活動量→(歩数計、加速度センサ、スマートフォンなど)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	127	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【活動】
		データ項目名	活動量/範囲		
		定義、測定方法	活動範囲→Frenchay Activities index		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	128	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【参加】
		データ項目名	イベント参加への積極性		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	129	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【参加】
		データ項目名	イベント参加への積極性		
		定義、測定方法	Lawton(IADLとは別)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	130	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【参加】
		データ項目名	イベント参加への積極性		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	131	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	QOL		
		定義、測定方法	SF-7		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	132	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	QOL		
		定義、測定方法	WHOQOL		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	133	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	QOL		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	134	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	主観的幸福感		
		定義、測定方法	Skinnerの図式		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	135	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	主観的幸福感		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	136	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	介護負担		
		定義、測定方法	Zarit Burden Inventory		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	137	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	介護負担		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	138	分野	リハビリテーション	分類	状態に関するもの【その他】
		データ項目名	服薬量・数		
		定義、測定方法	医療記録から直接ピックアップすることができる		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	139	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	筋力増強訓練		
		定義、測定方法	実施方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	140	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	筋力増強訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	141	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	筋力増強訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	142	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	筋力増強訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	143	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	バランス訓練		
		定義、測定方法	実施方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	144	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	バランス訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	145	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	バランス訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	146	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	バランス訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	147	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	起居動作訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	148	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	起居動作訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	149	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	起居動作訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	150	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	歩行訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	151	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	歩行訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	152	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	歩行訓練		
		定義、測定方法	介助方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	153	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	歩行訓練		
		定義、測定方法	補助具の種類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	154	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	歩行訓練		
		定義、測定方法	補助具使用の有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	155	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	歩行訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	156	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	嚥下訓練		
		定義、測定方法	種類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	157	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	嚥下訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	158	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	嚥下訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	159	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	嚥下訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	160	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	ADL訓練		
		定義、測定方法	種類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	161	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	ADL訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	162	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	ADL訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	163	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	ADL訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	164	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	IADL訓練		
		定義、測定方法	種類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	165	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	IADL訓練		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	166	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	IADL訓練		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	167	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	IADL訓練		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	168	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	体操療法		
		定義、測定方法	内容		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	169	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	体操療法		
		定義、測定方法	回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	170	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	体操療法		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	171	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	体操療法		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	172	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	回想法		
		定義、測定方法	方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	173	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	回想法		
		定義、測定方法	頻度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	174	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	回想法		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	175	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	回想法		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	176	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	リアリティオリエンテーション		
		定義、測定方法	方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	177	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	リアリティオリエンテーション		
		定義、測定方法	頻度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	178	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	リアリティオリエンテーション		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	179	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	リアリティオリエンテーション		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	180	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	アニマルセラピー		
		定義、測定方法	方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	181	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	アニマルセラピー		
		定義、測定方法	頻度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	182	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	アニマルセラピー		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	183	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	アニマルセラピー		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	184	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	音楽療法		
		定義、測定方法	方法		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	185	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	音楽療法		
		定義、測定方法	頻度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	186	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	音楽療法		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	187	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	音楽療法		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	188	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	スポーツ		
		定義、測定方法	種別		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	189	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	スポーツ		
		定義、測定方法	頻度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	190	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	スポーツ		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	191	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【訓練(運動)・活動】
		データ項目名	スポーツ		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	192	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	食べやすい食具の使用		
		定義、測定方法	使用期間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	193	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	食べやすい食具の使用		
		定義、測定方法	使用したデバイス		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	194	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	食べやすい食具の使用		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	195	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	客観的な評価に基づいた嚥下能力に見合った食事の提供		
		定義、測定方法	提供した食事のレベル		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	196	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	客観的な評価に基づいた嚥下能力に見合った食事の提供		
		定義、測定方法	提供の時期		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	197	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	客観的な評価に基づいた嚥下能力に見合った食事の提供		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	198	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	転倒予防に資する歩行補助具の提供・移動のための環境整備		
		定義、測定方法	提供した補助具		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	199	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	転倒予防に資する歩行補助具の提供・移動のための環境整備		
		定義、測定方法	建築物の改造の種類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	200	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	転倒予防に資する歩行補助具の提供・移動のための環境整備		
		定義、測定方法	建築物の改造の時期		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	201	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	転倒予防に資する歩行補助具の提供・移動のための環境整備		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	202	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	膀胱容量・尿意のモニターをした上での排尿介助		
		定義、測定方法	使用した機器		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	203	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	膀胱容量・尿意のモニターをした上での排尿介助		
		定義、測定方法	排尿回数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	204	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	膀胱容量・尿意のモニターをした上での排尿介助		
		定義、測定方法	睡眠時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	205	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	膀胱容量・尿意のモニターをした上での排尿介助		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	206	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	長柄ブラシなど洗体のための器具の提供		
		定義、測定方法	使用した機器		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	207	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	長柄ブラシなど洗体のための器具の提供		
		定義、測定方法	時期		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	208	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	長柄ブラシなど洗体のための器具の提供		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	209	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	お薬カレンダーなど服薬支援環境の整備		
		定義、測定方法	使用した道具		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	210	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	お薬カレンダーなど服薬支援環境の整備		
		定義、測定方法	時期		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	211	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	お薬カレンダーなど服薬支援環境の整備		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	212	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	介護者のコミュニケーションスキルの向上		
		定義、測定方法	介護者が獲得したスキルおよび能力		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	213	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	介護者のコミュニケーションスキルの向上		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	214	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	介護中の会話機会の提供		
		定義、測定方法	会話の有無		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	215	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	介護中の会話機会の提供		
		定義、測定方法	会話の内容		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	216	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	介護中の会話機会の提供		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	217	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	趣味の場の提供		
		定義、測定方法	種類		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	218	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	趣味の場の提供		
		定義、測定方法	時間		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	219	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	趣味の場の提供		
		定義、測定方法	頻度		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	220	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	趣味の場の提供		
		定義、測定方法	その他		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	221	分野	リハビリテーション	分類	介入に関するもの【環境調整】
		データ項目名	趣味活動、提供できる食事などのオプションの多さ		
		定義、測定方法	オプションの数		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	222	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	居室からの移動回数		
		定義、測定方法	1日に何回居室から出て行動するか?		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能			
△: 現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	223	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	居室以外の場所での滞在時間		
		定義、測定方法	1日に何時間程度、居室から出て行動するか？		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	224	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	転倒回数		
		定義、測定方法	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	225	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	外傷受傷回数		
		定義、測定方法	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	226	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	行事への参加回数・時間		
		定義、測定方法	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	227	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	外出回数・時間		
		定義、測定方法	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	228	分野	リハビリテーション	分類	イベント
		データ項目名	失禁、有無/頻度		
		定義、測定方法	入所中の記録、訪問に際しての聞き取り		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	229	分野	認知症	分類	デイサービス、介護予防レベル
		データ項目名	意欲		
		定義、測定方法	Vitality Index		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	230	分野	認知症	分類	デイサービス、介護予防レベル
		データ項目名	交流、活動		
		定義、測定方法	—		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	231	分野	認知症	分類	デイサービス、介護予防レベル
		データ項目名	サービス適応		
		定義、測定方法	—		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	232	分野	認知症	分類	デイサービス、介護予防レベル
		データ項目名	コミュニケーション		
		定義、測定方法	-		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	233	分野	認知症	分類	デイサービス、介護予防レベル
		データ項目名	介護負担		
		定義、測定方法	ZBI		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能		10%以上	
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	50%以上	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-		-
概ね50%以上90%未満で記録	-		-
概ね10%以上50%未満で記録	-		-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-		-
不明	-	10%以上	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	234	分野	認知症	分類	デイサービス、介護予防レベル
		データ項目名	本人の思い		
		定義、測定方法	焦り、不安		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	50%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	235	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	BPSD		
		定義、測定方法	DBD13		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明		10%以上	

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	236	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	転倒		
		定義、測定方法	転倒スコア FRI		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	237	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	誤嚥性肺炎		
		定義、測定方法	WDT		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	-	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	-	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	-	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-	-	-
不明	-	-	-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	238	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	体重減少		
		定義、測定方法	BW		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上		10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	100%	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録		－	
概ね50%以上90%未満で記録		－	
概ね10%以上50%未満で記録		－	
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	－	10%以上
不明		－	

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	239	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	難聴		
		定義、測定方法	聴力検査		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	240	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	視力低下		
		定義、測定方法	視力検査		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	241	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	膝関節痛		
		定義、測定方法	XP		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	242	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	失禁		
		定義、測定方法	下着、オムツ濡れ		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録			
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上	10%以上	10%以上
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	243	分野	認知症	分類	入所レベル
		データ項目名	高度障害		
		定義、測定方法	家族の顔、笑顔消失、座位不可		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能			
△:現在は記録不可だが追加可能	100%	100%	100%
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	—	—	—
概ね50%以上90%未満で記録	—	—	—
概ね10%以上50%未満で記録	—	—	—
概ね10%未満で記録(0を含む)	—	—	—
不明	—	—	—

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	244	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	実施日		
		定義、測定方法	0～9からなる8桁の数字 YYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	245	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	プロセス		
		定義、測定方法	1 スクリーニング 2 アセスメント 3 モニタリング		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	246	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	低栄養のリスクレベル		
		定義、測定方法	0 低 1 中 2 高		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	247	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	本人の意欲		
		定義、測定方法	1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	248	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	3%以上の体重減少_有無		
		定義、測定方法	0 無し 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	249	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	3%以上の体重減少_減少した体重		
		定義、測定方法	キログラム単位入力(小数点第一位まで) 例 2.5 3.0		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	250	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	3%以上の体重減少_期間		
		定義、測定方法	月数(整数)で入力 例 2		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	251	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	血清アルブミン値		
		定義、測定方法	小数点第一位まで入力 (g/dl)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	50%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	252	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	褥瘡		
		定義、測定方法	0 無し 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	253	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	栄養補給法		
		定義、測定方法	10の位:0 経腸栄養法なし 1 経腸栄養法あり 1の位:0 静脈栄養法なし 1 静脈栄養法あり 例) 経腸栄養法なし かつ 静脈栄養法あり 01		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	254	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	食事の留意事項の有無		
		定義、測定方法	0 無し 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	255	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	食事時の摂食・嚥下状況		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した10桁の数値を入力 ・安定した正しい姿勢が自分でとれない／・食事に集中することができない／・食事中に傾眠や意識混濁がある／・歯(義歯)のない状態で食事をしている／・食べ物を口腔内に溜め込む／・固形の食べ物を咀嚼く中にむせる／・食後、頬の内側や口腔内に残渣がある／・水分でむせる／・食事中、食後に咳をすることがある／・その他 例 「固形の食べ物を咀嚼く中にむせる」及び「食事中、食後に咳をすることがある」に該当する場合 0000010010／摂食・嚥下状況が不明の場合は9999999999を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	256	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	食欲・食事の満足感		
		定義、測定方法	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	257	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	食事に対する意識		
		定義、測定方法	1 大いにある 2 ややある 3 ふつう 4 ややない 5 全くない		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	258	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	他サービスの使用の有無		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明		10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	259	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	他職種による栄養ケアの課題		
		定義、測定方法	以下の順に、問題がない場合は0、問題がある場合は1とし、連続した15桁の数値を入力 ・褥瘡／・口腔及び摂食・嚥下／・嘔気・嘔吐／・下痢／・便秘／・浮腫／・脱水／・感染・発熱／・経腸・静脈栄養／・生活機能低下／・閉じこもり／・うつ／・認知機能／・医薬品／・その他 例「生活機能低下」及び「閉じこもり」に該当する場合 000000000110000 / 不明の場合は9999999999999999を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	260	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	評価・判定		
		定義、測定方法	以下の順に、問題点がない場合は0、問題点がある場合は1とし、連続した4桁の数値を入力 ・食事摂取・栄養補給の状況／・身体機能・臨床症状／習慣・周辺環境／・その他 例「身体機能・臨床症状」がある場合 0100 / 不明の場合は9999を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	261	分野	栄養マネジメントに関する情報	分類	-
		データ項目名	総合評価		
		定義、測定方法	1 改善 2 改善傾向 3 維持 4 改善が認められない		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	262	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	検査実施日		
		定義、測定方法	摂食・嚥下機能検査を実施した日を入力する 0～9からなる8桁の数字 YYYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	263	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	経口摂取の状態		
		定義、測定方法	10の位:0 歯又は使用中の義歯がある 非該当 1 歯又は使用中の義歯がある 該当 1の位:0 食事の介助が必要である 非該当 1 食事の介助が必要である 該当 例) 歯又は使用中の義歯がある 該当 かつ 食事の介助が必要である 該当 11		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	264	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	算定加算		
		定義、測定方法	1 経口移行加算 2 経口維持加算(Ⅰ) 3 経口維持加算(Ⅰ)及び(Ⅱ)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上		10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	268	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	支援の観点_食事の形態・とりみ、補助食の活用		
		定義、測定方法	0 現状維持 1 変更		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	269	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	食事の周囲環境		
		定義、測定方法	0 現状維持 1 変更		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	270	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	食事の介助の方法		
		定義、測定方法	0 現状維持 1 変更		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	271	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	口腔のケアの方法		
		定義、測定方法	0 現状維持 1 変更		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	272	分野	口腔移行・維持に関する情報	分類	-
		データ項目名	医療又は歯科医療受療の必要性		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	273	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	記入日		
		定義、測定方法	関連職種等により把握された課題等を記入した日を入力 0~9からなる8桁の数字 YYYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	274	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	かかりつけ歯科医		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	275	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	入れ歯の使用		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	276	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	課題等		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した10桁の数値を入力 ・かみにくさ／むせ／口のかわき／口臭／歯みがき／飲み込み／会話／食べこぼし／義歯 (痛み・動揺・清掃状態・管理状態)／その他 例「むせ」及び「会話」が該当する場合 0100001000／不明の場合は9999999999を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	277	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	アセスメント・モニタリング実施日		
		定義、測定方法	アセスメント・モニタリングを実施した日を入力する。 0～9からなる8桁の数字 YYYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	278	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	記入者		
		定義、測定方法	1 言語聴覚士 2 歯科衛生士 3 看護師		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	279	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	観察・評価等		
		定義、測定方法	以下の順に、括弧内の値を選択し、連続した7桁の数値として入力 ・固いもののかみにくさ(1 ない 2 ある)／・お茶や汁物等によるむせ(1 ない 2 ある)／・口のかわき(1 ない 2 ある)／・咬筋の触診(咬合力)(1 強い 2 弱い 3 なし)／・歯や義歯のよごれ(1 ない 2 ある 3 多い)／・舌のよごれ(1 ない 2 ある 3 多い)／・ブクブクうがい(空ブクブクでも可)(1 できる 2 やや不十分 3 不十分)		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	280	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	RSST		
		定義、測定方法	30秒間の回数を整数で入力 例 20		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	281	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	オーラルディアドコキネシス_パ		
		定義、測定方法	30秒間の回数を整数で入力 例 20		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	282	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	オーラルディアドコキネシス_タ		
		定義、測定方法	30秒間の回数を整数で入力 例 20		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	283	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	オーラルディアドコキネシス_カ		
		定義、測定方法	30秒間の回数を整数で入力 例 20		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	50%以上	50%以上	50%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録			
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	284	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	問題点		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した9桁の数値を入力 ・かむ／・飲み込み／・口のかわき／・口臭／・歯みがき／・食べこぼし／・むせ／・会話／・その他 例「かむ」及び「飲み込み」が該当する場合 110000000／不明の場合は999999999を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	285	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	サービスを継続しないことによる口腔機能の低下の恐れ		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	286	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	サービス継続の必要性		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	287	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	計画変更の必要性		
		定義、測定方法	0 なし 1 あり		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	288	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	口腔機能改善管理指導計画作成日		
		定義、測定方法	口腔機能改善管理指導計画を作成した日を入力する 0~9からなる8桁の数字 YYYYMMDD 例 2018年4月1日→20180401		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	289	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	指導等		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した4桁の数値を入力 ・口腔機能向上に関する情報提供／・口腔体操・嚥下体操／・歯みがき支援／・食事姿勢や食環境の指導 例 口腔体操・嚥下体操及び歯みがき支援が必要な場合 0110		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	290	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	機能訓練		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した5桁の数値を入力 ・歯みがき実地指導／・かむ／・飲み込み／・発音・発声／・呼吸 例 かむ及び呼吸が必要な場合 01001		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	291	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	本人実施項目		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した3桁の数値を入力 ・口腔体操・嚥下体操／・歯みがきの実施／・その他 例 歯みがきの実施が必要な場合 010		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	292	分野	口腔機能向上に関する情報	分類	-
		データ項目名	介護者実施項目		
		定義、測定方法	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した3桁の数値を入力 ・歯みがき支援(確認・声かけ・介助)／・口腔体操等支援／・その他 例 口腔体操等支援が必要な場合 010		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明			

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	293	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	作成日		
		定義、測定方法	チェックシートの作成日を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	50%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	294	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	自分でトイレへ行く		
		定義、測定方法	興味・関心チェックシートの内容を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	295	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	一人でお風呂に入る		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	296	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	自分で服を着る		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	297	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	自分で食べる		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	298	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	歯磨きをする		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	299	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	身だしなみを整える		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	300	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	好きなときに眠る		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	301	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	掃除・整理整頓		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	302	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	料理を作る		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	303	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	買い物		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	304	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	家や庭の手入れ・世話		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	305	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	洗濯・洗濯物たたみ		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	306	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	自転車・車の運転		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	307	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	電車・バスでの外出		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	308	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	孫・子供の世話		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	309	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	動物の世話		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	310	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	友達とおしゃべり・遊ぶ		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	311	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	家族・親戚との団らん		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	312	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	デート・異性との交流		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○: 既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△: 現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×: 現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	313	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	居酒屋に行く		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	314	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	ボランティア		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	315	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	地域活動(町内会・老人クラブ)		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	316	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	お参り・宗教活動		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	317	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	生涯学習・歴史		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	318	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	読書		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	319	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	俳句		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	320	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	書道・習字		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	321	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	絵を描く・絵手紙		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	322	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	パソコン・ワープロ		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	323	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	写真		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	324	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	映画・観劇・演奏会		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	325	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	お茶・お花		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	326	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	歌を歌う・カラオケ		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	327	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	音楽を聴く・楽器演奏		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	328	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	329	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	体操・運動		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	330	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	散歩		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	331	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	332	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	ダンス・踊り		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	333	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	野球・相撲等観戦		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	334	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	競馬・競輪・競艇・パチンコ		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	335	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	編み物		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	336	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	針仕事		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	337	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	畑仕事		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	338	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	賃金を伴う仕事		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	339	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	旅行・温泉		
		定義、測定方法	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難			

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録		10%以上	10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)	10%以上		
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	340	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	訪問日		
		定義、測定方法	居宅訪問を行った日を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	
数値のみを入力	10%以上
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	341	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	食事		
		定義、測定方法	居宅訪問チェックシートの内容を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	10%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録			
概ね10%未満で記録(0を含む)			
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	342	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	排泄		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	343	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	入浴		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	344	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	更衣		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	345	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	整容		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	346	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	移乗		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	347	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	屋内移動		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	348	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	屋外移動		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	349	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	階段昇降		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	350	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	調理		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	351	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	洗濯		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	352	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	掃除		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	353	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	起き上がり		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	354	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	座位		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	355	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	立ち上がり		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	356	分野	個別機能訓練に関する情報	分類	-
		データ項目名	立位		
		定義、測定方法	10の位:0 自立 1 見守り 2 一部介助 3 自立 1の位:0 課題なし 1 課題あり 例)見守り かつ 課題無し 10		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	50%以上	50%以上	50%以上
△:現在は記録不可だが追加可能		10%以上	
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上	10%以上	10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	50%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	10%以上	10%以上	10%以上
概ね50%以上90%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%以上50%未満で記録	10%以上		10%以上
概ね10%未満で記録(0を含む)		10%以上	
不明	10%以上	10%以上	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	357	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	-
		データ項目名	1010健康チェック		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	-	10%以上	-
概ね50%以上90%未満で記録	-	10%以上	-
概ね10%以上50%未満で記録	-	10%以上	-
概ね10%未満で記録(0を含む)	-		-
不明	-		-

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	358	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1020環境整備		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	359	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1030相談援助、情報収集・提供		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－	10%以上	－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	360	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1040サービス提供後の記録等		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－	10%以上	－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	361	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1111トイレ利用		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	362	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1112ポータブルトイレ利用		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	363	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1113おむつ交換		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	364	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1120食事介助		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	365	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1130特設の専門的配慮をもって行う調理		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	366	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1210清拭(全身清拭)		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	367	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1221手浴及び足浴		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－	10%以上	－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	368	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1222洗髪		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	369	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1230全身浴		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	370	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1240洗面等		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	371	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1250身体整容		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	372	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1260更衣介助		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	373	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1310体位変換		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	50%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	374	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1321移乗		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	50%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	375	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1322移動		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	50%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	376	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1330通院・外出介助		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	50%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	377	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1411起床介助		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	50%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	378	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1412就寝介助		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	379	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1500服薬介助		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	380	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	1600自立支援のための見守りの援助(自立支援、ADL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	50%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	10%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	381	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2010健康チェック		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	382	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2020環境整備		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	383	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2030相談援助、情報収集・提供		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	384	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2040サービス提供後の記録等		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	10%以上
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	385	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2100掃除		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	386	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2200洗濯		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	387	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2300ベッドメイク		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数を含む。

No.	388	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2400衣類の整理・被服の補修		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－	10%以上	－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	389	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2500一般的な調理、配下膳		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－	10%以上	－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

No.	390	分野	訪問介護におけるサービス内容に関する情報	分類	－
		データ項目名	2600買い物・薬の受け取り		
		定義、測定方法	実施の有無を記載する		

■記録の可否

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
○:既に記録可能	10%以上	10%以上	10%以上
△:現在は記録不可だが追加可能	10%以上	50%以上	10%以上
×:現在は記録不可で追加も困難	10%以上		10%以上

■記録形式

(調査対象ベンダーの該当割合)

所定のコードを選択	10%以上
数値のみを入力	
フリーテキストを入力	
画像データの取り込み	
その他の方式	10%以上

※記録の可否が「○」である場合に回答。「△」の場合は任意回答。

■実際の記録状況

(調査対象ベンダーの該当割合)

	施設	訪問	通所
概ね90%以上で記録	－		－
概ね50%以上90%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%以上50%未満で記録	－	10%以上	－
概ね10%未満で記録(0を含む)	－		－
不明	－		－

※記録の可否が「○」である場合に回答。

※いずれの設問においても、該当割合の算出においては、本調査に回答の得られたベンダー数を共通で母数としており、当該設問について無回答のベンダーも母数に含む。

IV. 総括

本事業は、厚生労働省老健局老人保健課との調整の下で、有識者委員会を組織して、ケアに関する情報等を格納するためのデータベースの構築に向けて収集すべきデータ項目等について検討を行うとともに、厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」の議論を深め、具体化していく作業を実施した。有識者委員会においては、平成 29 年度老人保健健康増進等事業「自立に資する介護に関する調査研究事業」とも連携の上、検討を進めることとされた。

また、既存の介護記録システムを開発するシステムベンダーに対する調査を通じて、要介護者の状態や提供されたケアに関する情報等を格納するためのデータベースに求められる要件等についての調査研究を実施し、調査結果の一部については「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」において活用された。

以下に、上記業務内容の実施成果について記載する。

1. ケアの情報等を格納するデータベース構築に向けた論点の整理

ケアに関する情報等を格納するためのデータベースの構築に向けて収集すべきデータ項目等に関する、本事業の有識者委員会における主な議論を下記の通り整理した。

(1) 自立に資する介護の評価方法について

- 自立に資する介護のあり方について、現時点での国内の研究を網羅するために、システムレビューや研究者からのヒアリング等を実施する必要があるのではないか。
- 平成 30 年度の介護報酬改定に向けては、アウトカム評価に拘らずに、プロセス評価や、適切な指標を用いて測定していること自体の評価を行う必要があるのではないか。ただし、プロセス評価は人手を要することが課題である。
- 評価指標については、バーセルインデックス等の ADL 等の基本的な指標に加え、生物学的な指標の測定に対する加算を設けてはどうか。その際、生物学的な指標は最低限に絞った上で、具体的な要件や、指標の測定を行う人員体制等の仕組みについても議論する必要がある。
- 施設において、最低限必要な医学的検査がある程度できるようにする仕組みが求められるが、現状では測定が難しく、客観性がありかつ簡便な項目を取り上げることが必要になる。転倒・骨折も重要であり、予防するケアプラン作成や情報共有に対する評価も検討が必要である。

(2) 介護記録からのデータ収集について

- 介護においては用語の標準化が十分になされていない状況であり、共通言語を作ることが必要になる。ベンダー調査で尋ねた調査項目以外にも、介護現場で用いられている言葉でデータ化できる内容もある可能性がある。
- 記録の方法を考える上では、日常の記録とは別に作業も必要となる場合、介護職がどこまで対応できるかについて、考慮が必要である。また、職種によって現状の記録状況にも差異があるものと考えられる、専門職が必ず関わっている介入項目と関わっていない介入項目は分けて考える必要がある。
- 加算を取る際の評価票のデータであれば、ルーチンで作成されているものであり、ベンダー

としてもシステムに取り入れることが容易であると考えられる。主治医意見書や認定調査票も既存の記録として存在している。現状でも記録できていない項目が多い中で、項目を増やすことについては反発も予想される。

(3) データベースの設計等に向けて

- 今後データを蓄積して分析していく対象者のターゲットについては、介入の効果が高い群がどのような対象かについて検討が必要であり、通所、入所を含めどこに重点を置くかについて、今後議論していく必要がある。
- データを取る仕組みについて、既存の仕組みからデータを取るのか、DPCのように新たに入力ソフトを配布してデータを収集するかという検討が必要である。システムの設計を進める上では、データ項目の取捨より先にまずはテーブルの整備をすることが求められる。
- 栄養については、通所・在宅系の内容に加えて、施設入所の視点もより考慮が必要である。介護現場に即した必須の項目であって、フィージビリティが高いものを優先する必要がある一方で、本当に重要な項目が何かという本質的な議論をすることが科学的介護である。

2. 既存の介護記録システムにおけるデータ記録状況等の整理

システムベンダーに対する調査結果に基づき、既存の介護記録システムにおけるデータ項目ごとの「記録の可否」の状況について集計を行った結果、施設サービス、訪問サービス、通所サービスの少なくともいずれか1つ以上において、「既に記録可能」と回答のあったベンダー割合が100%であったデータ項目としては、「身長」、「体重」、「水分摂取量」、「認知症高齢者の日常生活自立度（ADL）」、「障害高齢者の日常生活自立度」の5項目であった。

「既に記録可能」と回答したベンダー割合が50%以上であったデータ項目・定義の構成割合が高かった分野・分類をみると、「栄養マネジメントに関する情報」、「口腔移行・維持に関する情報」、「個別機能訓練に関する情報」ではいずれもその構成割合が100%となっており、これら分野ではいずれのデータ項目・定義についても、既存の介護記録システム上で既に記録する仕組みが整っている可能性が高いことが確認された。

また、データ項目別の詳細結果で示すように、「既に記録可能」とはなっていないデータ項目であっても、大半の項目について「現行のシステムの中で記録対象に追加することが可能と想定される」との回答割合が高くなっており、今後システムで対応可能である場合が多い状況であった。

なお、本調査で設問として設けた「実際の記録状況」の回答については、システムベンダーにおいて事業所の記録状況を把握していないケースも多かったことから、回答結果の取り扱いには留意を要する。

厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」においては、第5回検討会（平成30年3月9日開催）における議論のとりまとめにおいて、CHASEで収集する情報として、「対象となる事業所の大部分で既に電子的に取得されている情報」もしくは「一定程度の事業所において既に電子的に取得されており、その方法が簡便であって、他の事業所でも容易に導入、実施できると思われるもの」を格納することを原則とした初期仕様を策定することとしており、データ利用の可能性を判断する上での基礎データとして本調査結果の一部が活用されたものである。

V. 資料編

厚生労働科学研究費およびAMEDにおける研究事業の整理

本資料は、有識者委員会において、現時点での国内の研究を網羅するために、過去の厚生労働科学研究費における長寿科学総合研究事業・長寿科学政策研究事業、およびAMEDにおける長寿科学研究開発事業に関する研究課題名・研究代表者を一覧化して、今後活用してはどうかとの提案がなされたことを受けて、当該リスト作成を行ったものである。

リスト化を行った事業および対象年度は下表の通りである。

長寿科学研究開発事業（AMED）	平成25年～平成29年
長寿科学政策研究事業（厚生労働科学研究費）	平成28年～平成29年
長寿科学総合研究事業（厚生労働科学研究費）	平成9年～平成27年

長寿科学研究開発事業 (AMED)

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H29-1	海老原 孝枝	杏林大学	誤嚥性肺炎早期発見のための、包括的評価と層別予防ケア戦略の確立
H29-2	田宮 菜奈子	筑波大学	医療介護情報の連結する方法の検証とロジックの構築及び医療介護の地域差分析:効果的な医療-介護の二次データ活用システム構築のためのヘルスササビス
H29-3	松田 晋哉	産業医科大学	地域包括ケア体制実現のための医療・介護レセプトを連結した情報基盤の作成とその活用に関する研究
H29-4	近藤 尚己	東京大学	地域包括ケア推進に向けた地域診断ツールの活用による地域マネジメント支援に関する研究
H29-5	吉村 典子	東京大学	高齢者の自立度を測定する効果的調査票の開発と検証
H28-1	平野 浩彦	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	認知症高齢者に対する歯科診療等の口腔管理及び栄養マネジメントによる経口摂取支援に関する研究
H28-2	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	要介護高齢者半減を目指した日常生活動作指標の開発とテララーメイド型介入方法の検証
H28-3	秋下 雅弘	国立大学法人東京大学	高齢者の多剤処方見直しのための医師・薬剤師連携ガイド作成に関する研究
H28-4	島田 裕之	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	身体および認知的フレイルの予防方法の開発と効果検証
H28-5	飯島 勝矢	国立大学法人東京大学	市民主導の新たな包括的フレイル予防プログラムを通じた快活なまちづくりのモデル構築に関する研究
H27-1	近藤 克典	千葉大学	地域づくりによる介護予防を推進するための研究
H26-1	大川 淳	東京医科歯科大学	骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存的初期治療の指針策定
H26-2	大淵 修一	東京都健康長寿医療センター	住民との協働による介護予防のまちづくりの効果検証のための地域コントロールトライアル
H26-3	川越 雅弘	国立社会保障・人口問題研究所	地域包括ケアシステム構築に向けた地域マネジメント力の強化手法ならびに地域リーダー養成プログラムの開発に関する研究
H26-4	菊谷 武	日本歯科大学	地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討
H26-5	熊川 寿郎	国立保健医療科学院	エビデンスに基づく地域包括ケアシステム構築のための市町村情報活用マニュアル作成と運用に関する研究
H26-6	近藤 尚己	東京大学	データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究
H26-7	田中 亮	広島国際大学	大腿骨近位部骨折術後1年の要介護状態ハイリスク患者に対する介護予防や要介護度の重度化予防
H26-8	戸原 玄	東京医科歯科大学	高齢者の摂食嚥下・栄養に関する地域包括的ケアについての研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H26-9	松田 秀一	京都大学	変形性膝関節症の発症・増悪予測スコア作成により要介護を防止する治療戦略構築
H26-10	吉江 悟	東京大学	在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究
H25-1	秋下 雅弘	東京大学	高齢者の薬物治療の安全性に関する研究
H25-2	小川 彰	岩手医科大学	高齢脳卒中患者をモデルとした栄養管理と摂食機能訓練に関するアゴリズムの開発、および経口摂取状態の改善効果の検証
H25-3	住谷 昌彦	東京大学	高齢者の筋骨格系変性を改善・予防する在宅ロボットリハビリシステム開発とその実証実験
H25-4	平野 浩彦	東京都健康長寿医療センター	要介護高齢者等の口腔機能および口腔の健康状態の改善ならびに食生活の質の向上に関する研究
H25-5	吉村 典子	東京大学	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための研究：大規模住民コホート（LOCOMO スタディ）の追跡

長寿科学政策研究事業(厚生労働科学研究費)

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H29-1	川越 雅弘	埼玉県立大学	要介護高齢者の生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション／リハビリテーションマネジメントのあり方に関する総合的研究
H29-2	葛谷 雅文	国立大学法人 名古屋大学	地域要因に基づいた在宅医療・介護連携推進に関する研究－汎用性の高い在宅医療・介護連携推進・ガイドラインの作成
H29-3	池田 学	国立大学法人 大阪大学	生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究
H29-4	渡邊 裕	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	介護保険施設における利用者の口腔・栄養管理の充実に関する調査研究
H29-5	枝広 あや子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	要介護高齢者の経口摂取支援のための歯科と栄養の連携を推進するための研究
H29-6	荒井 秀典	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	住民主体の介護予防システム構築に関する研究
H29-7	近藤 克則	国立大学法人 千葉大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H28-1	川越 雅弘	国立社会保障・人口問題研究所	要介護高齢者の生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション／リハビリテーションマネジメントのあり方に関する総合的研究
H28-2	葛谷 雅文	国立大学法人 名古屋大学	地域要因に基づいた在宅医療・介護連携推進に関する研究－汎用性の高い在宅医療・介護連携推進・ガイドラインの作成
H28-3	池田 学	国立大学法人 熊本大学	生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究
H28-4	渡邊 裕	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	介護保険施設における利用者の口腔・栄養管理の充実に関する調査研究
H28-5	枝広 あや子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	要介護高齢者の経口摂取支援のための歯科と栄養の連携を推進するための研究
H28-6	荒井 秀典	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	住民主体の介護予防システム構築に関する研究
H28-7	近藤 克則	国立大学法人 千葉大学	介護予防を推進する地域作りを戦略的に進めるための研究
H28-8	松田 晋哉	学校法人 産業医科大学	医療レセプト情報と介護レセプト情報の連結データベース作成ロジックの構築と、これを利活用した高齢者医療における地域の質指標に関する研究

長寿科学総合研究事業(厚生労働科学研究費)

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H27-1	近藤 克則	国立大学法人 千葉大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H27-2	松田 晋哉	産業医科大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H27-3	川越 雅弘	国立社会保障・人口問題研究所	要介護高齢者の生活機能向上に資する効果的な生活期リハビリテーション／リハビリテーションマネジメントのあり方に関する総合的研究
H27-4	葛谷 雅文	国立大学法人 名古屋大学	地域要因に基づいた在宅医療・介護連携推進に関する研究－汎用性の高い在宅医療・介護連携推進・ガイドラインの作成
H27-5	池田 学	国立大学法人 熊本大学	生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究
H27-6	渡邊 裕	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	介護保険施設における利用者の口腔・栄養管理の充実に関する調査研究
H27-7	枝広 あや子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	要介護高齢者の経口摂取支援のための歯科と栄養の連携を推進するための研究
H26-1	近藤 克則	国立法人 千葉大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H26-2	松田 晋哉	産業医科大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H26-3	飯島 勝矢	東京大学	虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究
H26-4	葛谷 雅文	名古屋大学	地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究－特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて
H26-5	島田 裕之	独立行政法人国立長寿医療研究センター	介護予防プログラム開発に関する研究
H26-6	辻 一郎	東北大学	介護予防事業の進捗管理と効果評価のためのデータ整備に関する研究
H26-7	鳥羽 研二	独立行政法人国立長寿医療研究センター	高齢者在宅医療に関する多職種協働の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する研究
H26-8	相田 潤	東北大学	在宅高齢者の生活環境、地域環境および介護予防プログラム・介護サービスと高齢者の健康に関する疫学研究
H26-9	秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院	高齢者の薬物治療の安全性に関する研究
H26-10	小川 彰	岩手医科大学	高齢脳卒中患者をモデルとした栄養管理と摂食機能訓練に関するアルゴリズムの開発、および経口摂取状態の改善効果の検証
H26-11	原田 敦	独立行政法人国立長寿医療研究センター	加齢による運動器への影響に関する研究－サルコペニアに関する包括的検討－
H26-12	平野 浩彦	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	要介護高齢者等の口腔機能および口腔の健康状態の改善ならびに食生活の質の向上に関する研究
H26-13	吉村 典子	東京大学	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための研究：大規模住民コホート（LOCOMOスタディ）の追跡
H26-14	荒井 秀典	京都大学	未受診・未回収対策を含めた介護予防標準化に向けたテラレーモード型介護予防法の開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H26-15	松村 明	筑波大学	頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化
H26-16	住谷 昌彦	東京大学	高齢者の筋骨格系変性を改善・予防する在宅ロボットリハビリシステム開発とその実証試験
H26-17	山田 実	筑波大学	サルコペニアの予防を目的とした総合的研究
H26-18	坂田 泰彦	東北大学	東日本大震災における高齢者特有の医学的影響とその予防法に関する研究
H26-19	松田 秀一	京都大学	変形性膝関節症の発症・増悪予測スコア作成により要介護を防止する治療戦略構築
H26-20	大川 淳	東京医科歯科大学	骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存的初期治療の指針策定
H26-21	戸原 玄	東京医科歯科大学	高齢者の摂食嚥下・栄養に関する地域包括的ケアについての研究
H26-22	菊谷 武	日本歯科大学	地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討
H26-23	吉江 悟	東京大学	在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究
H26-24	近藤 尚己	東京大学	データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究
H26-25	大淵 修一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター (東京都健康長寿医療センター研究所)	住民との協働による介護予防のまちづくりの効果検証のための地域コントロールトライアル
H26-26	熊川 寿郎	国立保健医療科学院	エビデンスに基づく地域包括ケアシステム構築のための市町村情報活用マニュアル作成と運用に関する研究
H26-27	川越 雅弘	国立社会保障・人口問題研究所	地域包括ケアシステム構築に向けた地域マネジメント力の強化手法ならびに地域リーダー養成プログラムの開発に関する研究
H26-28	田中 亮	広島国際大学	大腿骨近位部骨折術後1年の要介護状態ハイリスク患者に対する介護予防や要介護度の重度化予防
H25-1	秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院	高齢者の薬物治療の安全性に関する研究
H25-2	小川 彰	岩手医科大学	高齢脳卒中患者をモデルとした栄養管理と摂食機能訓練に関するアルゴリズムの開発、および経口摂取状態の改善効果の検証
H25-3	近藤 克則	日本福祉大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H25-4	原田 敦	独立行政法人国立長寿医療研究センター	加齢による運動器への影響に関する研究ーサルコペニアに関する包括的検討ー
H25-5	平野 浩彦	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	要介護高齢者等の口腔機能および口腔の健康状態の改善ならびに食生活の質の向上に関する研究
H25-6	松田 晋哉	産業医科大学	介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
H25-7	吉村 典子	東京大学	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための研究:大規模住民コホート (LOCOMOスタディ) の追跡

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H25-8	荒井 秀典	京都大学	未受診・未回収対策を含めた介護予防標準化に向けたテララーモード型介護予防法の開発
H25-9	飯島 勝矢	東京大学	虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究
H25-10	葛谷 雅文	名古屋大学	地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究一特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて
H25-11	島田 裕之	独立行政法人国立長寿医療研究センター	介護予防プログラム開発に関する研究
H25-12	辻 一郎	東北大学	介護予防事業の進捗管理と効果評価のためのデータ整備に関する研究
H25-13	鳥羽 研二	独立行政法人国立長寿医療研究センター	高齢者が在宅医療に関する多職種協働の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する研究
H25-14	新飯田 俊平	独立行政法人国立長寿医療研究センター	尿マーカーを用いた骨粗鬆症検診の有用性の検証と骨折予防効果に関する研究
H25-15	松村 明	筑波大学	頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化
H25-16	鈴木 隆雄	独立行政法人国立長寿医療研究センター	先進的自立支援機器を用いた介護予防の効果検証
H25-17	阿久根 徹	東京大学	運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究
H25-18	近藤 和泉	独立行政法人国立長寿医療研究センター	在宅療養中の胃腸患者に対する摂食・嚥下リハビリテーションに関する総合的研究
H25-19	住谷 昌彦	東京大学	高齢者の筋骨格系変性を改善・予防する在宅ロボットリハビリシステム開発とその実証試験
H25-20	山田 実	京都大学	サルコペニアの予防を目的とした総合的研究
H25-21	相田 潤	東北大学	在宅高齢者の生活環境、地域環境および介護予防プログラム・介護サービスと高齢者の健康に関する疫学研究
H25-22	坂田 泰彦	東北大学	東日本大震災における高齢者特有の医学的影響とその予防法に関する研究
H24-1	荒井 秀典	京都大学	未受診・未回収対策を含めた介護予防標準化に向けたテララーモード型介護予防法の開発
H24-2	飯島 勝矢	東京大学	虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究
H24-3	葛谷 雅文	名古屋大学大学院	地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究一特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて
H24-4	島田 裕之	独立行政法人国立長寿医療研究センター	介護予防プログラム開発に関する研究
H24-5	辻 一郎	東北大学	介護予防事業の進捗管理と効果評価のためのデータ整備に関する研究
H24-6	鳥羽 研二	独立行政法人国立長寿医療研究センター	高齢者が在宅医療に関する多職種協働の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する研究
H24-7	新飯田 俊平	独立行政法人国立長寿医療研究センター	尿マーカーを用いた骨粗鬆症検診の有用性の検証と骨折予防効果に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H24-8	松村 明	筑波大学	頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化
H24-9	鈴木 隆雄	独立行政法人国立長寿医療研究センター	先進的自立支援機器を用いた介護予防の効果検証
H24-10	阿久根 徹	東京大学医学部附属病院	運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究
H24-11	近藤 和泉	独立行政法人国立長寿医療研究センター	在宅療養中の胃腸患者に対する摂食・嚥下リハビリテーションに関する総合的研究
H24-12	野出 孝一	佐賀大学	高齢者における心不全在宅医療に関する研究
H24-13	下方 浩史	独立行政法人国立長寿医療研究センター	介護予防の効果検証のための研究－長期コホート研究によるリスク評価と介入研究による検証
H24-14	原田 敦	独立行政法人国立長寿医療研究センター	高齢者における加齢性筋肉減弱現象（サルコペニア）に関する予防対策確立のための包括的研究
H24-15	村嶋 幸代	大分県立看護科学大学	地域特性に応じた効果的・効率的な24時間訪問看護介護体制の継続的実施および構築方法に関する研究
H24-16	柿木 保明	九州歯科大学	高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の策定に関する研究
H24-17	吉池 信男	青森県立保健大学	チームによる効果的な栄養ケア・マネジメントの標準化をめざした総合的研究～大学一施設連携による研究基盤・人材育成システムの構築の試み～
H24-18	吉村 典子	東京大学医学部附属病院	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究
H24-19	近藤 克則	日本福祉大学	介護保険の総合的政策評価ベンチマークシステムの開発
H24-20	秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院	高齢者に対する適切な医療提供に関する研究
H24-21	相田 潤	東北大学	在宅高齢者の生活環境、地域環境および介護予防プログラム・介護サービスと高齢者の健康に関する疫学研究
H24-22	山田 実	京都大学	視線行動に着眼した転倒・骨折予防プログラム（MTSトレーニング）の開発
H24-23	村木 重之	東京大学医学部附属病院	高齢者地域住民コホート研究による加齢性筋肉減弱現象（サルコペニア）の実態把握および予防対策に関する研究
H24-24	福本 義弘	東北大学	東日本大震災における高齢者特有の医学的影響とその予防法に関する研究
H23-1	鈴木 隆雄	独立行政法人国立長寿医療研究センター	介護予防プログラム開発に関する研究
H23-2	阿久根 徹	東京大学	運動器疾患の評価・予防に関する調査研究
H23-3	近藤 和泉	独立行政法人国立長寿医療研究センター	在宅療養中の胃腸患者の経口摂取への復帰のための客観的評価基準の策定に関する研究
H23-4	野出 孝一	国立大学法人佐賀大学	在宅医療を円滑にするための、社会的システムの構築に関する研究
H23-5	下方 浩史	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	介護予防の効果検証のための研究－長期コホート研究によるリスク評価と介入研究による検証

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H23-6	原田 敦	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	高齢者における加齢性筋肉減弱現象（サルコペニア）に関する予防対策確立のための包括的研究
H23-7	森本 茂人	金沢医科大学	災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン作成に関する研究
H23-8	村嶋 幸代	東京大学	地域特性に応じた効果的・効率的な24時間訪問看護介護体制の継続実施および構築方法に関する研究
H23-9	柿木 保明	九州歯科大学	高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の策定に関する研究
H23-10	吉池 信男	青森県立保健大学	チームによる効果的な栄養ケア・マネジメントの標準化をめざした総合的研究～大学一施設連携による研究基盤・人材育成システムの構築の試み～
H23-11	辻 一郎	東北大学	介護予防サービスの効果評価に関する研究
H23-12	菊谷 武	日本歯科大学	介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究
H23-13	葛谷 雅文	名古屋大学	高齢者の経口摂取の維持ならびに栄養ケア・マネジメントの活用に関する研究
H23-14	遠藤 直人	新潟大学	医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究
H23-15	鳥羽 研二	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究
H23-16	岩谷 力	国立障害者リハビリテーションセンター（研究所）	運動器疾患の発症及び重症化を予防するための適切なプロトコル開発に関する調査研究
H23-17	高橋 和久	千葉大学	腰痛の診断、治療に関する研究 「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」
H23-18	四宮 謙一	東京医科歯科大学	骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発
H23-19	戸山 芳昭	慶應義塾大学	腰痛の診断、治療法に関する研究：痛み・しびれの可視化技術の確立並びにMRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立
H23-20	新飯田 俊平	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	骨粗鬆症の尿スクリーニング検査の費用対効果に関する研究
H23-21	吉村 典子	東京大学	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究
H23-22	近藤 克則	日本福祉大学	介護保険の総合的政策評価ベンチマークシステムの開発
H23-23	秋下 雅弘	東京大学	高齢者に対する適切な医療提供に関する研究
H23-24	山田 実	京都大学大学院医学研究科	視線行動に着眼した転倒・骨折予防プログラム（MTSトレーニング）の開発
H23-25	村木 重之	東京大学	高齢者地域住民コホート研究による加齢性筋肉減弱現象（サルコペニア）の実態把握および予防対策に関する研究
H23-26	岡 敬之	東京大学	認知症・関節症・骨折の疫学エビデンスの解明と要介護高齢者の一次・二次予防のための効率的評価システムの開発
H22-1	下方 浩史	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	介護予防の効果検証のための研究一長期コホート研究によるリスク評価と介入研究による検証

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H22-2	原田 敦	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	高齢者における加齢性筋肉減弱現象（サルコペニア）に関する予防対策確立のための包括的研究
H22-3	森本 茂人	金沢医科大学	災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン作成に関する研究
H22-4	村嶋 幸代	東京大学	地域特性に応じた効果的・効率的な24時間訪問看護介護体制の継続実施および構築方法に関する研究
H22-5	柿木 保明	九州歯科大学	高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の策定に関する研究
H22-6	吉池 信男	青森県立保健大学	チームによる効果的な栄養ケア・マネジメントの標準化をめざした総合的研究～大学一施設連携による研究基盤・人材育成システムの構築の試み～
H22-7	辻 一郎	東北大学	介護予防サービスの効果評価に関する研究
H22-8	菊谷 武	日本歯科大学	介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究
H22-9	葛谷 雅文	名古屋大学大学院	高齢者の経口摂取の維持ならびに栄養ケア・マネジメントの活用に関する研究
H22-10	遠藤 直人	新潟大学大学院	医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究
H22-11	鳥羽 研二	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究
H22-12	岩谷 力	国立障害者リハビリテーションセンター（研究所）	運動器疾患の発症及び重症化を予防するための適切なプロトコル開発に関する調査研究
H22-13	高橋 和久	千葉大学	腰痛の診断、治療に関する研究 「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」
H22-14	四宮 謙一	東京医科歯科大学	骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発
H22-15	戸山 芳昭	慶應義塾大学	腰痛の診断、治療法に関する研究：痛み・しびれの可視化技術の確立並びにMRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立
H22-16	新飯田 俊平	独立行政法人 国立長寿医療研究センター	骨粗鬆症の尿スクリーニング検査の費用対効果に関する研究
H22-17	三島 和夫	国立精神・神経センター	高齢者に対する向精神薬の使用実態と適切な使用方法の確立に関する研究
H22-18	星野 雄一	自治医科大学	運動器機能不全の早期発見、診断ツールの開発
H22-19	植田 耕一郎	日本大学	摂食・嚥下障害の機能改善のための補助具に関する総合的な研究
H22-20	大西 五三男	東京大学医学部附属病院	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度診断法の実用化に関する研究
H22-21	吉村 典子	東京大学医学部附属病院	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究
H22-22	越智 光夫	広島大学	膝痛患者に対する3.0テスラMRIを用いての高精度画像診断技術の確立と膝痛の増悪因子の解明に関する研究
H22-23	松本 秀男	慶應義塾大学	動作解析装置を用いた歩行障害・ADL障害の解明に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H22-24	山田 治基	藤田保健衛生大学	膝痛の診断・治療に関する調査研究－関節マーカ－を用いた早期診断と予後予測の確立に関する研究－
H22-25	近藤 克則	日本福祉大学	介護保険の総合的政策評価ベンチマークシステムの開発
H22-26	秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院	高齢者に対する適切な医療提供に関する研究
H22-27	村木 重之	東京大学	高齢者地域住民コホ－ト研究による加齢性筋肉減弱現象（サルコペニア）の実態把握および予防対策に関する研究
H22-28	岡 敬之	東京大学医学部附属病院	認知症・関節症・骨折の疫学エビデンスの解明と要介護高齢者の一次・二次予防のための効率的評価システムの開発
H21-1	辻 一郎	東北大学	介護予防サービスの効果評価に関する研究
H21-2	菊谷 武	日本歯科大学	介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究
H21-3	葛谷 雅文	名古屋大学	高齢者の経口摂取の維持ならびに栄養ケア・マネジメントの活用に関する研究
H21-4	遠藤 直人	新潟大学	医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究
H21-5	鳥羽 研二	杏林大学	運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究
H21-6	岩谷 力	国立障害者リハビリテーションセンター	運動器疾患の発症及び重症化を予防するための適切なプロトコル開発に関する調査研究
H21-7	高橋 和久	千葉大学	腰痛の診断、治療に関する研究 「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」
H21-8	四宮 謙一	東京医科歯科大学	骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発
H21-9	戸山 芳昭	慶應義塾大学	腰痛の診断、治療法に関する研究：痛み・しびれの可視化技術の確立並びにMRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立
H21-10	新飯田 俊平	国立長寿医療研究センター	骨粗鬆症の尿スクリーニング検査の費用対効果に関する研究
H21-11	岡 敬之	東京大学医学部附属病院	認知症・関節症・骨折の疫学エビデンスの解明と要介護高齢者の一次・二次予防のための効率的評価システムの開発
H21-12	石井 優	国立大学法人大阪大学・免疫学フロンティア研究センター	血中脂質メディエーターを標的とした新規の骨粗鬆症治療薬の開発とその臨床応用
H21-13	三島 和夫	国立精神・神経センター	高齢者に対する向精神薬の使用実態と適切な使用方法の確立に関する研究
H21-14	星野 雄一	自治医科大学	運動器機能不全の早期発見、診断ツールの開発
H21-15	植田 耕一郎	日本大学	摂食・嚥下障害の機能改善のための補助具に関する総合的な研究
H21-16	大西 五三男	東京大学医学部附属病院	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度診断法の実用化に関する研究
H21-17	吉村 典子	東京大学医学部附属病院	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホ－ト追跡研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H21-18	越智 光夫	広島大学	膝痛患者に対する3.0テスラMRIを用いての高精度画像診断技術の確立と膝痛の増悪因子の解明に関する研究
H21-19	松本 秀男	慶應義塾大学	動作解析装置を用いた歩行障害・ADL障害の解明に関する研究
H21-20	山田 治基	藤田保健衛生大学	膝痛の診断・治療に関する調査研究ー関節マーカーを用いた早期診断と予後予測の確立に関する研究ー
H21-21	橋本 祐介	大阪市立大学	関節構成支持体(靱帯、半月板)損傷に対する細胞移植を必要としない組織再生と臨床応用の研究
H21-22	岡村 菊夫	国立長寿医療センター	高齢者の切迫性尿失禁に対する膀胱壁内A型ボツリヌス毒素キセン注入療法の実施と多施設臨床試験と腹圧性尿失禁に対する新規治療法の開発
H21-23	寒川 賢治	国立循環器病センター	高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基礎的研究
H21-24	並木 幹夫	金沢大学	高齢者の性ホルモン低下に伴う各種合併症に対する臨床研究
H21-25	祖父江 元	名古屋大学	老化に伴う神経変性疾患の標準的医療確立のための長期縦断疫学研究
H21-26	能登 真一	新潟医療福祉大学	高齢者の生活機能低下に対する作業療法の効果に関する研究
H21-27	川口 浩	東京大学医学部附属病院	新しいマテリアル創製を基盤とする運動器疾患治療法の開発
H21-28	中村 耕三	東京大学医学部附属病院	超音波を用いた非侵襲膝関節軟骨3次元定量診断装置の開発に関する研究
H21-29	高柴 正悟	岡山大学	口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の老人性肺炎の予知診断システムの開発
H21-30	柿木 保明	公立大学法人九州歯科大学	唾液を指標とした口腔機能向上プログラム作成
H21-31	大浦 武彦	医療法人社団 廣仁会 褥瘡・創傷治療研究所	褥瘡の予防と治療に関する研究 1)栄養介入の効果の検討、2)保護機材の効果の検討
H21-32	赤川 安正	広島大学	口腔ケア・マネジメントの確立
H21-33	磯貝 善蔵	国立長寿医療センター	創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体系に関する研究
H21-34	筒井 孝子	国立保健医療科学院	在宅および施設における要介護・要支援高齢者に必要な介護サービス量を推定するモデルの開発に関する研究
H21-35	上島 弘嗣	国立大学法人滋賀医科大学	食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究: NIPPON DATA 80・90の追跡調査
H21-36	村嶋 幸代	東京大学	複数の訪問看護ステーションによる地域単位の24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究
H21-37	橋本 英樹	東京大学	社会経済的格差と高齢者の健康、生活習慣、医療介護資源利用に関する検討
H21-38	小山 秀夫	静岡県立大学	介護保険施設におけるマネジメント理論の展開に関する実証的研究
H21-39	加知 輝彦	国立長寿医療センター	入院医療と在宅ケアのあり方に関する調査研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H21-40	近藤 克則	日本福祉大学	リハビリテーション患者データバンク (DB) の開発
H21-41	小川 彰	岩手医科大学	介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究
H21-42	阪本 桂造	昭和大学	開眼片足起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立 15 秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究
H21-43	佐藤 正人	東海大学	変形性関節症の病態把握と治療効果判定を可能にする定量的機能診断システムの開発
H20-1	三島 和夫	国立精神・神経センター	高齢者に対する向精神薬の使用実態と適切な使用方法の確立に関する研究
H20-2	星野 雄一	自治医科大学	運動器機能不全の早期発見、診断ツールの開発
H20-3	植田 耕一郎	日本大学	摂食・嚥下障害の機能改善のための補助具に関する総合的な研究
H20-4	清原 裕	九州大学	アルツハイマー病の危険因子の解明と予防に関する大規模ゲノム疫学研究
H20-5	石井 賢二	(財) 東京都高齢者研究・福祉振興財団	アミロイドメーキングを用いたアルツハイマー病の発症・進展予測法の実用化に関する多施設大規模臨床研究
H20-6	松原 悦朗	弘前大学	血液、尿等、生体への侵襲が少ないバイオマーカーを用いた診断方法に関する研究
H20-7	道川 誠	国立長寿医療センター	アルツハイマー病の根本的治療薬開発に関する研究
H20-8	大西 五三男	東京大学	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度診断法の実用化に関する研究
H20-9	吉村 典子	東京大学	膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究
H20-10	越智 光夫	広島大学	膝痛患者に対する3.0テスラMRIを用いての高精度画像診断技術の確立と膝痛の増悪因子の解明に関する研究
H20-11	松本 秀男	慶應義塾大学	動作解析装置を用いた歩行障害・ADL障害の解明に関する研究
H20-12	山田 治基	藤田保健衛生大学	膝痛の診断・治療に関する調査研究-関節マーカーを用いた早期診断と予後予測の確立に関する研究-
H20-13	木村 展之	独立行政法人 医薬基盤研究所	孤発性アルツハイマー病の病態機序解明を目的とする、神経系軸索輸送の加齢性変化および障害メカニズムの解明
H20-14	橋本 祐介	大阪市立大学	関節構成支持体 (靱帯、半月板) 損傷に対する細胞移植を必要としない組織再生と臨床応用の研究
H20-15	岡村 菊夫	国立長寿医療センター	高齢者の切迫性尿失禁に対する膀胱壁内A型ボツリヌス毒素注入療法の実用化と多施設臨床試験と腹圧性尿失禁に対する新規治療法の開発
H20-16	寒川 賢治	国立循環器病センター	高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究
H20-17	並木 幹夫	金沢大学	高齢者の性ホルモン低下に伴う各種合併症に対する臨床研究
H20-18	祖父江 元	名古屋大学	老化に伴う神経変性疾患の標準的医療確立のための長期縦断疫学研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H20-19	能登 真一	新潟医療福祉大学	高齢者の生活機能低下に対する作業療法の効果に関する研究
H20-20	川口 浩	東京大学	新しいマテリアル創製を基盤とする運動器疾患治療法の開発
H20-21	中村 耕三	東京大学	超音波を用いた非侵襲膝関節軟骨3次元定量診断装置の開発に関する研究
H20-22	高柴 正悟	岡山大学	口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の老人性肺炎の予知診断システムの開発
H20-23	柿木 保明	公立大学法人九州歯科大学	唾液を指標とした口腔機能向上プログラム作成
H20-24	大浦 武彦	医療法人社団廣仁会褥瘡・創傷治療研究所	褥瘡の予防と治療に関する研究 1) 栄養介入の効果の検討、2) 保護機材の効果の検討
H20-25	赤川 安正	広島大学	口腔ケア・マネジメントの確立
H20-26	磯貝 善藏	国立長寿医療センター	創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体系に関する研究
H20-27	筒井 孝子	国立保健医療科学院	在宅および施設における要介護・要支援高齢者に必要な介護サービス量を推定するモデルの開発に関する研究
H20-28	上島 弘嗣	国立大学法人滋賀医科大学	食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA 80・90の追跡調査
H20-29	村嶋 幸代	東京大学	複数の訪問看護ステーションによる地域単位の24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究
H20-30	高橋 龍太郎	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団	療養病床、老人保健施設における急性期医療の引継ぎ構造とスタッフ・デベロップメントに関する研究
H20-31	橋本 英樹	東京大学	社会経済的格差と高齢者の健康、生活習慣、医療介護資源利用に関する検討
H20-32	小山 秀夫	静岡県立大学	介護保険施設におけるマネジメント理論の展開に関する実証的研究
H20-33	加知 輝彦	国立長寿医療センター	入院医療と在宅ケアのあり方に関する調査研究
H20-34	原 俊太郎	昭和大学	アルツハイマー病巣での膜結合型プロスタグランジンE合成酵素1の生物学的・臨床医学的意義の解析
H20-35	鈴木 登	聖マリアンナ医科大学	霊長類胚性幹細胞をもちいた認知症、アルツハイマー病に対する新規治療法開発に関する研究
H20-36	田平 武	順天堂大学	サルを用いたアルツハイマー病及びびび管性認知症に対するワクチン療法の有効性、安全性の評価
H20-37	柳澤 信夫	独立行政法人 労働者健康福祉機構	認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究
H20-38	岩坪 威	東京大学	アルツハイマー病発症と進展の客観的評価法確立のための多施設縦断臨床研究：J-ADNI コアスタディ
H20-39	荒井 由美子	国立長寿医療センター	認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討
H20-40	竹田 徳則	星城大学	認知症予防のための心理社会面に着目した包括的支援に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H20-41	近藤 克則	日本福祉大学	リハビリテーション患者データバンク（DB）の開発
H20-42	田口 明彦	国立循環器病センター	心原性脳塞栓症患者に対する細胞治療の臨床試験とその発展
H20-43	小川 彰	岩手医科大学	介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究
H20-44	阪本 桂造	昭和大学	開眼片足起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立15秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究
H20-45	佐藤 正人	東海大学	変形性関節症の病態把握と治療効果判定を可能にする定量的機能診断システムの開発
H20-46	鈴木 裕	NPO法人PEGドクターズネットワーク	胃腸カテーテル交換における胃内留置の確認に関する研究
H20-47	長瀬 隆英	東京大学	高齢者呼吸器疾患の発症・制御に関与する遺伝子・蛋白質の解明と治療応用
H20-48	斎藤 正寛	大阪大学	歯周組織再生を基盤とした咀嚼機能改善技術の開発
H20-49	金高 弘恭	東北大学	低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究
H20-50	小坂 健	東北大学	小規模な高齢者介護施設等における感染管理に関する研究
H20-51	高山 忠雄	鹿児島国際大学	効果的な介護予防型訪問・通所リハビリテーションの実態把握からみた自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究
H20-52	伊藤 和之	国立身体障害者リハビリテーションセンター	文字利用が困難な高齢中途視覚障害者のための理療教育課程における学習支援システムの構築に関する研究
H20-53	遠藤 英俊	国立長寿医療センター	多様な世代及びび心身の状態に着目した要介護状態の評価指標の開発に関する研究
H20-54	田高 悦子	公立大学法人 横浜市立大学	認知機能に着目した新たな介護予防プログラムの開発に関する研究
H20-55	辻 一郎	東北大学	効果的な介護予防ケアマネジメント技法の開発に関する研究
H20-56	橋本 美芽	首都大学東京	高齢者の閉じこもりにおける住環境・家族など社会環境要因への介入方法の開発
H20-57	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学	介護保険制度における栄養ケア・マネジメント事業評価に関する研究
H20-58	高田 和子	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	大規模コホートの観察研究に基づく生活機能低下スクリーニング質問表の開発
H20-59	大原 里子	東京医科歯科大学	口腔機能の向上の実施体制と評価に関する研究
H20-60	浦上 克哉	鳥取大学	軽度認知機能障害の簡易スクリーニング手法および予防介入効果の評価法の開発に関する研究
H20-61	朝田 隆	筑波大学	若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究
H20-62	丸山 和佳子	国立長寿医療センター	老化に伴う認知症に有効な神経保護薬の臨床応用とその評価法の確立

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H20-63	伊藤 裕	慶應義塾大学	ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補償による新規認知症治療法の開発
H20-64	村山 繁雄	(財) 東京都高齢者研究・福祉振興財団	軽度認知障害の、推定背景病理に基づく、最適認知進展予防法の開発
H20-65	加藤 伸司	認知症介護研究・研修仙台センター	認知症における標準的なケアモデルの構築に関する研究
H20-66	鳥羽 研二	杏林大学	効率的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究
H20-67	田村 俊世	国立大学法人千葉大学	高齢者の転倒予防に関する研究
H20-68	原田 敦	国立長寿医療センター	大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和、生活機能及びQOLの維持・向上に関する研究
H20-69	折茂 肇	健康科学大学	骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究
H20-70	萩野 浩	社団法人日本整形外科科学会	全国調査に基づく高齢者骨折の発生及び治療実態に関する研究
H20-71	中村 利孝	産業医科大学	高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変性、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明
H20-72	戸山 芳昭	慶應義塾大学	高齢者の腰痛症に係る効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立
H20-73	里宇 明元	慶應義塾大学	大都市圏脳卒中診療連携体制の構築－ニーズと資源のマッチング用データベースを用いたリハビリテーション医療連携システムの開発と効果の実証－
H20-74	三浦 久幸	国立長寿医療センター	高齢者の終末期医療・ケアの地域連携モデルの構築と終末期ガイドライン作成
H20-75	長谷川 敏彦	日本医科大学	長寿科学の推進に係るグラウンドデザインに関する研究
H20-76	内村 健治	国立長寿医療センター	細胞を血行性脳実質内動員する機序の解析およびそのアルツハイマー病治療への応用
H19-1	岡村 菊夫	国立長寿医療センター	高齢者の切迫性尿失禁に対する膀胱壁内A型ボツリヌス毒素キシン注入療法の実施と多施設臨床試験と腹圧性尿失禁に対する新規治療法の開発
H19-2	寒川 賢治	国立循環器病センター	高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基礎的研究
H19-3	並木 幹夫	金沢大学	高齢者の性ホルモン低下に伴う各種合併症に対する臨床研究
H19-4	祖父江 元	名古屋大学	老化に伴う神経変性疾患の標準的医療確立のための長期縦断疫学研究
H19-5	能登 真一	新潟医療福祉大学	高齢者の生活機能低下に対する作業療法の効果に関する研究
H19-6	川口 浩	東京大学	新しいマテリアル創製を基盤とする運動器疾患治療法の開発
H19-7	中村 耕三	東京大学	超音波を用いた非侵襲膝関節軟骨3次元定量診断装置の開発に関する研究
H19-8	高柴 正悟	岡山大学	口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の老人性肺炎の予知診断システムの開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H19-9	柿木 保明	九州齒科大学	唾液を指標とした口腔機能向上プログラム作成
H19-10	大浦 武彦	医療法人社団廣仁会褥瘡・創傷治癒研究所	褥瘡の予防と治療に関する研究 1) 栄養介入の効果の検討、2) 保護機材の効果の検討
H19-11	赤川 安正	広島大学	口腔ケア・マネジメントの確立
H19-12	磯貝 善蔵	国立長寿医療センター	創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体系に関する研究
H19-13	筒井 孝子	国立保健医療科学院	在宅および施設における要介護・要支援高齢者に必要な介護サービス量を推定するモデルの開発に関する研究
H19-14	上島 弘嗣	滋賀医科大学	食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA 80・90の追跡調査
H19-15	村嶋 幸代	東京大学	複数の訪問看護ステーションによる地域単位の24時間訪問介護・看護の效果的・効率的な実施方法の開発研究
H19-16	高橋 龍太郎	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団東京都老人総合研究所	療養病床、老人保健施設における急性期医療の引継ぎ構造とスタッフ・デベロップメントに関する研究
H19-17	橋本 英樹	東京大学	社会経済的格差と高齢者の健康、生活習慣、医療介護資源利用に関する検討
H19-18	小山 秀夫	静岡県立大学	介護保険施設におけるマネジメント理論の展開に関する実証的研究
H19-19	加知 輝彦	国立長寿医療センター	入院医療と在宅ケアのあり方に関する調査研究
H19-20	工藤 一郎	昭和大学	アルツハイマー病巣での膜結合型プロスタグランジンE合成酵素1の生物学的・臨床医学的意義の解析
H19-21	鈴木 登	聖マリアンナ医科大学	霊長類胚性幹細胞をもちいた認知症、アルツハイマー病に対する新規治療法開発に関する研究
H19-22	田平 武	国立長寿医療センター	サルを用いたアルツハイマー病及び血管性認知症に対するワクチン療法の有効性、安全性の評価
H19-23	柳澤 信夫	独立行政法人 労働者健康福祉機構	認知症の包括ケア的提供体制の確立に関する研究
H19-24	岩坪 威	東京大学	アルツハイマー病発症と進展の客観的評価法確立のための多施設縦断臨床研究：J-ADNI コアスタディ
H19-25	荒井 由美子	国立長寿医療センター	認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討
H19-26	井上 剛伸	国立身体障害者リハビリテーションセンター	認知症者の記憶と見当識を補う情報呈示による不安軽減効果の研究
H19-27	竹田 徳則	星城大学	認知症予防のための心理社会面に着目した包括的支援に関する研究
H19-28	近藤 克則	日本福祉大学	リハビリテーション患者データベース（DB）の開発
H19-29	田口 明彦	国立循環器病センター	心原性脳塞栓症患者に対する細胞治療の臨床試験とその発展
H19-30	小川 彰	岩手医科大学	介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H19-31	阪本 桂造	昭和大学病院	開眼片足起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立15秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究
H19-32	佐藤 正人	東海大学	変形性関節症の病態把握と治療効果判定を可能にする定量的機能診断システムの開発
H19-33	鈴木 裕	NPO法人PEGドクターズネットワーク	胃腸カテーテル交換における胃内留置の確認に関する研究
H19-34	廣岡 良隆	国立大学法人九州大学病院	高血圧における老化促進因子としての脳内活性酸素をターゲットとした診断・治療法の開発
H19-35	長瀬 隆英	東京大学	高齢者呼吸器疾患の発症・制御に関与する遺伝子・蛋白質系の解明と治療応用
H19-36	斎藤 正寛	大阪大学	歯周組織再生を基盤とした咀嚼機能改善技術の開発
H19-37	金高 弘恭	東北大学	低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究
H19-38	小坂 健	東北大学	小規模な高齢者介護施設等における感染管理に関する研究
H19-39	高山 忠雄	鹿児島国際大学	効果的な介護予防型訪問・通所リハビリテーションの実態把握からみた自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究
H19-40	廣瀬 秀行	国立身体障害者リハビリテーションセンター	高齢者車いす選択ガイドラインの開発
H19-41	井上 由起子	国立保健医療科学院	特別養護老人ホームにおけるサテライト居住と本体改修に関する研究
H19-42	鈴木 晃	国立保健医療科学院	「理由書」標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究
H19-43	伊藤 和之	国立身体障害者リハビリテーションセンター	文字利用が困難な高齢中途視覚障害者のための理療教育課程における学習支援システムの構築に関する研究
H19-44	遠藤 英俊	国立長寿医療センター	多様な世代及び心身の状態に着目した要介護状態の評価指標の開発に関する研究
H19-45	田高 悦子	公立大学法人横浜市立大学	認知機能に着目した新たな介護予防プログラムの開発に関する研究
H19-46	辻 一郎	東北大学	効果的な介護予防ケアマネジメント技法の開発に関する研究
H19-47	橋本 美芽	首都大学東京	高齢者の閉じこもりにおける住環境・家族など社会環境要因への介入方法の開発
H19-48	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学	介護保険制度における栄養ケア・マネジメント事業評価に関する研究
H19-49	高田 和子	(独) 国立健康・栄養研究所	大規模コホートの観察研究に基づく生活機能低下スクリーニング質問表の開発
H19-50	川越 雅弘	国立社会保障・人口問題研究所	介護予防の効果評価とその実効性を高めるための地域包括ケアシステムの在り方に関する実証研究
H19-51	大原 里子	東京医科歯科大学	口腔機能の向上の実施体制と評価に関する研究
H19-52	浦上 克哉	鳥取大学	軽度認知機能障害の簡易スクリーニング手法に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H19-53	朝田 隆	筑波大学	若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究
H19-54	服部 孝道	千葉大学	松戸市における認知症、寝たきり高齢者の実態調査と早期対応の研究
H19-55	服部 英幸	国立長寿医療センター	認知症に対する非薬物療法の有効性に関する研究
H19-56	丸山 和佳子	国立長寿医療センター	老化に伴う認知症に有効な神経保護薬の臨床応用とその評価法の確立
H19-57	伊藤 裕	慶應義塾大学	ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補償による新規認知症治療法の開発
H19-58	村山 繁雄	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所	軽度認知障害の、推定背景病理に基づく、最適認知症進展予防法の開発
H19-59	加藤 伸司	認知症介護研究・研修仙台センター	認知症における標準的なケアモデルの構築に関する研究
H19-60	鳥羽 研二	杏林大学	効率的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究
H19-61	田村 俊世	国立大学法人千葉大学	高齢者の転倒予防に関する研究
H19-62	原田 敦	国立長寿医療センター	大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和、生活機能及びQOLの維持・向上に関する研究
H19-63	安井 夏生	徳島大学	高齢者における廃用症候群（生活不活発病）の実態調査と生活機能向上のための運動療法の開発
H19-64	折茂 肇	健康科学大学	骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究
H19-65	萩野 浩	社団法人日本整形外科学会	全国調査に基づく高齢者骨折の発生及び治療実態に関する研究
H19-66	中村 利孝	産業医科大学	高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変性、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明
H19-67	戸山 芳昭	慶應義塾大学	高齢者の腰痛症に係る効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立
H19-68	里宇 明元	慶應義塾大学	大都市圏脳卒中診療連携体制の構築－ニーズと資源のマッチング用データベースを用いたリハビリテーション医療連携システムの開発と効果の実証－
H19-69	成富 博章	国立循環器病センター	脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究
H19-70	三浦 久幸	国立長寿医療センター	高齢者の終末期医療・ケアの地域連携モデルの構築と終末期ガイドライン作成
H19-71	長谷川 敏彦	日本医科大学	長寿科学の推進に係るグラウンドデザインに関する研究
H19-72	後藤 百万	名古屋大学	老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発
H19-73	石井 直明	東海大学	生体内酸化ストレスによる老年性疾患の発症機構の解明と予防
H19-74	能勢 博	信州大学	中高年健康増進のためのITによる地域連携型運動処方システムの構築

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H19-75	中村 博亮	大阪市立大学	骨粗鬆症性椎体骨折の治療成績不良をもたらす因子の解明と効果的かつ効率的な治療法の確立－多施設共同前向き研究－
H19-76	伊藤 健吾	国立長寿医療センター	MCIを対象とするアルツハイマー病の早期診断に関する多施設共同研究
H19-77	和泉 京子	大阪府立大学	要介護認定における要支援及び要介護1の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究
H19-78	下方 浩史	国立長寿医療センター	老化とその要因に関する長期縦断的疫学研究
H19-79	安藤 富士子	国立長寿医療センター	生活習慣・背景要因・遺伝要因による総合的骨粗鬆症リスク診断システムの開発
H19-80	安村 誠司	福島県立医科大学	地域支援事業における体力向上サービスのあり方に関する研究
H19-81	大川 弥生	国立長寿医療センター	生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究－「廃用症候群（生活不活発病）モデル」を中心に
H19-82	葛谷 雅文	名古屋大学	高齢者の終末期ケアに関する研究－各施設における標準的終末期ケアの確立に向けて－
H19-83	秋下 雅弘	東京大学	男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究
H19-84	山下 和彦	東京医療保健大学	虚弱高齢者の歩行維持の機能的評価システムの開発に関する研究
H19-85	内村 健治	国立長寿医療センター	細胞を血行性脳実質内動員する機序の解析およびそのアルツハイマー病治療への応用
H18-1	廣岡 良隆	国立大学法人九州大学病院循環器内科	高血圧における老化促進因子としての脳内活性酸素をターゲットとした診断・治療法の開発
H18-2	長瀬 隆英	東京大学医学部付属病院	高齢者呼吸器疾患の発症・制御に関する遺伝子・蛋白質系の解明と治療応用
H18-3	斎藤 正寛	大阪大学大学院歯学研究科	歯周組織再生を基盤とした咀嚼機能改善技術の開発
H18-4	金高 弘恭	東北大学大学院歯学研究科	低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究
H18-5	永野 みどり	千葉大学大学院看護学研究科	高齢者施設における褥瘡ケアガイドラインの作成
H18-6	小坂 健	東北大学大学院歯学研究科	小規模な高齢者介護施設等における感染管理に関する研究
H18-7	高山 忠雄	鹿児島国際大学大学院社会福祉学研究科	効果的な介護予防型訪問・通所リハビリテーションの実態把握からみた自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究
H18-8	廣瀬 秀行	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所	高齢者車いす選択ガイドラインの開発
H18-9	井上 由起子	国立保健医療科学院施設科学部	特別養護老人ホームにおけるサテライト居住と本体改修に関する研究
H18-10	鈴木 晃	国立保健医療科学院建築衛生部健康住宅室	「理由書」標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究
H18-11	伊藤 和之	国立身体障害者リハビリテーションセンター更正訓練所理療教育部	文字利用が困難な高齢中途視覚障害者のための理療教育課程における学習支援システムの構築に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H18-12	遠藤 英俊	国立長寿医療センター包括診療部	多様な世代及び心身の状態に着目した要介護状態の評価指標の開発に関する研究
H18-13	田高 悦子	東京大学大学院医学系研究科	認知機能に着目した新たな介護予防プログラムの開発に関する研究
H18-14	辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野	効果的な介護予防ケアマネジメント技法の開発に関する研究
H18-15	橋本 美芽	首都大学東京健康福祉学部	高齢者の閉じこもりにおける住環境・家族など社会環境要因への介入方法の開発
H18-16	山田 ゆかり	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護システムマネジメント分野	予防版MDS-HCによる介護予防マネジメントの一体的な実施に関する研究
H18-17	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科	介護保健制度における栄養ケア・マネジメント事業評価に関する研究
H18-18	高田 和子	(独)国立健康・栄養研究所健康増進プログラム	大規模コホートの観察研究に基づく生活機能低下スクリーニング質問表の開発
H18-19	川越 雅弘	国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部	介護予防の効果評価とその実効性を高めるための地域包括ケアシステムの在り方に関する実証研究
H18-20	大原 里子	東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部	口腔機能の向上の実施体制と評価に関する研究
H18-21	浦上 克哉	鳥取大学医学部生体制御学	軽度認知機能障害の簡易スクリーニング法および予防介入効果の評価法の開発に関する研究
H18-22	朝田 隆	筑波大学大学院人間総合科学研究科	若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究
H18-23	服部 孝道	千葉大学医学研究院神経内科	松戸市における認知症、寝たきり高齢者の実態調査と早期対応の研究
H18-24	服部 英幸	国立長寿医療センター機能回復診療部	認知症に対する非薬物療法の有効性に関する研究
H18-25	木村 展之	医薬基盤研究所・霊長類医科学研究センター	BDNFを用いた認知症遺伝子治療法開発に関する研究
H18-26	丸山 和佳子	国立長寿医療センター研究所老年病研究部	老化に伴う認知症に有効な神経保護薬の臨床応用とその評価法の確立
H18-27	伊藤 裕	慶応義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科	ヒトES細胞を用いたin vitro血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補償による新規認知症治療法の開発
H18-28	村山 繁雄	東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所	軽度認知障害の、推定背景病理に基づく、最適認知症進展予防法の開発
H18-29	武田 雅俊	大阪大学大学院医学系研究科情報統合医療講座(精神医学)	アルツハイマー病神経原線維変形包括的抑止法に関する研究
H18-30	加藤 伸司	認知症介護研究・研修仙台センター	認知症における標準的なケアモデルの構築に関する研究
H18-31	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学教室	効率的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究
H18-32	田村 俊世	国立大学法人千葉大学工学部メディアカルシステム工学科	高齢者の転倒予防に関する研究
H18-33	原田 敦	国立長寿医療センター病院機能回復診療部	大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和、生活機能及びQOLの維持・向上に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H18-34	安井 夏生	徳島大学大学院ヘルスバイサイエンス研究部 感覚運動系	高齢者における廃用症候群（生活不活発病）の実態調査と生活機能向上のための運動療法の開発
H18-35	折茂 肇	健康科学大学	骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築
H18-36	萩野 浩	社団法人日本整形外科学会骨粗鬆症委員会	全国調査に基づく高齢者骨折の発生及び治療実態に関する研究
H18-37	中村 利孝	産業医科大学医学部整形外科	高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変性、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明
H18-38	戸山 芳昭	慶応義塾大学医学部整形外科教室	高齢者の腰痛症に係る効果的な診断・治療・リハビリテーション等の確立
H18-39	里宇 明元	慶応義塾大学リハビリテーション医学教室	大都市圏脳卒中診療連携体制の構築－ニーズと資源のマッチング用データベースを用いたリハビリテーション医療連携システムの開発と効果の実証－
H18-40	成富 博章	国立循環器病センター内科脳血管部門	脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究
H18-41	三浦 久幸	国立長寿医療センター内科	高齢者の終末期医療・ケアの地域連携モデルの構築と終末期ガイドライン作成
H18-42	長谷川 敏彦	日本歯科大学医療管理学教室	長寿科学の推進に係るグラントデザインに関する研究
H18-43	後藤 博三	富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学	高齢者の脳血管障害の進展予防を目的とした漢方薬によるテララメード医療の開発
H18-44	阪本 桂造	昭和大学医学部整形外科教室	開眼片脚起立運動訓練による大腿骨頸部骨密度の改善と維持の証明並びに筋力・バランス能の改善による転倒・骨折予防への介入調査
H18-45	三木 哲郎	国立大学法人愛媛大学医学部	老年病の発症に関わる遺伝－環境ネットワークの解明
H18-46	城川 哲也	日本福祉大学情報社会科学部人間福祉情報学科	モノアミン系の加齢変化とうつ病の解明・予防に関する研究
H18-47	木下 彩栄	京都大学医学部保健学科	老年期認知症における認知症病態の基盤の解明
H18-48	後藤 百万	名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科学	老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発
H18-49	石井 直明	東海大学医学部	生体内酸化ストレスによる老年性疾患の発症機構の解明と予防
H18-50	遠藤 玉夫	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所老化ゲノム機能研究チーム	老化関連遺伝子klothoによるカルパイン活性制御機構の解明および関連疾患の予防と治療に関する研究
H18-51	太田 成男	日本医科大学大学院医学研究科	トランスジェニックマウスを用いたミトコンドリア酸化ストレスの抑制によるアルツハイマー病予防・治療法の開発
H18-52	水谷 信子	兵庫県立大学看護学部	医療機関外来部門における認知症看護相談・教育統合プログラムの開発
H18-53	山口 明	武蔵村山病院リハビリテーションセンター（国立精神神経センター武蔵病院併任）	高齢者の地域リハビリテーション体制の構築に関する研究
H18-54	上島 弘嗣	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門	NIPPON DATA90の15年目の追跡調査による健康寿命ADL、QOL低下に影響を与える要因の分析とNIPPON DATA80の19年追跡調査成績の分析
H18-55	井藤 英喜	東京都老人医療センター	高齢者糖尿病病に対する総合診療体制確立のための総合的研究－無作為化比較研究（J-EDIT）を中心に

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H18-56	筒井 孝子	国立保健医療科学院福祉サービス部	介護サービスと類型化された要介護状態像との相互関連に関する研究
H18-57	能勢 博	信州大学大学院医学研究科・スポーツ医学分野	中・高齢者健康増進のためのITによる地域連携型運動処方システムの構築
H18-58	中村 博亮	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科	骨粗鬆症性椎体骨折の治療成績不良をもたらし因子の解明と効果的かつ効率的な治療法の確立ー多施設共同前向き研究ー
H18-59	吉村 弘	金沢医科大学医学部（顎口腔機能病態学）	認知症・アルツハイマー病の予防および治療を目的とした中枢機能賦活口腔スプリントの開発
H18-60	広瀬 信義	慶応義塾大学医学部	健康長寿に関与する要因の研究ー超百寿者及び長寿sib調査
H18-61	田畑 泉	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進プログラム	高齢者の運動による健康増進に関する学術論文の系統的レビューとそれに基づく文献データベースの作成
H18-62	大西 五三男	東京大学医学部付属病院整形外科・脊椎外科	超音波を用いた骨粗鬆症における骨強度評価装置の開発
H18-63	田城 孝雄	順天堂大学医学部	地域包括ケアシステムの構築に関する研究
H18-64	伊藤 健吾	国立長寿医療センター研究所長寿脳科学研究所	MCIを対象とするアルツハイマー病の早期診断に関する多施設共同研究
H18-65	和泉 京子	大阪府立大学看護学部	要介護認定における要支援及び要介護1の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究
H18-66	小川 彰	岩手医科大学医学部	脳卒中危険因子・発症・要介護・医療費に関する大規模縦断研究
H18-67	中邨 智之	京都大学医学研究科先端領域融合医学研究機構	弾性線維因子DANCEを標的とした老化関連疾患の予防・治療法開発の研究
H18-68	福地 義之助	順天堂大学医学部呼吸器内科	慢性閉塞性肺疾患に対する漢方治療の有効性評価
H18-69	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所	スマートポーズに対するグレルインの臨床応用と基礎的研究
H18-70	荒井 由美子	国立長寿医療センター研究所長寿政策科学研究部	データベース利用による訪問看護サービス評価の開発
H18-71	杉岡 直人	北星学園大学社会福祉学部	小規模多機能サービス拠点の成立条件と多面的展開に関するビジネスモデルの構築とマニュアル作成
H18-72	祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科（神経内科）	老化に伴う神経変性疾患の長期縦断疫学研究；ALSについて
H18-73	下方 浩史	国立長寿医療センター研究所疫学研究部	老化とその要因に関する長期縦断的疫学研究
H18-74	都築 暢之	富山県高志リハビリテーション病院	地域における福祉製品の研究開発体制の整備に解する研究
H18-75	榊 史明	大阪市立大学大学院医学研究科	ウェアラブル重心動揺測定装置を用いた人工関節置換術後早期リハビリ法の考案
H18-76	越智 隆弘	日本整形外科学会	高齢者の運動機能低下評価法と回復運動療法開発研究
H18-77	濃沼 信夫	東北大学大学院医学系研究科	骨粗鬆症と骨折に対する予防対策の経済効果に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H18-78	内藤 佳津雄	日本大学文理学部	軽度認知症高齢者の介護予防及び症状緩和システム開発に関する研究
H18-79	安藤 富士子	国立長寿医療センター研究疫学研究所	生活習慣・背景要因・遺伝要因による総合的骨粗鬆症リスク診断システムの開発
H18-80	梶井 英治	自治医科大学地域医療学センター地域医療学部	高齢者の望ましい終末期ケア実現のための条件整備に関する研究－介護保健施設における終末期ケアの検討を中心に
H18-81	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	地域支援事業における体力向上サービスのあり方に関する研究
H18-82	柿木 保明	九州歯科大学	高齢者の口腔乾燥改善と食機能支援に関する研究
H18-83	大川 弥生	国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部	生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究－「廃用症候群（生活不活発病）モデル」を中心に
H18-84	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻（発育・加齢医学講座老年科学）	高齢者の終末期ケアに関する研究－各施設における標準的終末期ケアの確立に向けて－
H18-85	大類 孝	東北大学病院	脳内移行性アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害剤投与によるアルツハイマー病の新規治療法の確立
H18-86	秋下 雅弘	東京大学医学部附属病院老年病科	男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究
H18-87	山田 茂人	佐賀大学医学部精神医学講座	伊万里市黒川町における老化に関する長期縦断疫学研究
H18-88	磯部 健一	名古屋大学大学院医学研究科（分子細胞免疫）	生体の持つストレス応答機能を利用した老化制御、予防研究
H18-89	山田 好秋	新潟大学医学部	安全でおいしい新嚥下補助食を利用した家庭や介護施設における食事介助の在り方に関する研究
H18-90	岡村 菊夫	国立長寿医療センター手術・集中医療部	高齢者排尿障害に対する患者・介護者、看護師向きの排泄ケアガイドライン作成、一般内科医向きの評価基準・治療効果判定基準の確立、普及と高度先駆的治療法の開発
H18-91	高柳 涼一	国立大学法人九州大学大学院医学研究院	ゲノム情報に基づくホルモン補充療法合併症の発症予測システムの開発
H18-92	村嶋 幸代	東京大学大学院医学系研究科	24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究－夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化－
H18-93	杉原 素子	国際医療福祉大学保健学部	要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究
H18-94	井上 剛伸	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所、福祉機器開発部	自立と介助の両側面からアプローチしたベッドの開発
H18-95	岡村 宏	芝浦工業大学システム工学部機械制御システム学科	広域歩行支援装置の柔軟な操作性に関する研究
H18-96	萱場 広之	秋田大学医学部医学科総合医学講座	高齢者の排便機能障害評価法と尊厳の回復に関する研究
H18-97	池上 直己	慶応義塾大学医学部医療政策・管理学教室	入院医療と在宅ケアの連携のあり方に関する調査研究
H18-98	小山 秀夫	静岡県立大学大学院経営情報学研究科	介護老人保健施設及び介護療養型医療施設における経営実態及びマネジメント実施状況に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H18-99	新開 省二	(財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所 (社会参加とヘルスプロモーション研究チーム)	高齢者の社会参加・社会貢献の増進に向けた介入研究
H18-100	柳澤 信夫	独立行政法人労働者健康福祉機構東労災病院	認知症の総合的な予防・治療・介護の確立に関する研究
H18-101	山下 和彦	東京医療保健大学医療保健学部	虚弱高齢者の歩行維持の機能的評価システムの開発に関する研究
H17-1	渡邊 裕司	浜松医科大学臨床薬理学	高齢者における薬物代謝関連遺伝子情報を考慮した適正な薬物治療の基盤整備に関する研究
H17-2	白澤 卓二	財団法人東京都高齢者研究福祉振興財団東京都老人総合研究所	高齢者疾患病理における遺伝素因の解明
H17-3	勝又 義直	名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻社会生命科学講座法医・生命倫理学分野	高齢者の終末期ケアの医療と福祉の分担と連携に関する研究
H17-4	秋葉 保次	社団法人日本薬剤師会	エビデンスに基づく褥瘡治療薬の適正使用とその経済評価及び普及活動研究
H17-5	魚里 博	北里大学医療衛生学部視覚機能療法学専攻	自動焦点眼鏡による高齢者の老視矯正支援
H17-6	大淵 修一	財団法人東京都高齢者研究福祉振興財団東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室	介護予防筋力向上トレーニングの効果の検討
H17-7	辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野	介護予防サービスの新技術開発とシステム構築に関する研究
H17-8	里宇 明元	慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室	在宅要介護者に対するリハビリテーション医療介入ー要介護状態が改善可能なケースの効率的スクリーニングと効果的介入のため
H17-9	岸 玲子	北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野	要介護状態の予防ならびに介護の質を改善するための方策に関する研究
H17-10	安田 誠史	高知大学医学部公衆衛生学教室	介護予防を目的とする基本健康診査標準方式を策定するための疫学的研究
H17-11	中村 正和	大阪府立健康科学センター健康生活推進部	老人保健事業の推進のためのITを活用した地域健康づくりの推進方策と指導者教育法の確立に関する研究
H17-12	芳賀 博	東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科	高齢者の役割の創造による社会活動の推進及びQOLの向上に関する総合的研究
H17-13	多々良 紀夫	淑徳大学総合福祉学部	高齢者虐待早期発見及び早期介入システムに関する国際的研究
H17-14	山田 茂人	佐賀大学医学部精神医学講座	伊万里市黒川町における老化に関する長期縦断疫学研究
H17-15	本山 昇	国立長寿医療センター研究所老年病研究部	健康寿命延長に関する戦略的研究
H17-16	磯部 健一	名古屋大学大学院医学系研究科分子総合医学専攻微生物・免疫学講座	生体の持つストレス応答機能を利用した老化制御、予防研究
H17-17	山田 好秋	新潟大学医学系	安全でおいしい新熊下補助食を利用した家庭や介護施設における食事介助の在り方に関する研究
H17-18	岡村 菊夫	国立長寿医療センター手術・集中医療部	高齢者排阻障害に対する患者・介護者、看護師向きの排泄ケアガイドライン作成、一般内科医向きの評価基準・治療効果判定基準の確立、普及と高度先駆的治療法の開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H17-19	高柳 涼一	九州大学大学院医学研究科老年医学	ゲノム情報に基づくホルモン補充療法合併症の発症予測システムの開発
H17-20	高濱 和夫	熊本大学大学院医学薬学研究部	脳神経疾患に随伴する過活動膀胱の新規治療薬の開発に関する研究：既存薬品に新たに発見された作用を基にして
H17-21	村嶋 幸代	東京大学大学院医学系研究科医科学部地域看護学分野	24時間訪問介護・看護の効率的・効率的な実施方法の開発研究－夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化
H17-22	杉原 泰子	国際医療福祉大学保健学部	要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究
H17-23	井上 剛伸	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部福祉機器開発室	自立と介助の両側面からアプローチしたベッドの開発
H17-24	岡村 宏	芝浦工業大学機械制御システム学科	広域歩行支援装置の柔軟な操作性に関する研究
H17-25	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科	介護予防のための低栄養状態スクリーニング・システムに関する研究
H17-26	吉田 勝美	聖マリアンナ医科大学医学部	老人保健事業の推進及び評価に関する研究
H17-27	遠藤 英俊	国立長寿医療センター包括診療部	要介護状態の評価における精神、知的及び多様な身体障害の状況の適切な反映手法の開発に関する研究
H17-28	萱場 広之	秋田大学医学部医学科統合医学講座	高齢者の排便機能障害評価法と導便の回復に関する研究
H17-29	池上 直己	慶應義塾大学医学部	入院医療と在宅ケアの連携のあり方に関する調査研究
H17-30	小山 秀夫	国立保健医療科学院経営科学部	介護老人保健施設及び介護療養型医療施設における経営実態及びマネジメント実施状況に関する研究
H17-31	新開 省二	東京都老人総合研究所	高齢者の社会参加・社会貢献の増進に向けた介入研究
H17-32	萩野 浩	社団法人日本整形外科学会骨粗鬆症委員会	老人骨折の発生・治療・予後に関する全国調査
H17-33	原 英夫	国立長寿医療センター研究所血管性痴呆研究部	アルツハイマー病に対する経口ワクチン療法に関する研究
H17-34	西岡 清	横浜市立みなと赤十字病院	国立大学病院医療に及ぼすDPC導入の影響－主要老年病の医療・治療の標準化・充実に目指して－
H17-35	久木山 清貴	山梨大学大学院医学工学総合研究部	高レムナントリポ蛋白質血症に合併する虚血性心疾患および脳梗塞の予防・治療法確立のための大規模臨床研究
H17-36	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学教室	老年症候群に關与する脳皮質下虚血病変の危険因子解明に関する縦断研究
H17-37	荻尾 七臣	自治医科大学循環器内科	家庭血圧を用いた高齢者高血圧の早期血圧とその変動性の評価と管理法の確立
H17-38	清野 裕	関西電力病院	合併症発症進展を見据えた糖尿病食事療法の開発推進に関する研究
H17-39	西谷 信之	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所感覚機能系障害研究部	高齢者の脳機能障害解明とリハビリテーションに関する研究
H17-40	高山 忠雄	鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科	訪問・通所リハビリテーションの地域特性別実態把握からみた在宅自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H17-41	新野 直明	桜美林大学大学院	高齢者における効果的な転倒予防活動事業の推進に関する研究
H17-42	池田 学	愛媛大学医学部	痴呆高齢者の自動車運転と権利擁護に関する研究
H17-43	丸山 和佳子	国立長寿医療センター老年病研究部	霊長類を用いたアルツハイマー病に対する経口治療薬の開発とその臨床応用の試み
H17-44	植木 彰	自治医科大学附属大宮医療センター神経内科	痴呆の予防・治療と食事栄養
H17-45	朝田 隆	筑波大学大学院病態制御医学専攻	痴呆性疾患の介入予防に関する研究
H17-46	田口 明彦	国立循環器病センター研究所周辺運動機能脳循環研究室	再生医療的手法による、脳血管性痴呆および虚血性脳血管障害に対する早期診断および予防法の確立に関する研究
H17-47	武田 雅俊	大阪大学大学院医学系研究科精神医学講座	痴呆のスクリーニング及び早期診断法の確立に関する臨床研究
H17-48	長田 乾	秋田県立脳血管研究センター神経内科学研究部	ICD-10分類に準拠した脳血管性痴呆の診断手順に関する研究
H17-49	足立 啓	和歌山大学システム工学部	従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と効果の多面的評価
H17-50	遠藤 英俊	国立長寿医療センター包括診療部	痴呆性高齢者におけるケアサービスの質的評価に関する研究
H17-51	石神 昭人	東京都老人総合研究所老化ゲノムバイオマーカー研究チーム	アルツハイマー病の早期診断、治療戦略の開発
H17-52	鷲見 幸彦	国立長寿医療センター外来診療部	痴呆疾患の医療と福祉の役割分担と連携に関する地域モデル構築と検証
H17-53	新飯田 俊平	国立長寿医療センター研究所運動器疾患研究部	骨及び関節疾患の診断・治療薬の開発に関する研究
H17-54	伊東 昌子	長崎大学医学部・歯学部附属病院	骨折リスク予測のための次世代型骨強度評価システムの開発
H17-55	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学教室	寝たきりの主要因に対する縦断介入研究を基礎にした介護予防ガイドライン策定研究
H17-56	高岡 邦夫	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科	骨粗鬆症に伴う大腿骨頸部骨折の効果的かつ効率的予防に関する臨床的研究
H17-57	松下 隆	帝京大学医学部整形外科	高齢者の大腿骨頸部骨折後のADLの維持に関する因子の解明と術後生活の自立を維持する治療法の確立
H17-58	原田 敦	国立長寿医療センター機能回復診療部	ヒッププロテクターによる介護施設の大腿骨頸部骨折予防研究－製品差の検討－
H17-59	永富 良一	東北大学大学院医学系研究科	転倒骨折予防運動訓練の効果改善プログラムの研究
H17-60	大川 弥生	国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部	病棟・居室棟でのリハビリテーションと在宅自立支援に関する研究－WHO・ICFモデルに立った個別性重視の医療と介護の連携
H17-61	高橋 泰	国際医療福祉大学医療福祉学部	軽度機能低下者の介護予防プログラム作成と評価に関する研究
H17-62	宮井 一郎	特定医療法人大道会バース記念病院	脳卒中患者の機能回復促進に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H17-63	中村 利孝	産業医科学部整形外科	高齢者の脊柱変形と軀幹短縮による生活機能低下の実態の解明と予防法の開発
H17-64	高田 和子	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進研究部	虚弱高齢者の自立度と身体活動及び栄養の関係に関する実践研究
H17-65	峰松 一夫	国立循環器病センター病院リハビリテーション部	わが国におけるStroke unitの有効性に関する多施設共同前向き研究
H17-66	戸山 芳昭	慶應義塾大学医学部整形外科教室	高齢者の腰痛症に係るより効果的かつ効率的な診断、治療、介護及びリハビリテーション等の確立に関する研究
H17-67	後藤 博三	富山医科薬科大学和漢薬研究所漢方診断学	高齢者の脳血管障害の進展予防を目的とした漢方薬によるテララメード医療の開発
H17-68	阪本 桂造	昭和大学医学部整形外科教室	関節片関節立運動訓練による大腿骨頸部骨密度の改善と維持の証明並びに筋力・バランス能の改善による転倒・骨折予防への介入調査
H17-69	三木 哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座	老年病の発症に関わる遺伝-環境ネットワークの解明
H17-70	城川 哲也	日本福祉大学情報社会科学部人間福祉情報学科	モノアミン系の加齢変化とうつ病の解明・予防に関する研究
H17-71	木下 彩栄	京都大学医学研究科先端領域融合医学研究機構	老年期痴呆症における痴呆病態の基盤の解明
H17-72	後藤 百万	名古屋大学医学部付属病院	老人施設・在宅における高齢者排せりハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発
H17-73	石井 直明	東海大学医学部	生体内酸化ストレスによる老年性疾患の発症機構の解明と予防
H17-74	遠藤 玉夫	財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団東京都老人総合研究所老化ゲノム機能研究チーム	老化関連遺伝子klothoによるカルパイン活性化抑制機構の解明および関連疾患の予防と治療に関する研究
H17-75	太田 成男	日本医科大学大学院医学研究科加齢科学系専攻細胞生物学分野	トランスジェニックマウスを用いたミトコンドリア酸化ストレスの抑制によるアルツハイマー病予防・治療法の開発
H17-76	水谷 信子	兵庫県立大学看護学部	医療機関外来部門における認知症看護相談・教育統合プログラムの開発
H17-77	山口 明	武蔵村山病院リハビリテーションセンター	高齢者の地域リハビリテーション体制の構築に関する研究
H17-78	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学講座	NIPPON DATA90の15年目の追跡調査による健康寿命およびADL, QOL低下に影響を与える要因の分析とNIPPON DATA80の19年追跡調査成績の分析
H17-79	井藤 英喜	財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター	高齢者糖尿病に対する総合診療体制確立のための総合的研究-無作為化比較研究 (J-EDIT) を中心に
H17-80	筒井 孝子	国立保健医療科学院福祉サービス部福祉マネジメント室	介護サービスと類型化された要介護状態像との相互関連に関する研究
H17-81	能勢 博	信州大学大学院医学研究科スポーツ医科学分野	中高齢健康増進のためのITによる地域連携型運動処方システムの構築
H17-82	中村 博亮	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科科学	骨粗鬆症性椎体骨折の治療成績不良をもたらし因子の解明と効果的かつ効率的な治療法の確立-多施設共同前向き研究-
H17-83	吉村 弘	金沢医科大学医学部顎口腔機能病態学	老人性痴呆症・アルツハイマー病の予防および治療を目的とした中枢機能賦活口腔スプリントの開発
H17-84	広瀬 信義	慶應義塾大学医学部	健康長寿に関する要因の研究-超百寿者及び長寿sib調査

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H17-85	田畑 泉	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進研究部	高齢者の運動による健康増進に関する学術論文の系統的レビューとそれに基づく文献データベースの作成
H17-86	大西 五三男	東京大学医学部附属病院整形外科・脊椎外科	超音波を用いた骨粗鬆症における骨強度評価装置の開発
H17-87	田城 孝雄	順天堂大学医学部公衆衛生学講座	地域包括ケアシステムの構築に関する研究
H17-88	伊藤 健吾	国立長寿医療センター研究所長寿脳科学研究部	MCIを対象とするアルツハイマー病の早期診断に関する多施設共同研究
H17-89	和泉 京子	大阪府立大学看護学部	要介護認定における要支援及び要介護1の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究
H17-90	小川 彰	岩手医科大学医学部	脳卒中危険因子・発症・要介護・医療費に関する大規模縦断研究
H17-91	中邨 智之	京都大学大学院医学研究科先端領域融合医学研究機構	弾性線維形成因子DANCEを標的とした老化関連疾患の予防・治療法開発の研究
H17-92	福地 義之助	順天堂大学医学部呼吸器内科学	慢性閉塞性肺疾患に対する漢方治療の有用性評価
H17-93	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所	ソマトポーズに対するグレリンの臨床応用と基盤的研究
H17-94	荒井 由美子	国立長寿医療センター研究所長寿政策科学研究部	データベース利用による訪問看護サービス評価の開発
H17-95	杉岡 直人	北星学園大学社会福祉学部	小規模多機能サービス拠点の成立条件と多面的展開に関するビジネスモデルの構築とマニュアル作成
H17-96	祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科	老化に伴う神経変性疾患の長期縦断疫学研究：ALSについて
H17-97	新井 恵美	筑波大学大学院人間総合科学研究科	高齢者の昼間睡眠の意義と効果測定法の開発
H17-98	下方 浩史	国立長寿医療センター研究所疫学研究部	老化とその要因に関する長期縦断的疫学研究
H17-99	都築 暢之	富山県高志リハビリテーション病院	地域における福祉製品の研究開発体制の整備に関する研究
H17-100	榊 史明	大阪市立大学大学院医学研究科	ウェアラブル重心動揺測定装置を用いた人工関節置換術後早期リハビリ法の考案
H17-101	越智 隆弘	日本整形外科学会	高齢者の運動機能低下評価法と回復運動療法開発研究
H17-102	濃沼 信夫	東北大学大学院医学系研究科	骨粗鬆症と骨折に対する予防対策の経済効果に関する研究
H17-103	内藤 佳津雄	日本大学文理学部	軽度認知症高齢者の介護予防及び症状緩和システムの開発に関する研究
H17-104	安藤 富士子	国立長寿医療センター研究所疫学研究部長期縦断疫学研究室	生活習慣・背景要因・遺伝要因による総合的骨粗鬆症リスク診断システムの開発
H17-105	田宮 菜奈子	筑波大学大学院人間総合科学科	高齢者の望ましい終末期ケア実現のための条件整備に関する研究－介護保険施設における終末期ケアの検討を中心に
H17-106	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	地域支援事業における体力向上サービスのあり方に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H17-107	柿木 保明	九州歯科大学生体機能制御学講座摂食機能リハビリテーション学分野	高齢者の口腔乾燥改善と食機能支援に関する研究
H17-108	大川 弥生	国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部	生活機能向上にむけた介護予防サービスのあり方及び技術に関する研究－「廃用症候群（生活不活発病）モデル」を中心に－
H17-109	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻発育・加齢医学講座老年科学	高齢者の終末期ケアに関する研究－各施設における標準的終末期ケアの確立に向けて－
H17-110	大類 孝	東北大学病院	脳内移行性アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害剤投与によるアルツハイマー病の新規治療法の確立
H17-111	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学	男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究
H17-112	戸山 芳昭	慶應義塾大学医学部整形外科教室	高齢者の腰痛症に係るより効果的かつ効率的な診断、治療、介護及びリハビリテーション等の確立に関する研究
H17-113	高岡 邦夫	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科	骨粗鬆症に伴う大腿骨頸部骨折の効果的かつ効率的予防に関する臨床的研究
H17-114	田口 明彦	国立循環器病センター－研究所循環動態機能脳循環研究室	再生医療的手法による、脳血管性痴呆および虚血性脳血管障害に対する早期診断および予防法の確立に関する研究
H17-115	松山 知弘	兵庫医科大学医学部	再生医療的手法による、脳血管性痴呆および虚血性脳血管障害に対する早期診断および予防法の確立に関する研究
H17-116	長田 乾	秋田県立脳血管研究センター－神経内科学研究部	ICD-10分類に準拠した脳血管性痴呆の診断手順に関する研究
H17-117	朝田 隆	筑波大学大学院人間総合科学研究科病体制御医学精神医学	痴呆性疾患の介入予防に関する研究
H17-118	武田 雅俊	大阪大学大学院医学研究科ポストゲノム疾患解析学講座ブロセシנג異常疾患分野	痴呆のスクリーニング及び早期診断法の確立に関する臨床研究
H17-119	中村 博亮	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科	骨粗鬆症性椎体骨折の治療成績不良をもたらし因子の解明と効果的かつ効率的な治療法の確立－多施設共同前向き研究－
H16-1	渡邊 裕司	浜松医科大学臨床薬理学	高齢者における薬物代謝関連遺伝子情報を考慮した適正な薬物治療の基盤整備に関する研究
H16-2	白澤 卓二	財団法人東京都高齢者研究 福祉振興財団 東京都老人総合研究所	高齢者疾患病理における遺伝素因の解明
H16-3	勝又 義直	名古屋大学大学院医学系研究科 健康社会医学専攻社会科学講座 法医・生命倫理学分野	高齢者の終末期ケアの医療と福祉の分担と連携に関する研究
H16-4	秋葉 保次	（社）日本薬剤師会	エビデンスに基づく褥瘡治療の適正使用とその経済評価及び普及活動研究
H16-5	魚里 博	北里大学医療衛生学部 視覚機能療法学専攻	自動焦点眼鏡による高齢者の老視矯正支援
H16-6	大淵 修一	財団法人東京都高齢者研究 福祉振興財団 東京都老人総合研究所 介護予防緊急対策室	介護予防筋力向上トレーニングの効果の検討
H16-7	辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科 社会医学講座公衆衛生学分野	介護予防サービスの新技術開発とシステム構築に関する研究
H16-8	里宇 明元	慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室	在宅要介護者に対するリハビリテーション医療介入－要介護状態が改善可能なケースの効率的スクリーニングと効果的介入のためのもデルシステム構築に関する研究－
H16-9	岸 玲子	北海道大学大学院 医学研究科予防医学講座 公衆衛生学分野	要介護状態の予防ならびに介護の質を改善するための方策に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H16-10	安田 誠史	高知大学医学部 公衆衛生学教室	介護予防を目的とする基本健康審査標準方式を策定するための疫学的研究
H16-11	中村 正和	大阪府立健康科学センター 健康生活推進部	老人保健事業の推進のためのITを活用した地域健康づくりの推進方策と指導者教育法の確立に関する研究
H16-12	芳賀 博	東北文化学園大学大学院 健康システム研究科	高齢者の役割の創造による社会活動の推進及びQOLの向上に関する総合的研究
H16-13	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部	高齢者虐待の早期発見及び早期介入システムに関する国際的研究
H16-14	山田 茂人	佐賀大学医学部 精神医学講座	伊万里市黒川町における老化に関する長期縦断疫学研究
H16-15	本山 昇	国立長寿医療センター・研究所 老年病研究部	健康寿命延長に関する戦略的研究
H16-16	磯部 健一	国立長寿医療センター・研究所 老化機構研究部	生体の持つストレス応答機能を利用した老化制御、予防研究
H16-17	山田 好秋	新潟大学大学院歯学総合研究科	安全でおいしい新嚥下補助食を利用した家庭や介護施設における食事介助の在り方に関する研究
H16-18	岡村 菊夫	国立長寿医療センター・病院 泌尿器科	高齢者排尿障害に対する患者・介護者、看護師向きの排泄ケアガイドライン作成、一般内科医向きの評価基準・治療効果判定基準の確立、普及と高度先駆的治療法の開発
H16-19	高柳 涼一	九州大学大学院医学研究院 老年医学	ゲノム情報に基づくホルモン補充療法合併症の発症予測システムの開発
H16-20	高濱 和夫	熊本大学大学院 医学薬学研究部	脳神経疾患に随伴する過活動膀胱の新規治療薬の開発に関する研究：既存薬品に新たに発見された作用を基にして
H16-21	村嶋 幸代	東京大学大学院医学系研究科医学科医学部地域看護学分野	24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究－夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化
H16-22	杉原 泰子	国際医療福祉大学 保健学部	要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究
H16-23	井上 剛伸	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 福祉機器開発室	自立と介助の両側面からアプローチしたベッドの開発
H16-24	岡村 宏	芝浦工業大学 機械制御システム学科	広域歩行支援装置の柔軟な操作性に関する研究
H16-25	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科	介護予防のための低栄養状態スクリーニング・システムに関する研究
H16-26	吉田 勝美	聖マリアンナ医科大学医学部	老人保健事業の推進及び評価に関する研究
H16-27	遠藤 英俊	国立長寿医療センター・病院 包括診療部	要介護状態の評価における精神、知的及び多様な身体障害の状況適切な反映手法の開発に関する研究
H16-28	萱場 広之	秋田大学医学部医学科 統合医学講座	高齢者の排泄機能障害評価法と導線の回復に関する研究
H16-29	池上 直己	慶應義塾大学医学部	入院医療と在宅ケアの連携のあり方に関する調査研究
H16-30	小山 秀夫	国立保健医療科学院 経営科学部	介護老人保健施設及び介護療養型医療施設における経営実態及びマネジメント実施状況に関する研究
H16-31	新開 省二	東京都老人総合研究所（地域保健研究グループ）	高齢者の社会参加・社会貢献の増進に向けた介入事業の展開とその評価

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H16-32	石井 拓男	東京歯科大学社会歯科学研究室	高齢者の口腔保健の維持増進に関する研究
H16-33	野首 孝嗣	大阪大学大学院歯学研究科	高齢者の口腔乾燥症と咀嚼機能および栄養摂取との関係
H16-34	植田 真一郎	琉球大学医学部医学科	高齢者高血圧における降圧利尿薬の適性使用のための無作為化臨床試験
H16-35	三木 哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座	老化、及び老年病関連遺伝子同定を旨とした遺伝疫学研究
H16-36	乾 賢一	京都大学医学部附属病院薬剤部	腎薬物トランスポーターの遺伝子機能解析を基盤とした高齢者の医薬品適正使用推進に関する研究
H16-37	水島 徹	熊本大学大学院医学薬学研究部薬学微生物学専攻	蛋白質のフォールディング異常に着目した、分子シャペロンによる神経変性疾患の根本的治療法の開発
H16-38	大類 孝	東北大学医学部附属病院老年・呼吸器内科	老人性肺炎予防の新戦略－Evidence Based Medicine確立のための大規模研究
H16-39	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所生化学部	高齢者のソフトラボーズとエネルギー代謝に及ぼす新規ホルモングレリンの役割と臨床応用
H16-40	安藤 富士子	国立長寿医療センター・研究所 疫学研究部	運動・栄養による骨量減少予防効果に関する縦断的疫学研究－骨粗鬆症予防への遺伝子多型別のストラテジー
H16-41	井上 聡	東京大学医学部附属病院老年病科	ステロイドシグナル経路を分子標的とした新しい老年病の予防・治療法の開発
H16-42	井藤 英喜	東京都多摩老人医療センター	高齢者糖尿病治療と健康寿命に関するランダム化比較研究
H16-43	祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科	D o r f i nによる老年期神経変性疾患の治療法の開発
H16-44	川越 博美	聖路加看護大学 看護実践開発研究センター	高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究
H16-45	中村 耕三	東京大学医学部附属病院整形外科	高齢化社会に適応する人工関節の開発－M P Cポリマーによる長寿命人工関節に関する戦略的研究－
H16-46	筒井 孝子	国立保健医療科学院福祉サービス部	介護報酬改定が地域における介護サービスへの質に与える影響に関する統計的研究
H16-47	荒井 由美子	国立長寿医療センター・研究所 看護介護心理研究室	「在宅介護の質」：評価尺度の開発および介護負担との関連について
H16-48	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	介護予防事業の有効性の評価とガイドラインの作成
H16-49	鈴木 晃	国立保健医療科学院建築衛生部	ケアマネジャー向け住宅改修の研修プログラムの開発
H16-50	法化図 陽一	大分県立病院神経内科	気管内痰の自動吸引器の実用化研究
H16-51	川瀬 哲明	東北大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	音声聴取改善を目的とした新しい両耳補聴方式の開発
H16-52	萩野 浩	(社)日本整形外科学会骨粗鬆症委員会	老人骨折の発生・治療・予後に関する全国調査
H16-53	原 英夫	国立長寿医療センター・研究所 医療研究センター	アルツハイマー病に対する経口ワクチン療法の開発に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H16-54	西岡 清	横浜赤十字病院	国立大学病院医療に及ぼすDPC導入の影響ー主要老年病の医療・治療の標準化・充実を目指してー
H16-55	久木山 清貴	山梨大学医学部内科学講座	高レムナントリポ蛋白血症に合併する虚血性心疾患および脳梗塞の予防・治療法確立のための大規模臨床研究
H16-56	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学教室	老年症候群に関与する脳波質下虚血病変の危険因子解明に関する縦断研究
H16-57	菊尾 七臣	自治医科大学医学部ゲノム機能研究部	家庭血圧を用いた高齢者高血圧の早期血圧とその変動制の評価と管理法の確立
H16-58	清野 裕	京都大学医学研究科糖尿病・栄養内科学	合併症発症進展を見据えた糖尿病食事療法の開発推進に関する研究
H16-59	西谷 信之	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所感覚機能系障害研究部	高齢者の脳機能障害解明とリハビリテーションに関する研究
H16-60	高山 忠雄	東北文化学園大学医療福祉学部	訪問・通所リハビリテーションの地域特性別実態把握からみた在宅自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究
H16-61	新野 直明	桜美林大学	高齢者における効果的な転倒予防活動事業の推進に関する研究
H16-62	池田 学	愛媛大学医学部	痴呆高齢者の自動車運転と権利擁護に関する研究
H16-63	長瀬 隆英	東京大学医学部	高齢者炎症性・難治性肺疾患における病態分子機序の解明および新治療法開発の戦略的展開
H16-64	村山 繁雄	東京都老人総合研究所老化臨床神経科学研究グループ	軽度認知障害の前方視的・後方視的研究
H16-65	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学教室	健康寿命およびADL、QOL低下に影響を与える要因の分析と健康寿命危険度評価ツール作成に関する研究；NIPPON DATA80・90の19年、10年の追跡調査より
H16-66	下方 浩史	国立長寿医療センター・研究所 疫学研究部	老化因子と加齢に伴う身体機能変化に関する長期縦断的疫学研究
H16-67	水澤 英洋	東京医科歯科大学（大学院脳神経機能病態学）	αトコフェロール転送蛋白遺伝子変異による酸化ストレス病態の解明
H16-68	吉田 英世	東京都老人総合研究所	寝たきり予防を目的とした老年症候群発症予防の検診（「お達者検診」）の実施と評価に関する研究
H16-69	遠藤 玉夫	東京都老人総合研究所糖蛋白質研究グループ	老化に伴うカルパイン活性制御不全の機構解明
H16-70	荒井 啓行	東北大学 大学院 医学系研究科 先進漢方治療医学講座	脳アミロイド画像法によるアルツハイマー病の早期診断と予防医学
H16-71	道川 誠	国立長寿医療センター・研究所 痴呆疾患研究部	アルツハイマー病発症の分子機構におけるコレステロールの役割の検討
H16-72	折茂 肇	健康科学大学	骨粗鬆症におけるテララマーメード医療の確立に関する研究
H16-73	北 徹	京都大学大学院医学研究科循環病態学	心筋梗塞、脳梗塞の予知因子の同定と予知法の開発
H16-74	河野 正司	新潟大学歯学部総合研究科顎顔面再建学講座	情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発に関する研究
H16-75	山谷 睦雄	東北大学医学部附属病院	肺癌および慢性肺気腫原因遺伝子の研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H16-76	深田 伸二	国立長寿医療センター・病院 外科	高齢者手術の安全性の向上及び術後合併症の予防に関する研究
H16-77	千原 和夫	神戸大学大学院医学系研究科	老年病に対する成長ホルモン補充療法の有効性に関する研究
H16-78	伊藤 裕	京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学	ヒト胚性幹細胞（ES細胞）を用いた「寝たきり」高齢者に対する再生医療の開発
H16-79	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻	高齢者の施設・在宅における終末像の実証的検証および終末期ケアにおける高齢患者の自己決定のための情報開示のあり方に関する研究
H16-80	才藤 栄一	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学講座	摂食・嚥下障害患者の「食べる」機能に関する評価と対応
H16-81	赤川 安正	広島大学大学院医歯薬科学総合研究科	舌機能評価を応用した摂食嚥下リハビリテーションの確立
H16-82	高橋 龍太郎	東京都老人総合研究所介護・生活基盤研究グループ	脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究
H16-83	西脇 友子	新潟大学医学部保健学科看護学専攻	寒冷・豪雪地域におけるデイサービスの効果に関する研究
H16-84	植村 和正	名古屋大学病態内科学 免疫応答内科学	要介護状態に応じた介護サービスに関する実証研究－立案された介護サービス計画の質の評価に関する研究
H16-85	大川 弥生	国立長寿医療センター・研究所 老人ケア研究部	在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションのプログラムとシステムに関する研究
H16-86	三野 善央	大阪府立大学社会福祉学部	老人精神疾患患者の経過に及ぼす家族の感情表出の影響
H16-87	遠山 茂樹	東京農工大学工学部機械システム工学科	超強力サンドタッチ型超音波モータを用いたパワーアシストスーツの実用化
H16-88	長田 久雄	桜美林大学大学院国際学研究所老年学専攻	高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究
H16-89	水村 和枝	名古屋大学環境医学研究所	高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手的治疗法の除痛効果に関する基礎的および臨床的研究
H16-90	北島 政樹	慶應義塾大学医学部外科学教室	漢方薬（十全大補湯）による術後感染症予防
H15-1	石井 拓男	東京歯科大学社会歯科学研究室	高齢者の口腔保健の維持増進に関する研究
H15-2	野首 孝嗣	大阪大学大学院歯学研究科	高齢者の口腔乾燥症と咀嚼機能および栄養摂取との関係
H15-3	植田 真一郎	琉球大学医学部医学科	高齢者高血圧における降圧利尿薬の適性使用のための無作為化臨床試験
H15-4	萩野 浩	（社）日本整形外科学会骨粗鬆症委員会	老人骨折の発生・治療・予後に関する全国調査
H15-5	三木 哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座	老化、及び老年病関連遺伝子同定を旨とした遺伝疫学研究
H15-6	乾 賢一	京都大学医学部附属病院薬剤部	腎薬物トランスポートの遺伝子機能解析を基盤とした高齢者の医薬品適正使用推進に関する研究
H15-7	水島 徹	岡山大学薬学部	蛋白質のフォールディング異常に着目した、分子シャペロンによる神経変性疾患の根本的治療法の開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H15-8	大類 孝	東北大学医学部附属病院老年・呼吸器内科	老人性肺炎予防の新戦略－Evidence Based Medicine 確立のための大規模研究
H15-9	原 英夫	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	アルツハイマー病に対する経口ワクチン療法の開発に関する研究
H15-10	寒川 賢治	国立循環器病センター 研究所生化学部	高齢者のソフトボーズとエネルギー代謝に及ぼす新規ホルモングレリンの役割と臨床応用
H15-11	西岡 清	東京医科歯科大学医学部附属病院	国立大学病院医療に及ぼすDPC導入の影響－主要老年病の医療・治療の標準化・充実を目指して－
H15-12	久木山 清貴	山梨大学医学部内科学講座	高レムナントリボ蛋白血症に合併する虚血性心疾患および脳梗塞の予防・治療法確立のための大規模臨床研究
H15-13	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学教室	老年症候群に關与する脳波質下虚血病変の危険因子解明に関する縦断研究
H15-14	安藤 富士子	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	運動・栄養による骨量減少予防効果に関する縦断的疫学研究－骨粗鬆症予防への遺伝子多型別のストラテジー
H15-15	井上 聡	東京大学医学部附属病院老年病科	ステロイドシグナル経路を分子標的とした新しい老年病の予防・治療法の開発
H15-16	井藤 英喜	東京都多摩老人医療センター	高齢者糖尿病治療と健康寿命に関するランダム化比較研究
H15-17	菊尾 七臣	自治医科大学医学部ゲノム機能研究部	家庭血圧を用いた高齢者高血圧の早期血圧とその変動制の評価と管理法の確立
H15-18	祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科	D o r f i n による老年期神経変性疾患の治療法の開発
H15-19	村嶋 幸代	東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野	高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究
H15-20	中村 耕三	東京大学医学部附属病院整形外科	高齢化社会に適応する人工関節の開発－MPCポリマーによる長寿命人工関節に関する戦略的研究－
H15-21	清野 裕	京都大学医学部研究科糖尿病・栄養内科学	合併症発症進展を見据えた糖尿病食事療法の開発推進に関する研究
H15-22	西谷 信之	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所感覚機能系障害研究部	高齢者の脳機能障害解明とリハビリテーションに関する研究
H15-23	高山 忠雄	東北文化学園大学医療福祉学部	訪問・通所リハビリテーションの地域特性別実態把握からみた在宅自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究
H15-24	筒井 孝子	国立保健医療科学院福祉サービス部	介護報酬改定が地域における介護サービスの質に与える影響に関する統計的研究
H15-25	荒井 由美子	国立療養所中部病院長寿医療研究センター看護介護心理研究室	「在宅介護の質」：評価尺度の開発および介護負担との関連について
H15-26	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	介護予防事業の有効性の評価とガイドラインの作成
H15-27	鈴木 晃	国立保健医療科学院建築衛生部	ケアマネジャー向け住宅改修の研修プログラムの開発
H15-28	法化図 陽一	大分県立病院神経内科	気管内膜の自動吸引器の実用化研究
H15-29	川瀬 哲明	東北大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	音声聴取改善を目的とした新しい両耳補聴方式の開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H15-30	新野 直明	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	高齢者における効果的な転倒予防活動事業の推進に関する研究
H15-31	本間 昭	(財)東京都老人総合研究所痴呆介入研究グループ	アルツハイマー型痴呆診断・治療・ケアガイドラインを用いた老人保健及び福祉に従事する人材の育成・研修に関する研究
H15-32	池田 学	愛媛大学医学部	痴呆高齢者の自動車運転と権利擁護に関する研究
H15-33	長瀬 隆英	東京大学医学部	高齢者炎症性・難治性肺炎患における病態分子機序の解明および新治療法開発の戦略的展開
H15-34	村山 繁雄	東京都老人総合研究所老化臨床神経科学研究グループ	軽度認知障害の前方視的・後方視的研究
H15-35	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学教室	健康寿命およびADL、QOL低下に影響を与える要因の分析と健康寿命危険度評価ツール作成に関する研究：NIPPON DATA80・90の19年、10年の追跡調査より
H15-36	下方 浩史	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	老化因子と加齢に伴う身体機能変化に関する長期縦断的疫学研究
H15-37	水澤 英洋	東京医科歯科大学（大学院脳神経機能病態学）	α トロポローカル転送蛋白遺伝子変異による酸化ストレス病態の解明
H15-38	吉田 英世	(財)東京都老人総合研究所	寝たきり予防を目的とした老年症候群発生予防の検診（「お達者検診」）の実施と評価に関する研究
H15-39	嶋野 洋子	国立保健医療科学院公衆衛生看護部	要介護状態予防が必要な対象把握に対する研究
H15-40	遠藤 玉夫	(財)東京都老人総合研究所糖蛋白質研究グループ	老化に伴うカルパイン活性制御不全の機構解明
H15-41	荒井 啓行	東北大学医学部附属病院	脳アミロイド画像法によるアルツハイマー病の早期診断と予防医学
H15-42	道川 誠	国立療養所中部病院長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	アルツハイマー病発症の分子機構におけるコレステロールの役割の検討
H15-43	折茂 肇	健康科学大学（平成15年度より）	骨粗鬆症におけるテララマーメード医療の確立に関する研究
H15-44	北 徹	京都大学大学院医学研究科循環病態学	心筋梗塞、脳梗塞の予知因子の同定と予知法の開発
H15-45	河野 正司	新潟大学医学部総合研究科顎顔面再建学講座	情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発に関する研究
H15-46	山谷 睦雄	東北大学医学部附属病院	肺癌および慢性肺炎腸原因遺伝子の研究
H15-47	深田 伸二	国立療養所中部病院外科	高齢者手術の安全性の向上及び術後合併症の予防に関する研究
H15-48	千原 和夫	神戸大学大学院医学系研究科	老年病に対する成長ホルモン補充療法の有効性に関する研究
H15-49	伊藤 裕	京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学	ヒト胚性幹細胞（ES細胞）を用いた「寝たきり」高齢者に対する再生医療の開発
H15-50	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻	高齢者の施設・在宅における終末像の実証的検証および終末期ケアにおける高齢患者の自己決定のための情報開示のあり方に関する研究
H15-51	才藤 栄一	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学講座	摂食・嚥下障害患者の「食べる」機能に関する評価と対応

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H15-52	赤川 安正	広島大学大学院医歯薬科学総合研究所	舌機能評価を応用した摂食嚥下リハビリテーションの確立
H15-53	高橋 龍太郎	(財)東京都老人総合研究所介護・生活基盤研究グループ	脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究
H15-54	西脇 友子	新潟大学医学部保健学科看護学専攻	寒冷・豪雪地域におけるデイサービスの効果に関する研究
H15-55	遠藤 英俊	国立療養所中部病院内科	要介護状態に応じた介護サービスに関する実証研究－立案された介護サービス計画の質の評価に関する研究
H15-56	大川 弥生	国立療養所中部病院長寿医療研究センター 老人ケア研究部	在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションのプログラムとシステムに関する研究
H15-57	三野 善央	大阪府立大学社会福祉学部	老人精神疾患患者の経過に及ぼす家族の感情表出の影響
H15-58	遠山 茂樹	東京農工大学工学部機械システム工学科	超強力サンディッチ型超音波モータを用いたパワーアシストスーツの実用化
H15-59	井上 由起子	国立保健医療科学院施設科学部	居住福祉型特別養護老人ホームにおけるケアと空間のあり方に関する研究
H15-60	長田 久雄	桜美林大学大学院国際学研究所老年学専攻	高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究
H15-61	水村 和枝	名古屋大学環境医学研究所	高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手治療法の除痛効果に関する基礎的および臨床的研究
H15-62	北島 政樹	慶應義塾大学医学部外科学教室	漢方薬（十全大補湯）による術後感染症予防
H15-63	白澤 卓二	(財)東京都老人総合研究所・分子老化研究グループ	寿命制御遺伝子に関する分子遺伝学的研究
H15-64	松田 道行	大阪大学微生物病研究所	Ras依存性の細胞老化機構の解明
H15-65	丸山 直記	(財)東京都老人総合研究所・加齢臓器障害研究グループ	加齢に伴う多臓器障害発症機序と予防に関する基礎的研究
H15-66	榎本 武美	東北大学大学院薬学研究科	WHIPを中心としたWerner症候群の早期老化の分子機構の研究
H15-67	中山 俊憲	千葉大学大学院医学研究院	免疫系の老化をターゲットにした細胞療法に関する研究
H15-68	小川 紀雄	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	大脳基底核部ドパミン神経系の維持・再生に関する研究
H15-69	高田 和子	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進研究部	高齢者の自立度及びQOLの維持及び改善方法の開発に関する大規模研究
H15-70	内藤 桂津雄 (長嶋 紀一)	日本大学文理学部	痴呆予防と初期痴呆高齢者に対する日常生活支援の方法に関する研究
H15-71	佐藤 祐造	名古屋大学総合保健体育科学センター	高齢者の健康増進のための運動指導マニュアル作成に関する研究
H15-72	吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命科学研究科	霊長類を用いて作出した老人病モデルによる新規治療法の開発と評価-脳・感覚器疾患等を中心にして-

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H15-73	高濱 和夫	熊本大学薬学部	脳内グリン受容体を標的にした頻尿改善薬としての排尿反射強化薬の開発に関する研究
H15-74	丹生 健一	神戸大学大学院医学系研究科器官治療医学講座	老化に伴う嗅覚障害に対する治療法の開発に関する研究
H15-75	崎原 盛造	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科	沖縄における長寿とサクセスフル・エイジングに関する研究
H15-76	小阪 憲司	横浜市立大学医学部	剖検例に基づいた非アルツハイマー型変性痴呆の臨床的研究
H15-77	坂田 俣教	埼玉県立大学保健医療福祉学部	高齢者の寝たきりの原因の解明及び予防に関する研究
H15-78	武谷 雄二	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座	老年者に対するホルモン補充療法に関する総合的研究
H15-79	森本 茂人	金沢医科大学医学部老年病学	高齢者疾患の易発症性に対する遺伝的負荷の解明
H15-80	柿木 保明	国立療養所南福岡病院	高齢者の口腔乾燥症と唾液物性にに関する研究
H15-81	石川 冬木	京都大学大学院生命科学研究科	老化細胞で見られるストレス反応に基づいた細胞老化のテーラード的診断・治療技術の開発
H15-82	真田 弘美	金沢大学医学部	褥創ケアにおける看護技術の基盤化とその経済評価
H15-83	高橋 泰	国際医療福祉大学医療福祉学部	自立から死亡までのプロセスとコストの分析
H15-84	辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野	介護予防に特化した在宅訪問指導プログラムの有効性評価に関する介入研究
H15-85	池上 直己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室	介護者負担感、充実感に関する簡便な尺度の開発と介護サービス利用に関する調査研究
H15-86	小山 秀夫	国立保健医療科学院経営学部	高齢者保健・医療・福祉サービス提供機関におけるマネジメントに関する実態分析並びに理論構築に関する研究
H15-87	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部	高齢者虐待の発生予防及び援助方法に関する国際的研究
H15-88	柴田 博	桜美林大学大学院国際学研究所	高齢者における健康で働きがいのある就労継続の社会的基盤に関する研究
H15-89	福土 審	東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野	高齢者の機能性消化管障害に対する漢方薬の効果
H14-1	長瀬 隆英	東京大学医学部	高齢者炎症性・難治性肺疾患における病態分子機序の解明および新治療法開発の戦略的展開
H14-2	村山 繁雄	東京都老人総合研究所神経病理部門	軽度認知障害の前方視的・後方視的研究
H14-3	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学教室	健康寿命およびADL・QOL低下に影響を与える要因の分析と健康寿命危険度評価ケープル作成に関する研究：NIPPON DATA80・90の19年、10年の追跡調査より
H14-4	下方 浩史	国立長寿医療研究センター疫学研究部	老化因子と加齢に伴う身体機能変化に関する長期縦断的疫学研究
H14-5	水澤 英洋	東京医科歯科大学（大学院脳神経機能病態学）	α トロポローカル転送蛋白遺伝子変異による酸化ストレス病態の解明

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H14-6	鈴木 隆雄	(財) 東京都老人総合研究所	寝たきり予防を目的とした老年症候群発生予防の検診（「お達者検診」）の実施と評価に関する研究
H14-7	嶋野 洋子	国立公衆衛生院公衆衛生看護学部	要介護状態予防が必要な対象把握に対する研究
H14-8	遠藤 玉夫	東京都老人総合研究所糖鎖生物学部門	老化に伴うカルパイン活性制御不全の機構解明
H14-9	荒井 啓行	東北大学医学部附属病院	脳アミロイド画像法によるアルツハイマー病の早期診断と予防医学
H14-10	道川 誠	国立療養所中部病院長寿医療センター痴呆疾患研究部	アルツハイマー病発症の分子機構におけるコレステロールの役割の検討
H14-11	折茂 肇	東京都老人医療センター	骨粗鬆症におけるテララマーメド医療の確立に関する研究
H14-12	北 徹	京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座（加齢医学）	心筋梗塞、脳梗塞の予知因子の同定と予知法の開発
H14-13	河野 正司	新潟大学医学部総合研究科顎顔面再建学講座	情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発に関する研究
H14-14	山谷 睦雄	東北大学医学部附属病院	肺癌および慢性肺炎陽原因遺伝子の研究
H14-15	深田 伸二	国立療養所中部病院外科	高齢者手術の安全性の向上及び術後合併症の予防に関する研究
H14-16	千原 和夫	神戸大学大学院医学系研究科	老年病に対する成長ホルモン補充療法の有効性に関する研究
H14-17	伊藤 裕	京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学	ヒト胚性幹細胞（ES細胞）を用いた「寝たきり」高齢者に対する再生医療の開発
H14-18	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学研究科健康社会医学専攻	高齢者の施設・在宅における終末像の実証的検証および終末期ケアにおける高齢患者の自己決定のための情報開示のあり方に関する研究
H14-19	才藤 栄一	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学講座	摂食・嚥下障害患者の「食べる」機能に関する評価と対応
H14-20	赤川 安正	広島大学歯学科	舌機能評価を応用した摂食嚥下リハビリテーションの確立
H14-21	高橋 龍太郎	(財) 東京都老人総合研究所 看護・ヘルスケア部門	脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究
H14-22	西脇 友子	新潟大学医学部保健学科看護学専攻	寒冷・豪雪地域におけるデイスービスの効果に関する研究
H14-23	遠藤 英俊	国立療養所中部病院内科	要介護状態に応じた介護サービスに関する実証研究－立案された介護サービス計画の質の評価に関する研究
H14-24	大川 弥生	国立療養所中部病院長寿医療研究センター 老人ケア研究部	在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションのプログラムとシステムに関する研究
H14-25	三野 善央	大阪府立大学社会福祉学部	老人精神疾患患者の経過に及ぼす家族の感情表出の影響
H14-26	遠山 茂樹	東京農工大学工学部機械システム工学科	超強力サンドイッチ型超音波モータを用いたパワーアシストスーツの実用化
H14-27	外山 義	京都大学工学研究科環境地球工学専攻	居住福祉型特別養護老人ホームにおけるケアと空間のあり方に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H14-28	長田 久雄	東京都立保健科学大学（保健科学部）	高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究
H14-29	水村 和枝	名古屋大学環境医学研究所	高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手的治疗法の除痛効果に関する基礎的および臨床的研究
H14-30	北島 政樹	慶應義塾大学医学部外科学教室	漢方薬（十全大補湯）による術後感染症予防
H14-31	白澤 卓二	財）東京都老人総合研究所分子遺伝学部門	寿命制御遺伝子に関する分子遺伝学的研究
H14-32	松田 道行	大阪大学微生物病研究所	Ras依存性の細胞老化機構の解明
H14-33	丸山 直記	財）東京都老人総合研究所	加齢に伴う多臓器障害発症機序と予防に関する基礎的研究
H14-34	榎本 武美	東北大学大学院薬学研究所	WHI Pを中心にしたWerner症候群の早期老化の分子機構の研究
H14-35	中山 俊憲	千葉大学大学院医学研究院	免疫系の老化をターゲットにした細胞療法に関する研究
H14-36	小川 紀雄	岡山大学大学院医歯学総合研究科脳神経制御御学 講座神経情報学分野	大脳基底核部ドーパミン神経系の維持・再生に関する研究
H14-37	高田 和子	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進研 究部	高齢者の自立度及びQOLの維持及び改善方法の開発に関する大規模研究
H14-38	長嶋 紀一	日本大学文理学部	痴呆予防と初期痴呆高齢者に対する日常生活支援の方法に関する研究
H14-39	佐藤 祐造	名古屋大学総合保健体育科学センター	高齢者の健康増進のための運動指導マニュアル作成に関する研究
H14-40	吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命科学研究科	霊長類を用いて作出した老人病モデルによる新規治療法の開発と評価-脳・感覚器疾患等を中心にして-
H14-41	高濱 和夫	熊本大学薬学部	脳内グリンシン受容体を標的にした頻尿改善薬としての排尿反射強化薬の開発に関する研究
H14-42	丹生 健一	神戸大学大学院医学系研究科器官治療医学講座	老化に伴う嗅覚障害に対する治療法の開発に関する研究
H14-43	崎原 盛造	琉球大学医学部保健学科保健社会学教室	沖縄における長寿とサクセスフル・エイジングに関する研究
H14-44	小阪 慧司	横浜国立大学医学部	剖検例に基づいた非アルツハイマー型変性痴呆の臨床的研究
H14-45	坂田 俣教	埼玉県立大学保健医療福祉学部	高齢者の寝たきりの原因の解明及び予防に関する研究
H14-46	武谷 雄二	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座	老年者に対するホルモン補充療法に関する総合的研究
H14-47	森本 茂人	大阪大学大学院医学研究科生体制御御医学専攻加 齢医学講座	高齢者疾患の易発症性に対する遺伝的負荷の解明
H14-48	柿木 保明	国立療養所南福岡病院	高齢者の口腔乾燥症と唾液物性にに関する研究
H14-49	石川 冬木	東京工業大学大学院生命理工学研究科	老化細胞で見られるストレス反応に基づいた細胞老化のテララーモードの診断・治療技術の開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H14-50	真田 弘美	金沢大学医学部	褥創ケアにおける看護技術の基盤化とその経済評価
H14-51	高橋 泰	国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科	自立から死亡までのプロセスとコストの分析
H14-52	辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野	介護予防に特化した在宅訪問指導プログラムの有効性評価に関する介入研究
H14-53	池上 直己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室	介護者負担感、充実感に関する簡便な尺度の開発と介護サービス利用に関する調査研究
H14-54	小山 秀夫	国立医療・病院管理研究所医療経済研究部	高齢者保健・医療・福祉サービス提供機関におけるマネジメントに関する実態分析並びに理論構築に関する研究
H14-55	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部	高齢者虐待の発防止及び援助方法に関する国際的研究
H14-56	柴田 博	財) 東京都老人総合研究所社会福祉部門	高齢者における健康で働きがいのある就業継続の社会的基盤に関する研究
H14-57	福土 審	東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野	高齢者の機能性消化管障害に対する漢方薬の効果
H14-58	鮫島 健	社団法人日本精神病院協会	老人性痴呆疾患治療病棟におけるクリニカルパスを利用した痴呆性高齢者治療の検討
H14-59	大橋 京一	浜松医科大学臨床薬理学	高齢者の薬物治療における薬物代謝酵素遺伝子多型情報のシステム化と有用性の評価
H14-60	村山 良雄	国立神戸病院外科	老人介護施設における救急医療の現状と改善点に関する研究
H14-61	亀田 俊忠	医療法人鉄蕉会	加齢性疾患における医療ニーズ・治療・費用・結果と医療政策に関するOECD諸国国際比較研究
H14-62	岡村 仁	広島大学医学部	高齢者のQOL向上を目指した心理・社会的リハビリテーション法の確立に関する研究
H14-63	児玉 龍彦	東京大学先端科学技術研究センター分子生物学部門	各種動脈における泡沫細胞の遺伝的発現解析
H14-64	森 望	国立療養所中部病院長寿医療研究センター分子遺伝学研究室	長寿命遺伝子としてのShcシグナリングに関する分子遺伝学的研究
H14-65	香川 靖雄	女子栄養大学医化学教室	D-アミノ酸含有蛋白質に起因する疾病の病態解明とその特異的な分解酵素による治療法の開発に関する研究
H14-66	駒野 宏人	国立療養所中部病院長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	老化に伴うアミロイド蛋白代謝変化の機構解析
H14-67	千葉 勉	京都大学大学院医学研究科	高齢者の消化・吸収機能維持に関する研究
H14-68	望月 直樹	国立循環器病センター研究所循環器形態部	血管内皮細胞特異的受容体の制御による動脈硬化予防
H14-69	磯部 健一	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老化機構研究部	ストレスの老化に及ぼす影響とその生体応答に関する研究
H14-70	松浦 彰	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	老化に伴うゲノム構造変化の分子機構に関する研究ー早老症をモデルとして
H14-71	小松 賢志	広島大学原爆放射能医学研究所	染色体不安定症候群の細胞老化機構

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H14-72	沢村 達也	国立循環器病センター研究所バイオサイエンス部	酸化LDL受容体LOX-1の動脈硬化における役割
H14-73	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所生化学部	新規ホルモン；グレリンの生理的意義と老化における役割の解明
H14-74	山下 均	国立療養所中部病院長寿医療研究センター分子遺伝学研究部	老化による熱産生機能低下の原因解明と予防に関する基礎的研究
H14-75	江頭 健輔	九州大学大学院医学系研究科心臓血管病態制御学講座	高齢者血管病に対する遺伝子治療ならびに内皮前駆細胞移植療法の開発ー臨床応用を目指した基礎研究ー
H14-76	江崎 治	国立健康・栄養研究所生活習慣病研究部	加齢による筋肉量減少（サルコペニア）／脂肪量増加機序の解明と予防法に関する研究
H14-77	堀 正二	大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科	動脈硬化機構の解明と予防-EDHFの作用機序に関する研究ー
H14-78	井藤 英喜	東京都多摩老人医療センター	高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究
H14-79	清野 裕	京都大学大学院医学研究科病態代謝栄養学	糖尿病に関連した代謝栄養障害の遺伝素因の同定と高齢者の栄養指導への応用研究
H14-80	鳥羽 研二	杏林大学医学部 高齢医学講座	障害高齢者の生活機能評価に関するガイドライン策定のための総合的研究
H14-81	福原 信義	国立療養所犀潟病院	高齢者の寝たきりの原因の解明と予防に関する研究ー情報ネットワークを利用した介護保険特定疾病の症例データベースによる病態解析・治療法・介護技術についての研究
H14-82	角 保徳	国立療養所中部病院歯科	高齢者における口腔ケアのシステム化に関する総合的研究
H14-83	石井 拓男	東京歯科大学社会歯科学研究室	要介護老人の摂食障害発生要因に関する研究
H14-84	芳賀 克夫	国立熊本病院外科	E-PASS scoring systemを用いた高齢者の手術リスク評価
H14-85	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	「閉じこもり」高齢者のスクリーニング尺度の作成と介入プログラムの開発
H14-86	古池 保雄	名古屋大学医学部保健学科	高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究
H14-87	松瀬 健	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター呼吸器内科	高齢者慢性閉塞性肺疾患の遺伝的病因と病態解明ならびに新治療戦略の開発
H14-88	川瀬 哲明	東北大学医学部付属病院耳鼻咽喉科	聴覚・視覚機能の低下と言語コミュニケーションに関する研究
H14-89	池田 恭治	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	廃用性骨萎縮のメカニズムと治療法の開発
H14-90	岩本 幸英	九州大学大学院医学系研究科整形外科	高齢者の骨・関節疾患の予防・治療法の開発と疼痛緩和対策に関する研究
H14-91	鈴木 登	聖マリアンナ医科大学医学部	関節疾患の原因の解明及び発症の予防・治療方法
H14-92	中村 利孝	産業医科大学医学部整形外科	加齢に伴う脊柱変形の危険因子の解明と防止法の開発
H14-93	萩野 浩	(社)日本整形外科学会 (鳥取大学医学部整形外科)	大腿骨頸部骨折の発生頻度及び受傷状況に関する全国調査

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H14-94	渡辺 研	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	高齢者の骨軟骨疾患の発症病理及び再生医学的治療に関する研究
H14-95	渡辺 秀人	愛知医科大学分子医科学研究所	アグリカン遺伝子ノックインマウスの作製による軟骨破壊機序の解析
H14-96	井ノ上 逸朗	東京大学医科学研究所ゲノム情報応用診断	後縦靱帯骨化症責任遺伝子同定と予防・治療への応用
H14-97	石川 誠	日本リハビリテーション・病院施設協会	総合的リハ及びケアシステムの連携についての研究－特に寝たきり化を防ぐための廃用症候群予防の見地から－
H14-98	木村 伸也	愛知医科大学リハビリテーション部	高齢者のターミナルケアにおけるケア及びリハビリテーション技術の標準化に関する研究－「ハイリスク・体力消耗状態」の観点から
H14-99	保坂 隆	東海大学医学部精神科	在宅医療における家族関係性の解析と介護者支援プログラムの開発
H14-100	南部 雅幸	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	マルチメディアを用いた高齢者支援システムの開発
H14-101	高山 忠雄	東北文化学園大学医療福祉学部	ケアマネジメントにおける福祉用具・住環境支援の一体的有効活用とその評価法の開発に関する研究
H14-102	白澤 政和	大阪市立大学大学院生活科学部	ケアマネジメント・システムに対する総合評価に関する研究
H14-103	児玉 桂子	日本社会事業大学社会福祉学部	在宅痴呆性高齢者の環境適応の円滑化と介護負担軽減のための居住支援プログラムの開発に関する研究
H14-104	新開 省二	(財) 東京都老人総合研究所地域保健部門	地域在宅高齢者の「閉じこもり」に関する総合的研究
H14-105	大井田 隆	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部	介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究
H14-106	山本 一彦	東京大学大学院医学系研究科	慢性関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験
H14-107	嶋田 豊	富山医科薬科大学医学部和漢診療学	高齢者の脳血管障害の予防と進展防止を目的とした漢方薬による治療法の開発
H13-1	道川 誠	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	中枢神経細胞におけるコレステロールの果たす役割およびその代謝機構解明に関する研究
H13-2	丸山 和佳子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老化機構研究部	老化に伴う黒質ドーパミン神経細胞死の機序の解明とそれを防御する薬剤の開発
H13-3	堀内 正公	熊本大学医学部生化学第二講座	新たな血管の老化予防法の開発をめざしたコレステロール逆転送系調節機序の解明
H13-4	伊藤 健吾	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター生体機能研究部	機能画像による高齢者脳高次機能の解析に関する研究
H13-5	本山 昇	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老年病研究部	発生工学を利用した老化・老化病モデルマウスの開発とこれに基づいた新規薬物設計に関する研究
H13-6	神田 健郎	(財) 東京都老人総合研究所中枢神経部門	高齢者の慢性痛と痛覚伝導路の可塑性に関する研究
H13-7	森 茂美	岡崎国立共同研究機構生理学研究所	サル二足歩行モデルを用いた予測・適応制御に関する研究：高齢者歩行の特徴とその神経機序の基礎的考察
H13-8	木谷 健一	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター	老化・老年病に対する栄養学的・薬理学的・分子遺伝学的手法による干渉に関する総合的研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H13-9	安井 利一	明海大学歯学部口腔衛生学講座	歯の生存率評価法及び要因改善による喪失リスク低下に関する研究
H13-10	小泉 昭夫	京都大学大学院医学研究科	特定疾患遺伝子ヘテロ保因者に着目した老化性疾患の抑制に関する地域長寿保健システムの構築
H13-11	田中 慎	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター共同利用室	実験動物の加齢解析、加齢個体育成と新モデル開発に関する研究
H13-12	高橋 慶吉	国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第6部	血管および中枢神経の老化過程におけるNotch3シグナル受容体機能の遺伝的・生物学的解析
H13-13	萩原 俊男	大阪大学大学院医学研究科生体制御医学専攻加齢医学講座	老年者高血圧の治療と予後に関する研究
H13-14	下方 浩史	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター疫学研究部	老化および老年病の長期縦断疫学研究
H13-15	折茂 肇	東京都老人医療センター	骨粗鬆症における原因遺伝子の検索と遺伝疫学的解析
H13-16	原田 敦	国立療養所中部病院整形外科	プロテクターによる高齢者の転倒傷害予防
H13-17	北 徹	京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座	高齢者高脂血症の長期予後に関する研究
H13-18	祖父江 元	名古屋大学医学部神経内科	高齢者のニューロパチーの病態と治療に関する総合的研究
H13-19	柳澤 勝彦	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	老化とヒトアミロイドーシス：加齢依存性発症の分子機構解明
H13-20	三木 哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座	老年病の発症機構に関する総合的研究
H13-21	安藤 富士子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター疫学研究部	高齢者の抑うつと栄養に関する疫学的研究
H13-22	武田 雅俊	大阪大学大学院医学系研究科神経機能医学精神医学	高齢者の精神機能老化機序の解明とその対策に関する精神神経免疫学的研究
H13-23	新野 直明	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	地域の高齢者における転倒・骨折の発生と予防に関する疫学的研究
H13-24	内藤 通孝	名古屋大学大学院医学研究科健康社会医学専攻	高齢者終末期医療の自己決定実現のための介入的研究
H13-25	福原 俊一	京都大学大学院医学研究科理論疫学	保存期慢性腎不全高齢患者（非糖尿病性）の低蛋白療法の効果に関する研究
H13-26	遠藤 英俊	国立療養所中部病院内科	高齢者脳機能賦活療法の開発に関する研究
H13-27	大類 孝	東北大学医学部	誤嚥性肺炎治療の新戦略
H13-28	広瀬 信義	慶應義塾大学医学部老年科	百寿者の多面的検討とその国際比較
H13-29	筒井 孝子	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部	介護保険制度下における介護サービスの質の評価に関する研究
H13-30	千野 直一	慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室	脳卒中患者の慢性期リハビリテーション医療の実態とその効果に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H13-31	宮井 一郎	特定医療法人 大道会ボバース記念病院	高齢者神経疾患に対するリハビリテーションの方法論に関する研究
H13-32	北島 英治	東海大学健康科学部社会福祉学科	介護支援専門員の介護サービス計画立案を支援するインタラクティブ（双方向）コンピュータシステムの開発に関する研究
H13-33	若山 吉弘	昭和大学藤が丘病院神経内科	高齢神経疾患患者のリハビリテーションのあり方
H13-34	才藤 栄一	藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座	摂食・嚥下障害の治療・対応に関する総合的研究
H13-35	荒井 由美子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター	公的介護保険の導入と介護者の介護負担に関する研究
H13-36	飛松 好子	東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻運動障害学講座	脳卒中片麻痺の入院リハビリテーションにおけるクリティカルパスの開発
H13-37	千田 彰一	香川医科大学医学部附属病院総合診療部	起立訓練リハビリテーション機能を有する高機能立位個別型入浴システムの開発
H13-38	土肥 健純	東京大学大学院情報理工学系研究科	移動・移乗支援システム
H13-39	田村 俊世	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老人支援機器開発部	高齢者の日常生活活動モニタリング機器の開発
H13-40	稲田 紘	東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻	健康管理支援のための高齢者健康情報システムの構築
H13-41	戸川 達男	東京医科歯科大学生体材料工学研究所	在宅健康計測システムの高度化
H13-42	中島 一樹	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老人支援機器開発部	バーチャルリアリティを利用した高齢者用の看護・介護支援機器の開発
H13-43	岸 玲子	北海道大学医学部公衆衛生学講座	高齢期における活動的生活持続のためのサポートネットワークの役割に関する研究
H13-44	都島 基夫	国立循環器病センター総合外来部	高齢化社会における循環器未病対策と医療経済に関する疫学的基礎研究
H13-45	安川 文朗	広島国際大学医療福祉学部医療経営学科	高齢者福祉施設の経営評価とケアの成果との関係に関する実証研究
H13-46	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学講座	国民の代表集団による高齢者のADL、生活の質低下の予防に関するコホート研究：NIPPON DATA
H13-47	武井 泉	慶應義塾大学医学部中央臨床検査部	高齢者糖尿病の漢方薬による合併症予防の研究
H13-48	吉村 弘	金沢医科大学口腔科学	歯牙喪失後の中枢神経機能低下の予防に関する研究
H13-49	山谷 睦雄	東北大学医学部附属病院老人科	慢性肺気腫原因遺伝子の研究
H13-50	関田 康慶	東北大学大学院経済学研究科	グループ診療、介護の統合化による経済効果に関する研究
H13-51	児玉 龍彦	東京大学先端科学技術研究センター分子生物医学部門	各種動脈における泡沫細胞の遺伝的発現解析
H13-52	森 望	国立療養所中部病院長寿医療研究センター分子遺伝学研究部	長寿命遺伝子としてのShcシグナリングに関する分子遺伝学的研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H13-53	香川 靖雄	女子栄養大学医学教室	D-アミノ酸含有蛋白質に起因する疾病の病態解明とその特異的な分解酵素による治療法の開発に関する研究
H13-54	駒野 宏人	国立療養所中部病院長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	老化に伴うアミロイド蛋白代謝変化の機構解析
H13-55	千葉 勉	京都大学大学院医学研究科	高齢者の消化・吸収機能維持に関する研究
H13-56	望月 直樹	国立循環器病センター研究部循環器形態部	血管内皮細胞特異的受容体の制御による動脈硬化予防
H13-57	機部 健一	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老化機構研究部	ストレスの老化に及ぼす影響とその生体応答に関する研究
H13-58	松浦 彰	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	老化に伴うグノム構造変化の分子機構に関する研究－早老症をモデルとして
H13-59	小松 賢志	広島大学原爆放射能医学研究所	染色体不安定症候群の細胞老化機構
H13-60	沢村 達也	国立循環器病センター研究部バイオサイエンス部	酸化LDL受容体LOX-1の動脈硬化における役割
H13-61	寒川 賢治	国立循環器病センター研究部生化学部	新規ホルモン；グレリンの生理的意義と老化における役割の解明
H13-62	山下 均	国立療養所中部病院長寿医療研究センター分子遺伝学研究部	老化による熟産生機能低下の原因解明と予防に関する基礎的研究
H13-63	江頭 健輔	九州大学大学院医学系研究科心臓血管病態制御学講座	高齢者血管病に対する遺伝子治療ならびに内皮前駆細胞移植療法の開発－臨床応用を目指した基礎研究－
H13-64	江崎 治	独立行政法人国立健康・栄養研究所生活習慣病研究部	加齢による筋肉量減少（サルコペニア）／脂肪量増加機序の解明と予防法に関する研究
H13-65	堀 正二	大阪大学大学院医学系研究科病体情報内科	動脈硬化機構の解明と予防-EDHFの作用機序に関する研究－
H13-66	井藤 英喜	東京都多摩老人医療センター	高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究
H13-67	清野 裕	京都大学大学院医学研究科病態代謝栄養学	糖尿病に関連した代謝栄養障害の遺伝素因の同定と高齢者の栄養指導への応用研究
H13-68	岡村 菊夫	国立療養所中部病院泌尿器科	高齢者尿疾患の評価・治療に関するガイドラインの作成
H13-69	鳥羽 研二	杏林大学医学部高齢医学講座	障害高齢者の生活機能評価に関するガイドライン策定のための総合的研究
H13-70	福原 信義	国立療養所犀潟病院	高齢者の寝たきりの原因の解明と予防に関する研究－情報ネットワークを利用した介護保険特定疾病の症例データベースによる病態解析・治療法・介護技術についての研究
H13-71	角 保徳	国立療養所中部病院歯科	高齢者における口腔ケアのシステム化に関する総合的研究
H13-72	石井 拓男	東京歯科大学社会歯科学研究室	要介護老人の摂食障害発生要因に関する研究
H13-73	芳賀 克夫	国立熊本病院外科	E-PASS scoring systemを用いた高齢者の手術リスク評価
H13-74	安村 誠司	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	「閉じこもり」高齢者のスクリーニング尺度の作成と介入プログラムの開発

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H13-75	橋本 勉	和歌山県立医科大学公衆衛生学教室	生活習慣・環境要因・遺伝素因からみた骨粗鬆症及び脊髄骨折予防体制の確立
H13-76	古池 保雄	名古屋大学医学部保健学科	高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究
H13-77	松瀬 健	横浜国立大学医学部附属市民総合医療センター呼吸器内科	高齢者慢性閉塞性肺疾患の遺伝的病因と病態解明ならびに新治療戦略の開発
H13-78	川瀬 哲明	東北大学医学部付属病院耳鼻咽喉科	聴覚・視覚機能の低下と言語コミュニケーションに関する研究
H13-79	池田 恭治	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	廃用性骨萎縮のメカニズムと治療法の開発
H13-80	岩本 幸英	九州大学大学院医学系研究科整形外科	高齢者の骨・関節疾患の予防・治療法の開発と疼痛緩和対策に関する研究
H13-81	鈴木 登	聖マリアンナ医科大学医学部	関節疾患の原因の解明及び発症の予防・治療方法
H13-82	中村 利孝	産業医科大学医学部整形外科	加齢に伴う脊柱変形の危険因子の解明と防止法の開発
H13-83	萩野 浩	(社) 日本整形外科学会 (鳥取大学医学部整形外科)	大腿骨頸部骨折の発生頻度及び受傷状況に関する全国調査
H13-84	渡辺 研	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	高齢者の骨軟骨疾患の発症病理及び再生医学的治療に関する研究
H13-85	渡辺 秀人	愛知医科大学分子医科学研究所	アグリカン遺伝子ノックインマウスの作製による軟骨破壊機序の解析
H13-86	井ノ上 逸朗	東京大学医科学研究所ゲノム情報応用診断	後縦靱帯骨化症責任遺伝子同定と予防・治療への応用
H13-87	石川 誠	日本リハビリテーション・病院施設協会	総合的リハ及びびケアシステムの連携についての研究一特に寝たきり化を防ぐための廃用症候群予防の見地から一
H13-88	木村 伸也	愛知医科大学リハビリテーション部	高齢者のターミナルケアにおけるケア及びリハビリテーション技術の標準化に関する研究一「ハイリスク・体力消耗状態」の観点から
H13-89	保坂 隆	東海大学医学部精神科	在宅医療における家族関係性の解析と介護者支援プログラムの開発
H13-90	南部 雅幸	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	マルチメディアを用いた高齢者支援システムの開発
H13-91	高山 忠雄	東北文化学園大学医療福祉学部	ケアマネジメントにおける福祉用具・住環境支援の一体的有効活用とその評価法の開発に関する研究
H13-92	白澤 政和	大阪市立大学大学院生活科学部	ケアマネジメント・システムに対する総合評価に関する研究
H13-93	児玉 桂子	日本社会事業大学社会福祉学部	在宅痴呆性高齢者の環境適応の円滑化と介護負担軽減のための居住支援プログラムの開発に関する研究
H13-94	新開 省二	財) 東京都老人総合研究所地域保健部門	地域在宅高齢者の「閉じこもり」に関する総合的研究
H13-95	大井田 隆	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部	介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究
H13-96	山本 一彦	東京大学大学院医学系研究科	慢性関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H13-97	嶋田 豊	富山医科薬科大学医学部和漢診療学	高齢者の脳血管障害の予防と進展防止を目的とした漢方薬による治療法の開発
H13-98	白澤 卓二	財) 東京都老人総合研究所分子遺伝学部門	寿命制御遺伝子に関する分子遺伝学的研究
H13-99	松田 道行	大阪大学微生物病研究所	Ras依存性の細胞老化機構の解明
H13-100	丸山 直記	財) 東京都老人総合研究所	加齢に伴う多臓器障害発症機序と予防に関する基礎的研究
H13-101	榎本 武美	東北大学大学院薬学研究所	WHI Pを中心としたWerner症候群の早期老化の分子機構の研究
H13-102	中山 俊憲	千葉大学大学院医学研究院	免疫系の老化をターゲットにした細胞療法に関する研究
H13-103	小川 紀雄	岡山大学大学院医学総合研究科脳神経制御学講座神経情報学分野	大脳基底核部ドーパミン神経系の維持・再生に関する研究
H13-104	太田 壽城	国立療養所中部病院	高齢者の自立度及びQOLの維持及び改善方法の開発に関する大規模研究
H13-105	長嶋 紀一	日本大学文理学部	痴呆予防と初期痴呆高齢者に対する日常生活支援の方法に関する研究
H13-106	佐藤 祐造	名古屋大学総合保健体育科学センター	高齢者の健康増進のための運動指導マニュアル作成に関する研究
H13-107	吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命科学研究科	霊長類を用いて作出した老人病モデルによる新規治療法の開発と評価-脳・感覚器疾患等を中心として-
H13-108	高濱 和夫	熊本大学薬学部	脳内グリンシン受容体を標的にした頻尿改善薬としての排尿反射強化薬の開発に関する研究
H13-109	丹生 健一	神戸大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室	老化に伴う嗅覚障害に対する治療法の開発に関する研究
H13-110	崎原 盛造	琉球大学医学部保健学科保健社会学教室	沖縄における長寿とサクセスフル・エイジングに関する研究
H13-111	小阪 憲司	横浜国立大学医学部	剖検例に基づいた非アルツハイマー型変性痴呆の臨床的研究
H13-112	坂田 悍教	埼玉県立大学保健医療福祉学部	高齢者の寝たきりの原因の解明及び予防に関する研究
H13-113	武谷 雄二	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座	老年者に対するホルモン補充療法に関する総合的研究
H13-114	森本 茂人	大阪大学大学院医学研究科生体制御医学専攻加齢医学講座	高齢者疾患の易発症性に対する遺伝的負荷の解明
H13-115	柿木 保明	国立療養所南福岡病院	高齢者の口腔乾燥症と唾液物性にに関する研究
H13-116	石川 冬木	東京工業大学大学院生命理工学研究科	老化細胞で見られるストレス反応に基づいた細胞老化のテラレーメード的診断・治療技術の開発
H13-117	真田 弘美	金沢大学医学部	褥創ケアにおける看護技術の基盤化とその経済評価
H13-118	高橋 泰	国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科	自立から死亡までのプロセスとコストの分析

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H13-119	辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野	介護予防に特化した在宅訪問指導プログラムの有効性評価に関する介入研究
H13-120	池上 直己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室	介護者負担感、充実感に関する簡便な尺度の開発と介護サービス利用に関する調査研究
H13-121	小山 秀夫	国立医療・病院管理研究所医療経済研究部	高齢者保健・医療・福祉サービス提供機関におけるマネジメントに関する実態分析並びに理論構築に関する研究
H13-122	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部	高齢者虐待の発生予防及び援助方法に関する国際的研究
H13-123	柴田 博	(財) 東京都老人総合研究所社会福祉部門	高齢者における健康で働きがいのある就労継続の社会的基盤に関する研究
H13-124	福土 審	東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野	高齢者の機能性消化管障害に対する漢方薬の効果
H13-125	鮫島 健	社団法人日本精神病院協会	老人性痴呆疾患治療病棟におけるクリニカルパスを利用した痴呆性高齢者治療の検討
H13-126	大橋 京一	浜松医科大学臨床薬理学	高齢者の薬物治療における薬物代謝酵素遺伝子多型情報のシステム化と有用性の評価
H13-127	村山 良雄	国立神戸病院外科	老人介護施設における救急医療の現状と改善点に関する研究
H13-128	石田 明允	東京医科歯科大学生体材料工学研究所システム部門	脈派を利用した独居高齢者用緊急通報システムの開発
H13-129	亀田 俊忠	医療法人鉄蕉会	加齢性疾患における医療ニーズ・治療・費用・結果と医療政策に関するOECD諸国国際比較研究
H13-130	岡村 仁	広島大学医学部	高齢者のQOL向上を目指した心理・社会的リハビリテーション法の確立に関する研究
H13-131	高田 寛治	京都薬科大学薬学部	骨粗しょう症治療用カルシトニン受容体拮抗剤の開発
H13-132	野崎 大地	国立リハビリテーションセンター研究所	高齢者の転倒防止を目的とした感覚神経への電気刺激手法の確立
H13-133	関沢 清久	筑波大学（臨床医学系呼吸器内科）	遺伝子多型検出に基づく肺気腫発症予知と肺気腫に対する薬物療法最適化法の開発
H12-1	道川 誠	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	中枢神経細胞におけるコレステロールの果たす役割およびその代謝機構解明に関する研究
H12-2	丸山 和佳子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老化機構研究部	老化に伴う黒質ドーパミン神経細胞死の機序の解明とそれを防御する薬剤の開発
H12-3	堀内 正公	熊本大学医学部生化学第二講座	新たな血管の老化予防法の開発をめざしたコレステロール逆転送系調節機序の解明
H12-4	伊藤 健吾	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター生体機能研究部	機能画像による高齢者脳高次機能の解析に関する研究
H12-5	本山 昇	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老年病研究部	発生工学を利用した老化・老化病モデルマウスの開発とこれに基づいた新規薬物設計に関する研究
H12-6	神田 健郎	(財) 東京都老人総合研究所中枢神経部門	高齢者の慢性痛と痛覚伝導路の可塑性に関する研究
H12-7	森 茂美	岡崎国立共同研究機構生理学研究所	サル二足歩行モデルを用いた予測・適応制御に関する研究：高齢者歩行の特徴とその神経機序の基礎的考察

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H12-8	木谷 健一	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター	老化・老年病に対する栄養学的・薬理学的・分子遺伝学的手法による干渉に関する総合的研究
H12-9	安井 利一	明海大学歯学部口腔衛生学講座	歯の生存率評価法及び要因改善による喪失リスク低下に関する研究
H12-10	小泉 昭夫	京都大学大学院医学研究科	特定疾患遺伝子ヘテロ保因者に着目した老化性疾患の抑制に関する地域長寿保健システムの構築
H12-11	田中 愼	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター共同利用室	実験動物の加齢解析、加齢固体育成と新モデル開発に関する研究
H12-12	高橋 慶吉	国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第6部	血管および中枢神経の老化過程におけるNotch3シグナル受容体機能の遺伝的・生物学的解析
H12-13	石川 冬木	東京工業大学生命理工学研究科	老化時計としてのテロメアの役割
H12-14	白澤 卓二	(財) 東京都老人総合研究所・分子遺伝学部門	長寿遺伝子に関する分子遺伝学的研究
H12-15	吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命科学研究科実験動物学	霊長類を用いた老人病モデルの開発と長寿科学研究基盤高度化に関する研究
H12-16	宮坂 京子	(財) 東京都老人総合研究所 臨床生理部門	肥満、糖尿病、胆石症の新しい関連遺伝子、コレシストキニン-A受容体遺伝子
H12-17	木山 博資	旭川医科大学医学部解剖学第一講座	生活習慣病の中枢制御に関する研究
H12-18	荻原 俊男	大阪大学大学院医学研究科生体制御医学専攻加齢医学講座	老年者高血圧の治療と予後に関する研究
H12-19	下方 浩史	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター疫学研究部	老化および老年病の長期縦断疫学研究
H12-20	折茂 肇	東京都老人医療センター	骨粗鬆症における原因遺伝子の検索と遺伝疫学的解析
H12-21	原田 敦	国立療養所中部病院整形外科	プロテクターによる高齢者の転倒障害予防
H12-22	北 徹	京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座	高齢者高脂血症の長期予後に関する研究
H12-23	祖父江 元	名古屋大学医学部神経内科	高齢者のニューロパチーの病態と治療に関する総合的研究
H12-24	柳澤 勝彦	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	老化とヒトアミロイドーシス：加齢依存性発症の分子機構解明
H12-25	三木 哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座	老年病の発症機構に関する総合的研究
H12-26	安藤 富士子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター疫学研究部	高齢者の抑うつと栄養に関する疫学的研究
H12-27	武田 雅俊	大阪大学大学院医学系研究科神経機能医学精神医学	高齢者の精神機能老化機序の解明とその対策に関する精神神経免疫学的研究
H12-28	新野 直明	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	地域の高齢者における転倒・骨折の発生と予防に関する疫学的研究
H12-29	内藤 通孝	名古屋大学大学院医学研究科健康社会医学専攻	高齢者終末期医療の自己決定実現のための介入的研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H12-30	福原 俊一	京都大学大学院医学研究科理論疫学	保存期慢性腎不全高齢患者（非糖尿病性）の低蛋白療法の効果に関する研究
H12-31	遠藤 英俊	国立療養所中部病院第三内科	高齢者脳機能賦活療法の開発に関する研究
H12-32	佐々木 英忠	東北大学医学部老年・呼吸器内科	誤嚥性肺炎治療の新戦略
H12-33	樋口 京一	信州大学医学部・附属加齢適応研究センター・脈管病態分野	アミロイドーシス抑制遺伝子の解析
H12-34	西沢 理	信州大学医学部泌尿器科	高齢者排尿障害の病態と治療に関する研究
H12-35	広瀬 信義	慶應義塾大学医学部老年科	百寿者の多面的検討とその国際比較
H12-36	丸山 征郎	鹿児島大学医学部臨床検査医学	老化に伴う臓器機能不全の分子病態に関する研究
H12-37	大内 尉義	東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座	高齢女性の健康増進のためのホルモン補充療法に関する総合的研究
H12-38	外 須美夫	北里大学医学部麻酔科	高齢者の疼痛緩和に関する研究
H12-39	岩田 久	名古屋大学医学部整形外科	高齢者の変形性関節症の成因および病態に関する総合的研究
H12-40	筒井 孝子	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部	介護保険制度下における介護サービスの質の評価に関する研究
H12-41	千野 直一	慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室	脳卒中患者の慢性期リハビリテーション医療の実態とその効果に関する研究
H12-42	宮井 一郎	特定医療法人 大道会ボバース記念病院	高齢者神経疾患に対するリハビリテーションの方法論に関する研究
H12-43	北島 英治	東海大学健康科学部社会福祉学科	介護支援専門員の介護サービス計画立案を支援するインタラクティブ（双方向）コンピュータシステムの開発に関する研究
H12-44	若山 吉弘	昭和大学藤が丘病院神経内科	高齢神経疾患患者のリハビリテーションのあり方
H12-45	才藤 栄一	藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座	摂食・嚥下障害の治療・対応に関する総合的研究
H12-46	荒井 由美子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター	公的介護保険の導入と介護者の介護負担に関する研究
H12-47	飛松 好子	東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻運動障害学講座	脳卒中片麻痺の入院リハビリテーションにおけるクリティカルパスの開発
H12-48	辻 隆之	東京大学大学院新領域創成科学研究科	起立訓練リハビリテーション機能を有する高機能立位個別型入浴システムの開発
H12-49	大川 弥生	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老人ケア研究部	高齢者の自立にむけた介護技術・プログラムの開発に関する研究
H12-50	小山 秀夫	国立医療・病院管理研究所医療経済研究部	介護保険制度における最適マネジメントの方策に関する研究
H12-51	大浦 武彦	医療法人漢仁会褥瘡・創傷治療研究所	褥瘡治療・看護・介護・介護支援機器の総合評価ならびに褥瘡予防に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H12-52	金川 克子	石川県立看護大学	在宅高齢者に対する保健・看護・介護プログラム開発とその評価に関する研究
H12-53	土肥 健純	東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻	移動・移乗支援システム
H12-54	田村 俊世	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老人支援機器開発部	高齢者の日常活動モニタリング機器の開発
H12-55	稲田 紘	東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻	健康管理支援のための高齢者健康情報システムの構築
H12-56	戸川 達男	東京医科歯科大学生体材料工学研究所システム研究部門	在宅健康計測システムの高度化
H12-57	中島 一樹	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老人支援機器開発部	バーチャルリアリティを利用した高齢者用の看護・介護支援機器の開発
H12-58	遠山 茂樹	東京農工大学工学部機械システム工学科	超音波モータを用いたアクティブひざサポータの開発
H12-59	福井 康裕	東京電機大学理工学部電子情報工学科	高齢者の自立・QOL向上のための機能的支援システムに関する研究
H12-60	岸 玲子	北海道大学医学部予防医学講座	高齢期における活動的生活持続のためのサポートネットワークの役割に関する研究
H12-61	都島 基夫	国立循環器病センター総合外来部	高齢化社会における循環器未病対策と医療経済に関する疫学的基礎研究
H12-62	安川 文朗	広島国際大学医療福祉学部医療経営学科	高齢者福祉施設の経営評価とケアの成果との関係に関する実証研究
H12-63	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学講座	国民の代表集団による高齢者のADL、生活の質低下の予防に関するコホート研究；NIPPON DATA
H12-64	秋山 哲男	東京都立大学大学院工学研究科土木工学専攻	福祉型交通システムの開発と運行システムの組織・経済の適正化に関する研究
H12-65	柴田 博	東京都老人総合研究所社会福祉部門	中高年齢者の職業からの引退過程と健康、経済との関連に関する研究
H12-66	秋山 弘子	東京大学文学部	後期高齢期における家族・経済・保健行動のダイナミクス
H12-67	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部社会福祉学科	高齢者虐待の発生予防及び援助方法に関する学際的研究
H12-68	崎原 盛造	琉球大学医学部保健学科保健社会学	沖縄における社会環境と長寿に関する縦断的研究
H12-69	武井 泉	慶應義塾大学医学部中央臨床検査部	高齢者糖尿病の漢方薬による合併症予防の研究
H12-70	菅沼 雅美	埼玉県立がんセンター研究所がん発生・予防研究グループ	緑茶による老年病予防に関する研究
H12-71	児玉龍彦	東京大学先端科学技術研究センター分子生物医学部門	各種動脈における泡沫細胞の遺伝的発現解析
H12-72	森 望	国立療養所中部病院長寿医療研究センター分子遺伝学研究部	長寿命遺伝子としてのShcシグナリングに関する分子遺伝学的研究
H12-73	吉村 弘	金沢医科大学口腔科学	歯牙喪失後の中枢神経機能低下の予防に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H12-74	香川靖雄	女子栄養大学医学教室	D-アミノ酸含有蛋白質に起因する疾病の病態解明とその特異的な分解酵素による治療法の開発に関する研究
H12-75	駒野宏人	国立療養所中部病院長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	老化に伴うアミロイド蛋白代謝変化の機構解析
H12-76	千葉 勉	京都大学大学院医学研究科	高齢者の消化・吸収機能維持に関する研究
H12-77	望月直樹	国立国際医療センター研究部臨床病理研究部	血管内皮細胞特異的受容体の制御による動脈硬化予防
H12-78	磯部健一	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老化機構研究部	ストレスの老化に及ぼす影響とその生体応答に関する研究
H12-79	松浦 彰	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	老化に伴うグノム構造変化の分子機構に関する研究－早老症をモデルとして
H12-80	小松賢志	広島大学原爆放射能医学研究所	染色体不安定症候群の細胞老化機構
H12-81	山谷睦雄	東北大学医学部附属病院老人科	慢性肺気腫原因遺伝子の研究
H12-82	沢村達也	国立循環器病センター研究所バイオサイエンス部	酸化LDL受容体LOX-1の動脈硬化における役割
H12-83	寒川賢治	国立循環器病センター研究所生化学部	新規ホルモン；グレリンの生理的意義と老化における役割の解明
H12-84	山下 均	国立療養所中部病院長寿医療研究センター分子遺伝学研究部	老化による熟産生機能低下の原因解明と予防に関する基礎的研究
H12-85	江頭健輔	九州大学大学院医学系研究科心臓血管病態制御学講座	高齢者血管病に対する遺伝子治療ならびに内皮前駆細胞移植療法の開発－臨床応用を目指した基礎研究－
H12-86	江崎 治	国立健康・栄養研究所臨床栄養部	加齢による筋肉量減少（サルコペニア）／脂肪量増加機序の解明と予防法に関する研究
H12-87	堀 正二	大阪大学大学院医学系研究科病体情報内科	動脈硬化機構の解明と予防
H12-88	井藤英喜	東京都多摩老人医療センター	高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究
H12-89	清野 裕	京都大学大学院医学研究科病態代謝栄養学	糖尿病に関連した代謝栄養障害の遺伝素因の同定と高齢者の栄養指導への応用研究
H12-90	岡村菊夫	国立療養所中部病院泌尿器科	高齢者尿疾患の評価・治療に関するガイドラインの作成
H12-91	鳥羽研二	杏林大学医学部高齢医学講座	障害高齢者の生活機能評価に関するガイドライン策定のための総合的研究
H12-92	福原信義	国立療養所犀潟病院	高齢者の寝たきりの原因の解明と予防に関する研究－情報ネットワークを利用した介護保険特定疾病の症例データベースによる病態解析・治療法・介護技術についての研究
H12-93	角 保徳	国立療養所中部病院歯科	高齢者における口腔ケアのシステム化に関する総合的研究
H12-94	石井拓男	東京歯科大学社会歯科学研究室	要介護老人の摂食障害発生要因に関する研究
H12-95	芳賀克夫	国立熊本病院外科	E-PASS scoring systemを用いた高齢者の手術リスク評価

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H12-96	安村誠司	山形大学医学部公衆衛生学講座	「閉じこもり」高齢者のスクリーニング尺度の作成と介入プログラムの開発
H12-97	橋本 勉	和歌山県立医科大学公衆衛生学教室	生活習慣・環境要因・遺伝素因からみた骨粗鬆症及び脊髄骨折予防体制の確立
H12-98	古池保雄	名古屋大学医学部保健学科	高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究
H12-99	松瀬 健	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター呼吸器内科	高齢者慢性閉塞性肺疾患の遺伝的病因と病態解明ならびに新治療戦略の開発
H12-100	川瀬哲明	東北大学医学部付属病院耳鼻咽喉科	聴覚・視覚機能の低下と言語コミュニケーションに関する研究
H12-101	池田恭治	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	廃用性骨萎縮のメカニズムと治療法の開発
H12-102	岩本幸英	九州大学大学院医学系研究科整形外科	高齢者の骨・関節疾患の予防・治療法の開発と疼痛緩和対策に関する研究
H12-103	坂根 剛	聖マリアンナ医科大学医学部	関節疾患の原因の解明及び発症の予防・治療方法
H12-104	中村利孝	産業医科大学医学部整形外科	加齢に伴う脊柱変形の危険因子の解明と防止法の開発
H12-105	萩野 浩	鳥取大学医学部整形外科	大腿骨頸部骨折の発生頻度及び受傷状況に関する全国調査
H12-106	渡辺 研	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老年病研究部	高齢者の骨軟骨疾患の発症病理及び再生医学的治療に関する研究
H12-107	渡辺秀人	愛知医科大学分子医学研究所	アグリカン遺伝子ノックインマウスの作製による軟骨破壊機序の解析
H12-108	井ノ上逸朗	東京大学医科学研究所グノム情報応用診断	後縦靭帯骨化症責任遺伝子同定と予防・治療への応用
H12-109	石川 誠	医療法人近森会	総合的リハ及びケアシステムの連携についての研究－特に寝たきり化を防ぐための廃用症候群予防の見地から－
H12-110	木村伸也	愛知医科大学リハビリテーション部	高齢者のターミナルケアにおけるケア及びリハビリテーション技術の標準化に関する研究－「ハイリスク・体力消耗状態」の観点から
H12-111	保坂 隆	東海大学医学部精神科	在宅医療における家族関係性の解析と介護者支援プログラムの開発
H12-112	南部雅幸	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	マルチメディアを用いた高齢者支援システムの開発
H12-113	高山忠雄	東北文化学園大学医療福祉学部	ケアマネジメントにおける福祉用具・住環境支援の一体的有効活用とその評価法の開発に関する研究
H12-114	白澤政和	大阪市立大学生活科学部	ケアマネジメント・システムに対する総合評価に関する研究
H12-115	児玉桂子	日本社会事業大学社会福祉学部	在宅痴呆性高齢者の環境適応の円滑化と介護負担軽減のための居住支援プログラムの開発に関する研究
H12-116	新開省二	財) 東京都老人総合研究所地域保健部門	地域在宅高齢者の「閉じこもり」に関する総合的研究
H12-117	関田康慶	東北大学大学院経済学研究科	グループ診療、介護の統合化による経済効果に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H12-118	大井田 隆	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部	介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究
H12-119	山本一彦	東京大学大学院医学系研究科	慢性関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験
H12-120	嶋田 豊	富山医科薬科大学医学部和漢診療学	高齢者の脳血管障害の予防と進展防止を目的とした漢方薬による治療法の開発
H11-1	道川 誠	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	中枢神経細胞におけるコレステロールの果たす役割およびその代謝機構解明に関する研究
H11-2	丸山 和佳子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老化機構研究部	老化に伴う黒質ドーパミン神経細胞死の機序の解明とそれを防御する薬剤の開発
H11-3	堀内 正公	熊本大学医学部生化学第二講座	新たな血管の老化予防法の開発をめざしたコレステロール逆転送系調節機序の解明
H11-4	伊藤 健吾	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター生体機能研究部	機能画像による高齢者脳高次機能の解析に関する研究
H11-5	本山 昇	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老年病研究部	発生工学を利用した老化・老化病モデルマウスの開発とこれに基づいた新規薬物設計に関する研究
H11-6	神田 健郎	(財) 東京都老人総合研究所中枢神経部門	高齢者の慢性痛と痛覚伝導路の可塑性に関する研究
H11-7	森 茂美	岡崎国立共同研究機構生理学研究所	サル二足歩行モデルを用いた予測・適応制御に関する研究：高齢者歩行の特徴とその神経機序の基礎的考察
H11-8	木谷 健一	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター	老化・老年病に対する栄養学的・薬理学的・分子遺伝学的手法による干渉に関する総合的研究
H11-9	安井 利一	明海大学歯学部口腔衛生学講座	歯の生存率評価法及び要因改善による喪失リスク低下に関する研究
H11-10	小泉 昭夫	秋田大学医学部衛生学教室	特定疾患遺伝子ヘテロ保因者に着目した老化性疾患の抑制に関する地域長寿保健システムの構築
H11-11	田中 慎	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター共同利用室	実験動物の加齢解析、加齢固体育成と新モデル開発に関する研究
H11-12	高橋 慶吉	国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第6部	血管および中枢神経の老化過程におけるNotch3シグナル受容体機能の遺伝的・生物学的解析
H11-13	荻原 俊男	大阪大学大学院医学研究科生体制御医学専攻加齢医学講座	老年者高血圧の治療と予後に関する研究
H11-14	下方 浩史	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター疫学研究部	老化および老年病の長期縦断疫学研究
H11-15	折茂 肇	東京都老人医療センター	骨粗鬆症における原因遺伝子の検索と遺伝疫学的解析
H11-16	原田 敦	国立療養所中部病院整形外科	プロテクターによる高齢者の転倒障害予防
H11-17	北 徹	京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座	高齢者高脂血症の長期予後にに関する研究
H11-18	祖父江 元	名古屋大学医学部神経内科	高齢者のニューロパチーの病態と治療に関する総合的研究
H11-19	柳澤 勝彦	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	老化とヒトアミロイドーシス：加齢依存性発症の分子機構解明

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H11-20	樋口 京一	信州大学医学部・附属加齢適応研究センター・ 脈管病態分野	アミロイドーシス抑制遺伝子の解析
H11-21	三木 哲郎	愛媛大学医学部老年医学講座	老年病の発症機構に関する総合的研究
H11-22	西沢 理	信州大学医学部泌尿器科	高齢者排尿障害の病態と治療に関する研究
H11-23	安藤 富士子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター疫学 研究部	高齢者の抑うつと栄養に関する疫学的研究
H11-24	武田 雅俊	大阪大学大学院医学系研究科神経機能医学精神 医学	高齢者の精神機能老化機序の解明とその対策に関する精神神経免疫学的研究
H11-25	新野 直明	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学 研究部	地域の高齢者における転倒・骨折の発生と予防に関する疫学的研究
H11-26	内藤 通孝	名古屋大学大学院医学研究科健康社会医学専攻	高齢者終末期医療の自己決定実現のための介入的研究
H11-27	福原 俊一	東京大学大学院医学系研究科	保存期慢性腎不全高齢患者（非糖尿病性）の低蛋白療法の効果に関する研究
H11-28	遠藤 英俊	国立療養所中部病院第三内科	高齢者脳機能賦活療法の開発に関する研究
H11-29	佐々木 英忠	東北大学医学部老年・呼吸器内科	誤嚥性肺炎治療の新戦略
H11-30	筒井 孝子	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部	介護保険制度下における介護サービス質の評価に関する研究
H11-31	千野 直一	慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教 室	脳卒中患者の慢性期リハビリテーション医療の実態とその効果に関する研究
H11-32	宮井 一郎	国立療養所刀根山病院神経内科	高齢者神経疾患に対するリハビリテーションの方法論に関する研究
H11-33	北島 英治	東海大学健康科学部社会福祉学科	介護支援専門員の介護サービス計画立案を支援するインタラクティブ（双方向）コンピュータシステムの開発に関する研究
H11-34	若山 吉弘	昭和大学藤が丘病院神経内科	高齢神経疾患患者のリハビリテーションのあり方
H11-35	才藤 栄一	藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医 学講座	摂食・嚥下障害の治療・対応に関する総合的研究
H11-36	荒井 由美子	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター	公的介護保険の導入と介護者の介護負担に関する研究
H11-37	飛松 好子	東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻運動 障害学講座	脳卒中片麻痺の入院リハビリテーションにおけるクリティカルパスの開発
H11-38	土肥 健純	東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専 攻	移動・移乗支援システム
H11-39	田村 俊世	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老人 支援機器開発部	高齢者の日常生活モニタリング機器の開発
H11-40	稲田 紘	東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻	健康管理支援のための高齢者健康情報システムの構築
H11-41	戸川 達男	東京医科歯科大学生体材料工学研究所システム 研究部門	在宅健康計測システムの高度化

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H11-42	中島 一樹	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老人支援機器開発部	バーチャルリアリティを利用した高齢者用の看護・介護支援機器の開発
H11-43	岸 玲子	北海道大学医学部予防医学講座	高齢期における活動的生活持続のためのサポートネットワークの役割に関する研究
H11-44	都島 基夫	国立循環器病センター総合外来部	高齢化社会における循環器未病対策と医療経済に関する疫学的基礎研究
H11-45	安川 文朗	広島国際大学医療福祉学部医療経営学科	高齢者福祉施設の経営評価とケアの成果との関係に関する実証研究
H11-46	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学講座	国民の代表集団による高齢者のADL、生活の質低下の予防に関するコホート研究：NIPPON DATA
H11-47	武井 泉	慶應義塾大学医学部中央臨床検査部	高齢者糖尿病の漢方薬による合併症予防の研究
H11-48	石川 冬木	東京工業大学生命理工学研究科	老化時計としてのテロメアの役割
H11-49	白澤 卓二	(財) 東京都老人総合研究所分子遺伝学部門	長寿遺伝子に関する分子遺伝学的研究
H11-50	吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命科学研究科実験動物学	霊長類を用いた老人病モデルの開発と長寿科学研究基盤高度化に関する研究
H11-51	宮坂 京子	(財) 東京都老人総合研究所臨床生理部門	肥満、糖尿病、胆石症の新しい関連遺伝子、コレシストキニン-A受容体遺伝子
H11-52	木山 博資	旭川医科大学医学部解剖学第一講座	生活習慣病の中樞制御に関する研究
H11-53	中山 俊憲	千葉大学大学院医学研究科免疫発生学	免疫系の老化を制御するペースメーカーの同定に関する研究
H11-54	井上 修二	国立健康・栄養研究所老人健康・栄養部	肥満における生活習慣病合併の成因、予防及び治療に関する研究－高齢者のQOL向上と医療費削減をめざして－
H11-55	児玉 龍彦	東京大学先端科学技術研究センター分子生物医学部門	血管系の老化におけるマクロファージの分子細胞生物学と新規治療法
H11-56	佐藤 祐造	名古屋大学総合保健体育科学センター	高齢者の運動処方ガイドライン作成に関する研究
H11-57	磯部 健一	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老化機構研究部	老化促進ストレス刺激と生体防御反応に関する研究
H11-58	小川 紀雄	岡山大学医学部分子細胞医学研究施設神経情報学部門	老化関連疾患の病態形成における生体内金属イオン調節機構の役割に関する研究
H11-59	江崎 治	国立健康・栄養研究所臨床栄養部	トランスジェニックマウスを用いた老化関連代謝疾患の成因解明と、予防法に関する研究
H11-60	内原 俊記	(財) 東京都神経科学総合研究所神経病理学研究部門	老化・発生・分化課程におけるプレセニリンの発現と神経細胞死の抑制
H11-61	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所生化学部	心血管作動性因子と成人病及び老化に関する研究
H11-62	山木戸 道郎	広島大学医学部内科学第二講座	ヒト個体における老化機構の分子疫学的解明
H11-63	石井 直明	東海大学医学部分子生命科学	酸素依存性短寿命突然変異体を用いた細胞死と寿命解析

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H11-64	丸山 征郎	鹿児島大学医学部臨床検査医学	老化に伴う臓器機能不全の分子病態に関する研究
H11-65	大内 尉義	東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座	高齢女性の健康増進のためのホルモン補充療法に関する総合的研究
H11-66	外 須美夫	北里大学医学部麻酔科	高齢者の疼痛緩和に関する研究
H11-67	松崎 益徳	山口大学医学部内科学第二講座	心房細動の病態、発生機序の分子生物学的解明と新しい治療法の開発ー心筋筋小胞体Ca2+制御機構からのアプローチ
H11-68	牧田 善二	北海道大学医学部附属病院第二内科	糖尿病性合併症の治療に関する研究
H11-69	小阪 憲司	横浜国立大学医学部精神医学教室	脳の老化に関連する疾患の病態解明に関する研究
H11-70	千葉 勉	京都大学大学院医学研究科消化器病態学講座	高齢者消化器疾患に対する新しい内視鏡的治療法の開発に関する研究
H11-71	進藤 政臣	信州大学保健管理センター	加齢に伴う運動機能・認知機能の変化についての研究
H11-72	木田 厚瑞	東京都老人医療センター呼吸器科	高齢者閉塞性肺疾患における総合的ケアのあり方に関する研究
H11-73	福原 信義	国立療養所厚労病院内科	情報ネットワークを利用した高齢神経筋難病の症例データベースによる病態解析、治療法、ケア技術についての研究
H11-74	山鳥 重	東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学	高齢者の認知と行動に関する神経心理学的研究
H11-75	山本 章	箕面市立老人保健施設	保健施設における養護老人の末梢循環障害と浮腫の成因と治療
H11-76	山口 成良	医療法人財団松原愛育会松原病院神経科	脳の老化の症状評価における生理学的指標の応用に関する研究
H11-77	藤島 正敏	九州大学医学部第二内科	加齢による脳血管病変の進展とその臨床的意義に関する研究
H11-78	岩田 久	名古屋大学医学部整形外科	高齢者の変形性関節症の成因および病態に関する総合的研究
H11-79	池田 恭治	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老年病研究部	軟骨・骨の加齢変化とホルモン・サイトカインによる組織修復能の再活性化
H11-80	大川 弥生	国立療養所中部病院 長寿医療研究センター老人ケア研究部	高齢者の自立にむけた介護技術・プログラムの開発に関する研究
H11-81	小山 秀夫	国立医療・病院管理研究所医療経済研究部	介護保険制度における最適マネジメントの方策に関する研究
H11-82	大浦 武彦	医療法人溪仁会褥瘡・創傷治療研究所	褥瘡治療・看護・介護・介護支援機器の総合評価ならびに褥瘡予防に関する研究
H11-83	金川 克子	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学	在宅高齢者に対する保健・看護・介護プログラム開発とその評価に関する研究
H11-84	代田 浩之	順天堂大学医学部循環器内科	高齢者虚血性心疾患における冠危険因子と心臓リハビリテーション法の有用性
H11-85	伊藤 利之	横浜市総合リハビリテーションセンター	地域リハビリテーション・システムに関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H11-86	児玉 昌久	早稲田大学人間科学部スポーツ科学科	在宅介護者のストレス自己診断テストおよびストレス・マネジメント・プログラムの開発
H11-87	遠山 茂樹	東京農工大学機械システム工学科	超音波モータを用いたアクティブひざサポータの開発
H11-88	福井 康裕	東京電機大学理工学部電子情報工学科	高齢者の自立・QOL向上のための機能的支援システムに関する研究
H11-89	山本 敏泰	富山県高志リハビリ病院研究開発部	高齢障害者の立位・歩行に関するリハビリ訓練の為に支援機器に関する研究開発
H11-90	秋山 哲男	東京都立大学大学院工学研究科土木工学専攻(併任)都市科学研究科	福祉型交通システムの開発と運行システムの組織・経済の適正化に関する研究
H11-91	柴田 博	東京都老人総合研究所社会福祉部門	中高年齢者の職業からの引退過程と健康、経済との関連に関する研究
H11-92	秋山 弘子	東京大学文学部	後期高齢期における家族・経済・保健行動のダイナミクス
H11-93	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部社会福祉学科	高齢者虐待の発生予防及び援助方法に関する学際的研究
H11-94	崎原 盛造	琉球大学医学部保健学科保健社会学	沖縄における社会環境と長寿に関する縦断的研究
H11-95	終山 幸志郎	琉球大学医学部医学科内科学第3講座	沖縄における長寿要因－生活習慣病と食生活との関連－
H11-96	斎藤 正彦	医療法人慶成会老年学研究所	高齢社会における医療、保健、福祉制度と高齢者の人権
H11-97	松村 康弘	国立健康・栄養研究所成人健康・栄養部	高齢者の身体的自立に必要な体力レベルとライフスタイルに関する研究
H11-98	渡辺 昌	東京農業大学応用生物科学部	長寿者の壮年期生活習慣と健康に関するコホート研究
H11-99	清水 弘之	岐阜大学医学部公衆衛生学教室	都市部および農村部の高齢者のうつ病に関する研究
H11-100	丹羽 滋郎	(財)愛知県健康づくり振興事業団健康開発館	健康づくりの長寿に及ぼす影響に関する研究(コホート研究)
H11-101	瀬戸山 史郎	(財)鹿児島県民総合保健センター	地域住民のライフスタイルと老化の関係に関する研究
H11-102	菅沼 雅美	埼玉県立がんセンター研究所がん発生・予防研究グループ	緑茶による老年病予防に関する研究
H10-1	石川 冬木	東京工業大学生命理工学部	老化時計としてのテロメアの役割
H10-2	白澤 卓二	(財)東京都老人総合研究所・分子遺伝学部門	長寿遺伝子に関する分子遺伝学的研究
H10-3	吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命科学研究科実験動物学教室	霊長類を用いた老人病モデルの開発と長寿科学研究基盤高度化に関する研究
H10-4	宮坂 京子	(財)東京都老人総合研究所・臨床生理部門	長寿科学の基礎分野に関する研究 (肥満、糖尿病、胆石症の新しい関連遺伝子、コレシストキニン-A受容体遺伝子)
H10-5	木山 博資	旭川医科大学医学部解剖学第一講座	生活習慣病の中核制御に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H10-6	丸山 征郎	鹿児島大学医学部臨床検査医学	老化に伴う臓器機能不全の分子病態に関する研究
H10-7	大内 耐義	東京大学院医学系研究科加齢医学講座	高齢女性の健康増進のためのホルモン補充療法に関する総合的研究
H10-8	松崎 益徳	山口大学医学部内科学第2講座	心房細動の病態、発生機序の分子生物学的解明と新しい治療法の開発ー心筋筋小胞体Ca ²⁺ 制御機構からのアプローチ
H10-9	外 須美夫	北里大学医学部麻酔科	高齢者の疼痛緩和に関する研究
H10-10	八竹 直	旭川医科大学医学部泌尿器科	老年者頻尿・尿失禁の有効な治療法の開発
H10-11	安井 章裕	国立療養所中部病院外科	老年者の手術療法における術後精神障害に関する研究
H10-12	長谷川 好規	名古屋大学医学部第一内科	高齢者在宅酸素療法のコンプライアンスと酸素吸入効率の評価方法の確立
H10-13	牧田 善二	北海道大学医学部附属病院第二内科	老年病分野に関する研究
H10-14	日和田 邦男	愛媛大学医学部第2内科	老年者高血圧の長期予後に関する研究
H10-15	岩田 久	名古屋大学医学部整形外科	高齢者の変形性関節症の成因および病態に関する総合的研究
H10-16	樋口 京一	信州大学医学部加齢適応研究センター脈管病態分野	骨粗鬆症モデルマウスを用いた骨量決定遺伝子の解析
H10-17	大川 弥生	国立長寿医療研究センター老人ケア研究部	高齢者の自立にむけた介護技術・プログラムの開発に関する研究
H10-18	小山 秀夫	国立医療・病院管理研究所・医療経済研究部	介護保険制度における最適マネジメントの方策に関する研究
H10-19	大浦 武彦	医療法人涇仁会 褥瘡・創傷治癒研究所	褥瘡治療・看護・介護・介護支援機器の総合評価ならびに褥瘡予防に関する研究
H10-20	代田 浩之	順天堂大学医学部循環器内科	高齢者虚血性心疾患における冠危険因子と心臓リハビリテーション法の有用性
H10-21	金川 克子	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学分野	在宅高齢者に対する保健・看護・介護プログラム開発とその評価に関する研究
H10-22	河合 幹	愛知学院大学歯学部口腔外科学第2講座	口腔ケアの実態調査と手技の確立に関する研究
H10-23	宮井 一郎	国立療養所刀根山病院神経内科	高齢神経疾患のリハビリテーションによる機能回復機序に関する研究
H10-24	星宮 望	東北大学大学院工学研究科電子工学専攻	高齢者支援のための高度技術の応用
H10-25	遠山 茂樹	東京農工大学工学部機械システム工学科	超音波モータを用いたアクティブひざサポータの開発
H10-26	福井 康裕	東京電機大学理工学部応用電子工学科	高齢者に自立・QOL向上のための機能的支援システムに関する研究
H10-27	秋山 哲男	東京都立大学大学院工学研究科土木工学専攻(併任)都市科学研究科	福祉型交通システムの開発と運行システムの組織・経済の適正化に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H10-28	前田 大作	立正大学社会福祉学部社会福祉学科	高齢期における社会的支援とWell-beingの関係についての研究
H10-29	柴田 博	東京都老人総合研究所社会福祉部門	中高年齢者の職業からの引退過程と健康、経済との関連に関する研究
H10-30	終山 幸志郎	琉球大学医学部医学科内科学第3講座	沖縄における長寿要因－生活習慣病と食生活との関連－
H10-31	秋山 弘子	東京大学文学部	後期高齢期における家族・経済・保健行動のダイナミクス
H10-32	萱場 一則	自治医科大学地域医療学教室	高齢者死亡関連要因の解明に関する多施設共同前向き研究
H10-33	多々良 紀夫	淑徳大学社会学部社会福祉学科	高齢者虐待の発生予防及び援助方法に関する学際的研究
H10-34	崎原 盛造	琉球大学医学部保健学科保健社会学	沖縄における社会環境と長寿に関する縦断的研究
H10-35	菅沼 雅美	埼玉県立がんセンター研究所 がん発生・予防研究グループ	緑茶による老年病予防に関する研究
H10-36	阪中 雅広	愛媛大学医学部医学科解剖学第二講座	薬用人参成分ジンセンノサイドRb1 脳梗塞抑制作用に関する研究
H10-37	小野 哲也	東北大学医学部細胞生物学講座ゲノム生物学分野	老化個体に蓄積する突然変異の質的特異性の解析
H10-38	中山 俊憲	千葉大学大学院医学研究科・免疫発生学	免疫系の老化を制御するペプスメーカーの同定に関する研究
H10-39	井上 修二	国立健康・栄養研究所	肥満における生活習慣病合併の成因、予防および治療に関する研究－高齢者のQOL向上と医療費削減をめざして－
H10-40	見玉 龍彦	東京大学先端科学技術研究センター分子生物医学部門	血管系の老化におけるマクロファージの分子細胞生物学と新規治療法
H10-41	森 望	国立療養所中部病院・長寿医療研究センター	老化脳における神経の構造可塑性制御分子の発現と機能に関する研究
H10-42	佐藤 祐造	名古屋大学総合保健体育科学センター	高齢者の運動処方ガイドライン作成に関する研究
H10-43	磯部 健一	国立療養所中部病院・長寿医療研究センター	老化促進ストレス刺激と生体防御反応に関する研究
H10-44	小川 紀雄	岡山大学医学部分子細胞医学研究施設・神経情報学部門	老化関連疾患の病態形成における生体内金属イオン調節機構の役割に関する研究
H10-45	石井 直明	東海大学医学部分子生命科学	酸素依存性短寿命突然変異体を用いた細胞死と寿命解析
H10-46	江崎 治	国立健康・栄養研究所	トランスジェニックマウスを用いた老化関連代謝疾患の成因解明と、予防法に関する研究
H10-47	内原 俊記	(財)東京都神経科学総合研究所・神経病理学研究部門	老化・発生・分化過程におけるプレセニリンの発現と神経細胞死の抑制
H10-48	寒川 賢治	国立循環器病センター研究所生化学部	心血管作動性因子と成人病及び老化に関する研究
H10-49	佐藤 昭夫	(財)東京都老人総合研究所	脳・神経系の老化指標に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H10-50	伊藤 健吾	国立療養所中部病院・長寿医療研究センター	総合画像診断による高齢者生体機能の解明
H10-51	高嶋 幸男	国立精神・神経センター神経研究所	早発老化の発生機序に関する遺伝・生物学的研究
H10-52	竹縄 忠臣	東京大学医科学研究所細胞生物化学研究部	老化及び老化に伴って生じる疾病での情報伝達変異
H10-53	静田 裕	高知医科大学医学教室	血管老化の代謝機能とその分子生物学的解明
H10-54	広川 勝彦	東京医科歯科大学大学院医学系研究科感染免疫病理	老化に伴う免疫不全症の分子機構の解析
H10-55	板倉 弘重	国立健康・栄養研究所	代謝変化と栄養による修飾の研究
H10-56	山木戸 道郎	広島大学医学部内科学第二講座	ヒト個体における老化機構の分子疫学的解明
H10-57	田中 平三	東京医科歯科大学難治疾患研究所社会医学研究部門 (疫学)	沖縄に特徴的な食生活の栄養学的研究
H10-58	名和田 新	九州大学医学部第三内科	老化防止のためのホルモン療法に関する研究
H10-59	小坂 憲司	横浜市立大学医学部精神医学教室	脳の老化に関連する疾患の病態解明に関する研究
H10-60	千葉 勉	京都大学医学研究科消化器病態学講座	高齢者消化器疾患に対する新しい内視鏡的治療法の開発に関する研究
H10-61	進藤 政臣	信州大学保健管理センター	加齢に伴う運動機能・認知機能の変化についての研究
H10-62	木田 厚瑞	東京都老人医療センター呼吸器科	高齢者閉塞性肺疾患における総合的ケアのあり方に関する研究
H10-63	福原 信義	国立療養所犀潟病院	情報ネットワークを利用した高齢神経筋難病の症例データベースによる病態解析、治療法、ケア技術についての研究
H10-64	山鳥 重	東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学	高齢者の認知と行動に関する神経心理学的研究
H10-65	山本 章	箕面市立老人保健施設	保健施設における養護老人の末梢循環障害と浮腫の成因と治療
H10-66	山口 成良	医療法人財団松原愛育会・松原病院神経科精神科	脳の老化の症状評価における生理学的指標の応用に関する研究
H10-67	藤島 正敏	九州大学医学部第二内科	加齢による脳血管病変の進展とその臨床的意義に関する研究
H10-68	奥田 克爾	東京歯科大学衛生生物学	老年者の口腔衛生とQOLに関する研究
H10-69	井藤 英喜	東京都老人医療センター内分泌科	老年者糖尿病の長期予後に関する研究 (QOLを中心に)
H10-70	佐々木 英忠	東北大学医学部付属病院老人科	老年者における呼吸不全に関する研究
H10-71	北 徹	京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座	老年者の高脂血症治療ガイドライン作成に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H10-72	満間 照典	愛知医科大学第四内科	高齢者での神経ペプチドの役割
H10-73	古池 保雄	名古屋大学医学部保健学科	高齢者の自律神経機能
H10-74	柳川 洋	自治医科大学公衆衛生学教室	人口集団の長期追跡による老化抑制因子の解明に関する疫学研究
H10-75	能勢 隆之	鳥取大学医学部医学科公衆衛生学教室	高齢者の運動による老化予防および体力向上に関する長期縦断的研究
H10-76	下方 浩史	国立療養所中部病院・長寿医療研究センター	老化の多施設共同縦断疫学調査に関する研究
H10-77	佐藤 秋子	愛知医科大学加齢医科学研究所	沖縄における長寿背景要因に関する研究—特に長寿者の疾病構造とライフスタイル—
H10-78	田内 久	愛知医科大学加齢医科学研究所	百寿者のライフスタイルと社会医学的背景
H10-79	池田 恭治	国立療養所中部病院・長寿医療研究センター	軟骨・骨の加齢変化とホルモン・サイトカインによる組織修復能の再活性化
H10-80	宮浦 千里	東京薬科大学薬学部第一生化学教室	エストロゲンの骨髄造血調節作用に着目した閉経後骨粗鬆症の発症機構の解明
H10-81	折茂 肇	東京都老人医療センター	骨粗鬆症予防のための危険因子に関する研究
H10-82	須田 立雄	昭和大学歯学部口腔生化学教室	骨粗鬆症治療薬の開発に関する基礎的研究
H10-83	井上 哲郎	医療法人宝美会総合青山病院	骨粗鬆症の疫学的研究
H10-84	森田 陸司	滋賀医科大学医学部放射線医学講座	骨粗鬆症予防のための骨量測定法に関する研究
H10-85	伊藤 利之	横浜市総合リハビリテーションセンター	地域リハビリテーション・システムに関する研究
H10-86	児玉 昌久	早稲田大学人間科学部スポーツ科学科	在宅介護者のストレス自己診断テストおよびストレス・マネジメント・プログラムの開発
H10-87	明石 謙	川崎医科大学リハビリテーション科	高齢者の嚥下に及ぼす影響とその障害に関する研究
H10-88	中村 隆一	国立身体障害者リハビリテーションセンター	高齢障害者の機能的状態の予測因子に関する研究
H10-89	若山 吉弘	昭和大学藤が丘病院神経内科	高齢者神経疾患のリハビリテーションと心理社会的要因
H10-90	眞野 行生	北海道大学医学部リハビリテーション医学講座	高齢者および高齢障害者の歩行異常と転倒に対する対策
H10-91	小西 美智子	広島大学医学部保健学科地域・老人看護学講座	老人・家族の相談援助活動の質の向上と評価に関する研究
H10-92	斎藤 和子	千葉大学看護学部成人・老人看護学講座	老人痴呆患者の問題行動への対処法
H10-93	小林 正	愛知医科大学内科学第3講座	高齢者に対する有酸素運動の継続が長期予後に及ぼす影響

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H10-94	上田 敏	帝京平成大学情報学部福祉情報学科	高齢者における廃用症候群・過用症候・誤用症候の本態・予防・リハビリテーション
H10-95	山本 敏泰	富山県高志リハビリ病院研究開発部リハビリテーション工学科	高齢障害者の立位・歩行に関するリハビリ訓練の為に支援機器に関する研究開発
H10-96	辻 隆之	国立循環器病センター研究所	高齢者の介護の省力化・自動化に関する研究
H10-97	田村 俊世	国立療養所中部病院・長寿医療研究センター	高齢者の屋外モニタリングシステム
H10-98	戸川 達男	東京医科歯科大学医用器材研究所計測機器部門	在宅高齢者の健康自動計測システム
H10-99	土肥 健純	東京大学大学院工学系研究科医用精密工学	移乗・移動支援システム
H10-100	稲田 紘	国立循環器病センター研究所疫学部	情報・通信技術を活用した高齢者支援システム
H10-101	吉武 裕	国立健康・栄養研究所健康増進部健康機器調査研究室	高齢者の健康維持・増進支援システムの開発
H10-102	斎藤 正彦	医療法人 慶成会老年学研究所	高齢社会における医療、保健、福祉制度と高齢者の人権
H10-103	松村 康弘	国立健康・栄養研究所成人健康・栄養部疫学調査研究室	高齢者の身体的自立に必要な体力レベルとライフスタイルに関する研究
H10-104	渡辺 昌	東京農業大学応用生物科学部	長寿者の壮年期生活習慣と健康に関するコホート研究
H10-105	太田 壽城	国立健康・栄養研究所	高齢者の生活の質向上に関する縦断的研究
H10-106	野村 敏	日本大学理工学部	高齢者のリハビリテーション施設に関する総合的研究
H10-107	白澤 政和	大阪市立大学生活科学部	高齢者地域支援システムに関する研究
H10-108	藤井 滋樹	公立学校共済組合東海中央病院神経内科	高齢者のストレスと不安に関する研究
H10-109	丁 宗鉄	東京大学医学部生体防御機能学	高齢者の中枢神経機能の改善と鍼灸刺激
H10-110	鳥居 塚 和生	北里研究所東洋医学総合研究所臨床研究部	高齢者の高次中枢機能の低下に対する漢方薬の効果に関する研究
H10-111	清水 弘之	岐阜大学医学部公衆衛生学教室	都市部および農村部の高齢者のうつ病に関する研究
H10-112	久我 正	(財)愛知県健康づくり振興事業団健康科学館	健康づくりの長寿に及ぼす影響に関する研究（コホート研究）
H10-113	瀬戸山 史郎	(財)鹿児島県民総合保健センター	地域住民のライフスタイルと老化の関係に関する研究
H10-114	堀部 博	相山女学院大学生活科学部食品栄養学科	地域長寿科学の地域特性に関する研究
H10-115	小泉 昭夫	秋田大学医学部衛生学	Syndromex(対糖能異常、高血圧、高脂血症)の成因と予後に関するコホート研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H10-116	中野 昶	三重大学医学部内科学第1講座	ライフスタイルを重点とした疫学的分析による循環器疾患予防についての基礎研究
H10-117	木谷 健一	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	加齢及び加齢関連疾患に対する薬物による干渉に関する実験的研究
H10-118	田中 慎	国立療養所中部病院長寿医療研究センター共同 利用室	加齢動物モデルの評価系開発に関する研究
H10-119	城川 哲也	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老化 機構研究部生理研究室	ストレス応答の加齢変化に関する研究
H10-120	武田 雅俊	大阪大学医学部精神医学教室	高齢者における精神機能老化の機序解明とその対策に関する研究
H10-121	森 茂美	岡崎国立共同研究機構（生理学研究所）	歩行運動機能の発達および退行にかかわる中枢神経機構の解明に関する研究
H10-122	祖父江 元	名古屋大学医学部神経内科	高齢者の末梢神経障害における再生・修復関連因子の研究
H10-123	大谷 明	銀杏学園短期大学衛生技術科	長寿科学研究の成果の評価に関する研究
H10-124	徳田 治彦	国立療養所中部病院第四内科	高齢者の多臓器障害の評価と治療に関する研究
H10-125	葛谷 雅文	名古屋大学医学部	老年者服薬コンプライアンスに影響を及ぼす諸因子に関する研究－特に都市型および郊外型病院との比較研究－
H10-126	松田 朗	国立医療・病院管理研究所	高齢者の急性期入院医療の質の標準化に関する基礎的調査研究
H9-1	石川 冬木	東京工業大学生命理工学部	細胞老化の分子機構の解明
H9-2	三木 哲郎	大阪大学医学部老年病医学講座	ウェルナー症候群の発症機構に関する研究
H9-3	小野 哲也	東北大学医学部	老化個体に蓄積する突然変異の質的特異性の解析
H9-4	中山 俊憲	東京理科大学生命科学研究所	免疫系の老化を制御するペプスメーカーの同定に関する研究
H9-5	井上 修二	国立健康・栄養研究所	肥満における生活習慣病合併の成因、予防および治療に関する研究－高齢者のQOL向上と医療費削減をめざして－
H9-6	児玉 龍彦	東京大学先端科学技術研究センター	血管系の老化におけるマクロファージの分子細胞生物学と新規治療法
H9-7	丸山 征郎	鹿児島大学医学部	プログラム化された細胞死と老化の関連に関する研究
H9-8	森 望	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	老化脳における神経の構造可塑性制御分子の発現と機能に関する研究
H9-9	佐藤 裕造	名古屋大学総合保健体育科学センター	高齢者の運動処方ガイドライン作成に関する研究
H9-10	磯部 健一	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	老化促進ストレス刺激と生体防御反応に関する研究
H9-11	神田 隆	東京医科歯科大学医学部神経内科	血液脳関門の老化の分子細胞学的研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H9-12	小川 紀雄	岡山大学医学部	老化関連疾患の病態形成における生体内金属イオン調節機構の役割に関する研究
H9-13	池田 康夫	慶應義塾大学医学部内科	老化に伴う血栓傾向の分子機構の解析
H9-14	石井 直明	東海大学医学部・分子生命	酸素依存症短寿命突然変異体を用いた細胞死と寿命解析
H9-15	丸山 和佳子	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	脳内フリーラジカルによる黒質ドーパミン神経細胞の傷害—そのメカニズムの解明と予防の試み—
H9-16	江崎 治	国立健康・栄養研究所臨床栄養部	トランスジェニックマウスを用いた老化関連代謝疾患の成因解明と、予防法に関する研究
H9-17	内原 俊記	東京医科歯科大学医学部神経内科	老化・発生・分化課程におけるプレセニリンの発現と神経細胞死の抑制
H9-18	寒川 賢治	(国立循環器病センター生化学部)	心血管作動性因子と成人病及び老化に関する研究
H9-19	佐藤 昭夫	(財) 東京都老人総合研究所	脳・神経系老化度指標に関する研究
H9-20	吉川 泰弘	筑波医学実験用霊長類センター	霊長類を用いた老人病モデルの開発研究—免疫を中心として—
H9-21	伊藤 健吾	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	総合画像診断による高齢者生体機能の解明
H9-22	高嶋 幸男	国立精神・神経センター神経研究所	早発老化の発生機序に関する遺伝・生物学的研究
H9-23	竹縄 忠臣	東京大学医科学研究所	老化及び老化に伴って生じる疾病での情報伝達変異
H9-24	静田 裕	高知医科大学医学部	血管老化の代謝機能とその分子生物学的解明
H9-25	広川 勝昱	東京医科歯科大学医学部	老化に伴う免疫不全症の分子機構の解析
H9-26	板倉 弘重	国立健康・栄養研究所	代謝変化と栄養による修飾の研究
H9-27	岩政 輝男	琉球大学医学部病理学第二講座	沖縄の長寿者の分子遺伝学的研究
H9-28	出口 宝	琉球大学医学部第一外科	沖縄の海洋性気候及び海水の健康増進効果に関する研究
H9-29	瀬山 敏雄	(財)放射線影響研究所	ヒト固体における老化機構の分子疫学的解明
H9-30	井口 昭久	名古屋大学医学部老年科学講座	老年者のターミナルケアに関する研究
H9-31	武藤 徹一郎	東京大学医学部第一外科学教室	老年者の手術リスク評価法の確立・普及と周術期管理の開発
H9-32	田中 平三	東京医科歯科大学難治疾患研究所	沖縄に特徴的な食生活の栄養学的研究
H9-33	名和田 新	九州大学医学部第三内科	老化防止のためのホルモン療法に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H9-34	小澤 利男	東京都老人医療センター	老年者の生活機能障害の総合評価に関する研究
H9-35	高橋 清久	国立精神・神経センター武蔵病院	高齢者の生体リズム異常とライフスタイルに関する研究
H9-36	石崎 高志	国立国際医療センター研究所	老年者における薬物動態に関する基礎研究
H9-37	佐藤 智	ライフケアシステム	老年者の在宅医療に関する研究
H9-38	武田 雅俊	大阪大学医学部	精神機能老化の生物学的指標に関する精神神経免疫学的研究
H9-39	小阪 憲司	横浜国立大学医学部	脳の老化に関連する疾患の病態解明に関する研究
H9-40	千葉 勉	京都大学大学院医学研究科	高齢者消化器疾患に対する新しい内視鏡的治療法の開発に関する研究
H9-41	柳澤 信夫	信州大学医学部第三内科	加齢に伴う運動機能・認知機能の変化についての研究
H9-42	木田 厚瑞	東京都老人医療センター呼吸器科	高齢者閉塞性肺疾患における総合的ケアのあり方に関する研究
H9-43	福原 信義	国立療養所厚潟病院	情報ネットワークを利用した高齢神経筋難病の症例データベースによる病態解析、治療法、ケア技術についての研究
H9-44	山鳥 重	東北大学医学部高次機能障害学	高齢者の認知と行動に関する神経心理学的研究
H9-45	高坂 知節	東北大学医学部耳鼻咽喉科教室	デジタル補聴器の臨床応用に関する研究
H9-46	下方 薫	名古屋大学医学部	インフルエンザによる高齢者肺炎死亡の問題点と防御因子の検討
H9-47	山本 章	箕面市立老人保健施設	保健施設における養護老人の末梢循環器障害と浮腫の成因と治療
H9-48	山口 成良	医療法人財団愛育会 松原病院	脳の老化の症状評価における生理学的指標の応用に関する研究
H9-49	藤島 正敏	九州大学医学部内科学第二	加齢による脳血管病変の進展とその臨床的意義に関する研究
H9-50	大内 尉義	東京大学医学部老年病学教室	老年者の末梢循環障害に関する研究
H9-51	細田 瑳一	(財)日本心臓血管研究振興会	老年者の心筋梗塞治療ガイドライン作成に関する研究
H9-52	柳田 則之	名古屋大学医学部耳鼻咽喉科	高齢者難聴の病態・予防・リハビリテーションに関する研究
H9-53	奥田 克爾	東京齒科大学衛生生物学講座	老年者の口腔衛生とQOLに関する研究
H9-54	八竹 直	旭川医科大学泌尿器科	老年者尿失禁の有効な治療法の開発
H9-55	井藤 英喜	東京都老人医療センター内分泌科	老年者糖尿病の長期予後に関する研究 (QOLを中心に)

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H9-56	佐々木 英忠	東北大学医学部附属病院老人科	老年者における呼吸不全に関する研究
H9-57	日和田 邦男	愛媛大学医学部内科学第2講座	老年者高血圧の長期予後に関する研究
H9-58	福地 義之助	順天堂大学医学部呼吸器内科	老年者における嚥下障害の病態と治療に関する研究
H9-59	北 徹	京都大学医学研究科	老年者の高脂血症治療ガイドライン作成に関する研究
H9-60	緒方 公介	福岡大学医学部整形外科学教室	変形性関節症及び変形性脊椎症の疫学、予防、治療に関する研究
H9-61	河邊 香月	東京大学医学部泌尿器科学教室	高齢者の排尿機能障害—その予防と治療—に関する研究
H9-62	満間 照典	愛知医科大学第四内科	高齢者での神経ペプチドの役割
H9-63	林 茂信	国立療養所犀潟病院	痴呆性疾患の生活機能維持のための訓練療法に関する研究—ごく初期症例の症状進行抑制を目標に—
H9-64	古池 保雄	名古屋大学医療短期大学部	高齢者の自律神経機能
H9-65	柳川 洋	自治医科大学公衆衛生学教室	人口集団の長期追跡による老化抑制因子の解明に関する疫学研究
H9-66	能勢 隆之	鳥取大学医学部医学科公衆衛生学	高齢者の運動による老化予防および体力向上に関する長期縦断的研究
H9-67	崎原 盛造	琉球大学医学部保健学科保健社会学	沖縄の気候・風土と長寿に関する研究
H9-68	終山 幸志郎	琉球大学医学部医学科	沖縄に特徴的な食生活等疫学的研究
H9-69	下方 浩史	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	老化の多施設共同縦断疫学調査に関する研究
H9-70	佐藤 鉄子	愛知医科大学	沖縄における長寿背景要因に関する研究—特に長寿者の疾病構造とライフスタイル—
H9-71	田内 久	愛知医科大学	百寿者のライフスタイルと社会医学的背景
H9-72	池田 恭治	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	軟骨・骨の加齢変化とホルモン・サイトカインによる組織組織修復能の再活性化
H9-73	北澤 理子	神戸大学医学部病理学第2講座	閉経後骨粗鬆症の病態解析と破骨細胞形成因子に関する研究
H9-74	宮浦 千里	昭和大学歯学部口腔生化学教室	エストロゲンの骨髄造血調節作用に着目した閉経後骨粗鬆症の発症機構の解明
H9-75	折茂 肇	大蔵省印刷局東京病院	骨粗鬆症予防のための危険因子に関する研究
H9-76	須田 立雄	昭和大学歯学部口腔生化学教室	骨粗鬆症治療薬の開発に関する基礎的研究
H9-77	井上 哲郎	浜松医科大学整形外科	骨粗鬆症の疫学的研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H9-78	森田 陸司	滋賀医科大学放射線医学講座	骨粗鬆症予防のための骨量測定法に関する研究
H9-79	宮井 郎	国立療養所刀根山病院神経内科	脳卒中及び神経変性疾患に対するリハビリテーションの効果とその作用機序に関する研究
H9-80	伊藤 利之	横浜市総合リハビリテーションセンター	地域リハビリテーション・システムに関する研究
H9-81	児玉 昌久	早稲田大学人間科学部	在宅介護者のストレス自己診断テストおよびストレス・マネジメント・プログラムの開発
H9-82	明石 謙	川崎医科大学リハビリテーション科	高齢者の嚥下に及ぼす影響とその障害に関する研究
H9-83	中村 隆一	国立身体障害者リハビリテーションセンター病院	高齢障害者の機能的状態の予測因子に関する研究
H9-84	若山 吉弘	昭和大学藤ヶ丘病院神経内科	高齢者神経疾患のリハビリテーションと心理社会的要因
H9-85	安藤 徳彦	横浜市立大学医学部附属病院	高齢者骨・関節疾患の移動能力を確保するための研究
H9-86	眞野 行生	北海道大学医学部リハ医学講座	高齢者および高齢障害者の歩行異常と転倒に対する対策
H9-87	小西 美智子	広島大学医学部	老人・家族の相談援助活動の質の向上と評価に関する研究
H9-88	金川 克子	東京大学医学部	高齢者に対する組織的な保健・看護・介護サービスのあり方に関する研究
H9-89	斎藤 和子	千葉大学看護学部	老人痴呆患者の問題行動への対処方法
H9-90	小林 正	愛知医科大学内科学第3	高齢者に対する有酸素運動の継続が長期予後に及ぼす影響
H9-91	七田 恵子	東海大学健康科学部	老人訪問看護サービスの質的向上に関する研究
H9-92	上田 敏	帝京平成大学情報学部	高齢者における廃用症候群・過用症候・誤用症候の本能・予防・リハビリテーション
H9-93	石原 謙	国立大阪病院臨床研究部	在宅高齢者のための健康異常早期検出装置の開発に関する研究
H9-94	山本 敏泰	富山県高志リハビリ病院研究開発部	高齢障害者の立位・歩行に関するリハビリ訓練の為に支援機器に関する研究開発
H9-95	辻 隆之	国立循環器病センター研究所	高齢者の介護の省力化・自動化に関する研究
H9-96	田村 俊世	東京医科歯科大学医工用器材料研究所	高齢者の屋外モニタリングシステム
H9-97	戸川 達男	東京医科歯科大学医工用器材料研究所	在宅高齢者の健康自動計測システム
H9-98	土肥 健純	東京大学大学院工学系研究科	移乗・移動支援システム
H9-99	福井 康裕	東京電機大学理工学部	高齢者の自立・QOL支援システム

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H9-100	稲田 紘	(国立循環器病センター研究所疫学部)	情報・通信技術を活用した高齢者支援システム
H9-101	吉武 裕	国立健康・栄養研究所健康増進部	高齢者の健康維持・増進支援システムの開発
H9-102	星宮 望	東北大学工学部	高齢者支援のための高度技術の応用
H9-103	斎藤 正彦	東京大学医学部	高齢社会における医療、保健、福祉制度と高齢者の人権
H9-104	古谷野 亘	北海道医療大学看護福祉学部	企業退職高齢者の社会的ネットワークに関する研究
H9-105	松村 康弘	国立健康・栄養研究所	高齢者の身体的自立に必要な体力レベルとライフスタイルに関する研究
H9-106	渡辺 昌	東京農業大学農学部公衆衛生学研究室	長寿者の壮年期生活習慣と健康に関するコホート研究
H9-107	若林 健市	(財)ダイヤ高齢社会研究財団	在宅サービスの利用を規定する要因に関する研究
H9-108	前田 大作	日本社会事業大学大学院	社会サービスの利用に対する高齢者の意識と行動の研究
H9-109	太田 壽城	国立健康・栄養研究所健康増進部	高齢者の生活の質向上に関する縦断的研究
H9-110	秋山 哲男	東京都立大学工学部土木工学科	新しい高齢者対応型交通手段と福祉のまちづくりに関する研究
H9-111	園田 恭一	東洋大学社会学部	高齢者の健康度および保健行動に関する研究
H9-112	野村 敬	日本大学理工学部	高齢者のリハビリテーション施設に関する総合的研究
H9-113	坂上 正道	北里大学	在宅ケアの評価及び推進に関する研究
H9-114	大野 良之	名古屋大学医学部予防医学教室	高齢者の社会活動評価法に関する研究
H9-115	下仲 順子	東京都老人総合研究所	正常老化における知的能力の低下に関する基礎的研究
H9-116	白澤 政和	大阪市立大学生活科学部	高齢者地域支援システムに関する研究
H9-117	小山 秀夫	国立医療・病院管理研究所	高齢者の長期ケアにおける経済的評価に関する研究
H9-118	藤井 滋樹	公立学校共済組合東海中央病院内科	高齢者のストレスと不安に関する研究
H9-119	野崎 貞彦	日本大学医学部	老人保健事業（健康教育・健康相談）の評価法の向上に関する研究
H9-120	直井 道子	東京学芸大学教育学部	高齢化社会における家族の機能に関する研究
H9-121	大友 英一	浴風会病院	QOLの視点からの高齢障害者の医療的・福祉的ケアの開発並びに評価に関する研究

年度	研究代表者	所属施設・機関名	研究課題名
H9-122	三瀧 忠道	飯塚病院漢方診療科	高齢者の諸臓器機能低下に対する漢方薬の効果に関する研究
H9-123	丁 宗鉄	東京大学医学部生体防御機能学	高齢者の中枢神経機能の改善と鍼灸刺激
H9-124	寺澤 捷年	富山医科薬科大学医学部和漢診療学	高齢者の中枢神経疾患・動脈硬化性疾患に対する漢方薬の効果に関する研究
H9-125	鳥居塚 和生	北里研究所東洋医学総合研究所	高齢者の高次中枢機能の低下に対する漢方薬の効果に関する研究
H9-126	清水 弘之	岐阜大学医学部公衆衛生学教室	都市部および農村部の高齢者のうつ病に関する研究
H9-127	久我 正	(財)愛知県健康づくり振興事業団	健康づくりの長寿に及ぼす影響に関する研究（コホート研究）
H9-128	瀬戸山 史郎	(財)鹿児島県民総合保健センター	地域住民のライフスタイルと老化の関係に関する研究
H9-129	堀部 博	愛知医科大学	地域長寿科学の地域特性に関する研究
H9-130	小泉 昭夫	秋田大学医学部衛生学	SyndromeX（対糖能異常、高血圧、高脂血症）の成因と予後に関するコホート研究
H9-131	中野 赴	三重大学医学部内科学第1講座	ライフスタイルを重点とした疫学的分析による循環器疾患予防についての基礎研究

平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業
ケアの内容の分類に基づいたデータベースの構築に関する調査研究事業
報 告 書

平成 30 年 3 月

発 行

みずほ情報総研株式会社

〒101-8443

東京都千代田区神田錦町 2-3

竹橋スクエアビル

TEL: 03(5281)5404

FAX: 03(5281)5443
